

住宅建材商品 取扱い説明書



お読みになった後、このパンフレットは、
いつでもご使用頂けるように大切に保管してください。

販売店・工務店・建設(築)会社様へのお願い
この取扱い説明書は施工後必ず、お施主様へお渡しください。

はじめに

この度は、当社商品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

このパンフレットには、商品を長く安全にご使用いただくための注意事項とお願い、及び商品の調整・お手入れなどについて記載しています。商品のご使用前に必ずお読みください。また、お読みになった後も、いつでもご利用いただけるよう大切に保管してください。なお、電動商品などの特別な機能・特有な使い方がある商品については、別途個別の取扱い説明書をお読みください。

安全にお使いいただくために

住宅建材商品は、雨や風・日ざし・温度の自然現象、また人的操作による破損・摩耗等により変化してきます。このパンフレットは商品を正しく、安全にお使いいただくために注意すべき点を記載しています。安全性に関して重要な内容を記載していますので、内容をよく理解して商品の正しい操作をしてください。

 注意	取扱いを誤ると、使用者が傷害を負う危険や物的傷害の発生が想定されることを示します。
 お願い	知っていると役立つレベルの注意喚起情報や操作説明等を示します。

電装商品について

お願い

- 清掃時には、電装部品に水がかからないよう、ご注意ください。
水がかかると故障する恐れがあります。

●電装部品のお取扱いに関しては、別途取扱い説明書を必ずお読みください。

- 電装部品に不都合が生じた場合は、最寄りの弊社営業所・支店までご連絡ください。
分解しますと感電する恐れがあります。

屋外給湯機器を設置する場合のご注意

注意

- 屋外給湯器からの排気口付近にアルミサッシが取り付けられている場合、排気ガスに含まれる酸化物などによって表面塗膜のはく離が起こる場合がありますので設置場所または排気ガスがかからないように配慮してください。



CONTENTS

ドア関連

●玄関ドア	2
●断熱引戸・片引戸(K3仕様)	10
●断熱玄関引戸(PG仕様)	20
●玄関引戸	24
●勝手口ドア	26
●テラスドア	26
●浴室戸	30

サッシ関連

●全開口サッシ(折りたたみ窓)	32
●引違い窓・片引き窓関連	35
●雨戸付引違い窓	42
●シャッター付引違い窓	43

出窓・装飾関連

●出窓	53
●たてすべり出し窓	54
●すべり出し窓	58
●平行すべり出し窓	62
●内倒し窓	63
●オーニング窓	64
●ルーバー窓	65
●ダブルルーバー窓	65
●電動オーニング窓	67
●電動すべり出し窓	67
●電動ルーバー窓	67
●片上げ下げ窓・上げ下げ窓	70
●電動オペレーターユニット	72
●トップライト	75

ドア・引戸・サッシ・装飾窓関連Q&A

●玄関ドア・勝手口ドア・テラスドア	81
●玄関引戸	83
●玄関引戸[引戸クローザー付きの場合]	84
●引違い窓・片引き窓関連	85
●網戸	87
●雨戸	88
●全開口サッシ	89
●たてすべり出し窓・すべり出し窓	90
●平行すべり出し窓	90
●内倒し窓	91
●オーニング窓	91
●ルーバー窓・ダブルルーバー窓	92
●シャッター[電動・手動タイプ共通]	93
●シャッター[電動タイプ]	94
●片上げ下げ窓・上げ下げ窓	95
●アルミ商品の腐食	96

窓まわり商品

	97
--	----

アルミインテリア建材

●引戸・固定間仕切り・飾り棚	98
●アルミ階段	99

バルコニー・テラス・テラス囲い・サンルーム・手すり

	101
--	-----

お手入れ方法

●銅板製商品(鏡板・雨戸パネル)	103
●銅板ドア表面材	103
●アルミ製商品	104
●樹脂シートをラミネートした商品	105
●樹脂サッシ(PVC)	105
●網戸	106
●横引きロール網戸・バランサー網戸・アコーディオン網戸・ロール網戸	106
●お手入れ回数	106
●アルミ建材商品	107
●雨水浸入とは	107
●汚れの程度と清掃方法	108
●内装建材(床材)	109
●アルミインテリア建材(アルミ階段)	110

ドア・サッシ・装飾窓の性能値について

●耐風圧性	112
●気密性	112
●水密性	112
●遮音性	113
●断熱性	113

窓等に起こりえる現象とその対策

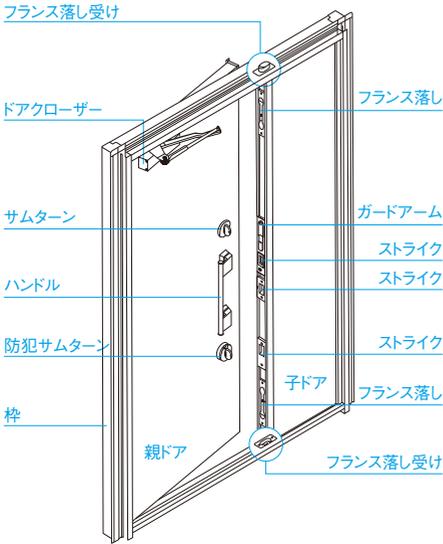
	115
--	-----

商品保証・免責事項

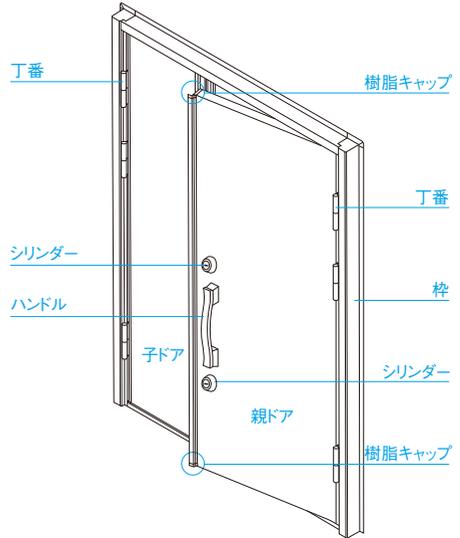
●商品保証	118
●免責事項	119

各部の名称

■丁番タイプ／親子開きドア

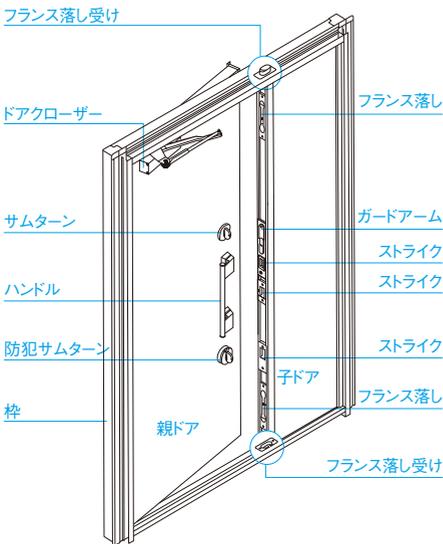


(内観)

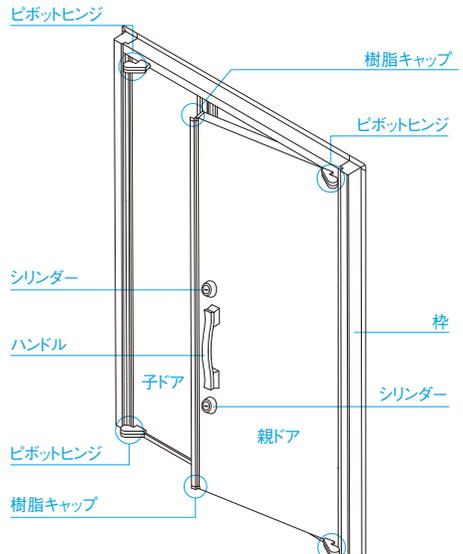


(外観)

■ピボットヒンジタイプ／親子開きドア



(内観)



(外観)

ご使用上の注意とお願い

ご使用いただく時のチェックポイント

- ドア本体及び子ドアは、確実に納まっていますか。また、枠との隙間はありますか。
- 施錠は確実にできますか。
- ドアが急激に閉まる時又は閉め速度が遅い時はドアクローザーを調整(P.9参照)してご使用ください。



安全操作のポイント

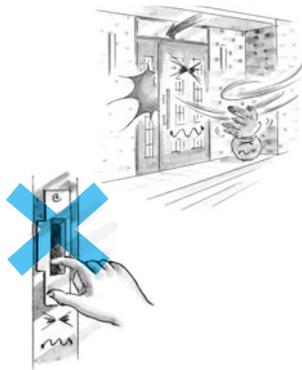
- 防犯性向上のため施錠は、メインロックとサブロックを併用してください。
- ドアを開いた状態で、ドアチェーン(用心鎖)やガードアームなどを使用しても錠の替わりとはなりませんのでご注意ください。
- ドアチェーン(用心鎖)やガードアームは錠ではありません。外出や就寝時には、必ず施錠を行ってください。

注意

お願い

ケガの防止

- 風の強い時はドアを閉めて、必ず錠をかけてください。風によりドアが急に開閉することがあり、ドアの破損やケガにつながるおそれがあります。
- ドアの開閉時には、ドアを吊っている側(丁番、ピボットヒンジなど)の隙間に手を置かないでください。指を挟んで大ケガのおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。
- ドアの開閉にあたっては、必ずハンドルを持って操作してください。ハンドルから手を放したり、ドアの先端に手を置くと、突風等でドアが急に閉まったとき、ドアと枠の間で指を挟み、思わぬケガをするおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。
- ドア開閉時に扉の下端部に足が当たらないようにしてください。扉の角に足が当たったり、足を挟んだりしてケガをするおそれがあります。特にお子様やサンダル履きでの開閉の際にはご注意ください。
- 錠の受け金具の穴に指を入れしないでください。



破損・故障の防止

- ドアクローザーによって閉じかけているドアを強く押し引いたりしないでください。取付ネジや丁番のネジのゆるみ、枠やドア本体の破損につながります。
- 錠の表面を金属装身具等でキズつけないようにご注意ください。錠の傷部分から変色したり腐食する場合があります。



メンテナンス

- 錠は、日常的に布で空拭きをしてください。錠の表面の汚れ、ホコリ等が付着したままで放置しますと変色や腐食する場合があります。
- 鍵穴に油や異物を入れしないでください。鍵の操作ができなくなります。
- 掃除の際、酸やアルカリや塩素等の化学薬品は使用しないでください。(お手入れ方法はP.103~を参照してください。)

ご使用上の注意とお願い

※カバ社製ディンプルキーは付属の取扱説明書をご確認ください。

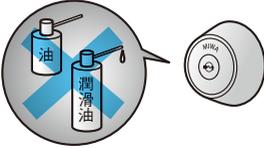
(PSシリンダー用)

鍵・シリンダーのお手入れ方法

■鍵・シリンダーは、以下の手順でお手入れを行なってください。

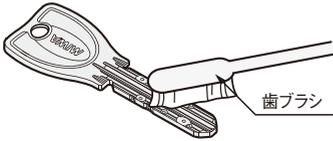
STEP1 鍵穴のゴミやホコリを吐き出してください。

鍵穴のゴミやホコリはパソコンのキーボード用のエアダスター等を使用し、吐き出してください。掃除機で吸い出す方法もあります。



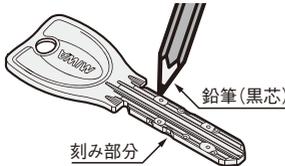
STEP2 キーの刻み部分や溝部の汚れ(ゴミやホコリ)を取り除きます。

歯ブラシ等で、刻み部分や溝の汚れを掻き出してください。(定期的な清掃をお願いいたします。)



STEP3 鍵穴の抜き差しがスムーズでない、または重いとき。

- 1) 鍵のすべての刻み部分を鉛筆(先端の黒芯)でなぞるように黒く塗り、その鍵を鍵穴に挿入して数回抜き差しをしてください。鍵の抜き差しがスムーズになります。
または、錠前専用の潤滑剤「3069」を鍵穴に0.5秒程度吹きつけてください。吹きつけすぎると、かえって動作が悪くなる場合があります。
- 2) 鍵の抜き差しがスムーズになりましたら、鍵に付着している黒い粉または潤滑剤を布等でふき取ってください。付着したまま使用されると、衣服等を汚す場合があります。



錠前潤滑剤「3069」は美和ロックサービス代行店で販売しております。詳しくはお問い合わせください。サービス代行店はホームページから検索できます。

美和ロックホームページ
<http://www.miwa-lock.co.jp/>

⚠️注意

鍵穴に、油や市販の合成潤滑剤(CRC、シリコンスプレー等)をさすことは絶対にお止めください。油にホコリが付き鍵穴内部で粘着するため、すぐに作動不良になり故障の原因になります。



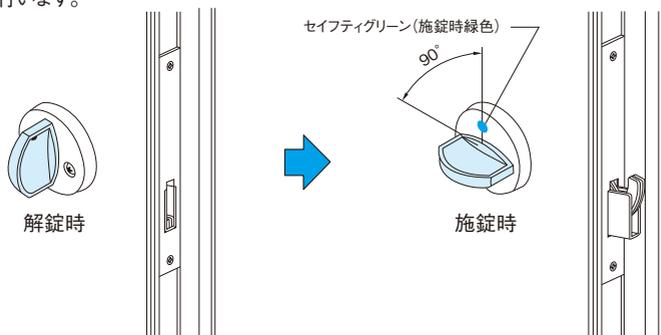
錠前潤滑スプレー 3069

【写真左】スプレー3069(内容量70ml)
【写真右】スプレー3069MINI(内容量20ml)
※業務用スプレー3069L(内容量480ml)も
あります。

操作方法

サムターンの操作

- ①サムターン(縦の位置から)を45°まわすとガードアーム錠が掛かります。
- ②サムターン(縦の位置から)を90°まわすと施錠できます。施錠の確認は、施錠時に見えるセイフティグリーン(緑色)で行います。



- 外出・就寝時など施錠する際には、防犯のため、必ず上下両方の錠をかけてください。

防犯サムターンの操作方法[脱着式の場合]

- ガラスを割ってサムターンを操作し進入する「ガラス破り」を防ぐため、下側のサムターンはつまみが脱着できます。
 - ・施錠時の確認はセイフティグリーンで行います。緑色は施錠時、黄色は解錠時を示します。
 - ・施錠時または解錠時、どちらの場合でもつまみの脱着はできます。

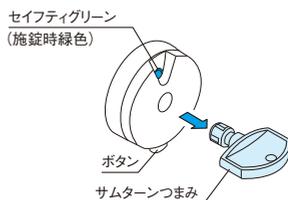
■脱着式の場合

[サムターンつまみの外し方]

- 下側にあるボタンを押しながらサムターンつまみを抜いてください。

[サムターンつまみの取り付け方]

- ①セイフティグリーンの色を確認してください。
- ②下側にあるボタンを押しながら、サムターンつまみを取り付けてください。



- 施錠時(セイフティグリーン:緑色)にはつまみを横に、解錠時(セイフティグリーン:黄色)にはつまみを縦にして、取り付けてください。
- つまみを取り付ける際は、つまみの向きに注意し、奥まで確実に挿入してください。向きが異なると正しく取り付けできず、つまみが破損し、施解錠できなくなるおそれがあります。また、つまみを取り付けた後は、施解錠が正しく行えるかを確認してください。
- 防犯サムターンのつまみははずしてご使用の時は、つまみを常にドアの近くに置いてください。緊急時にははずしたつまみがないと錠の操作ができず、外に出られなくなるおそれがあります。

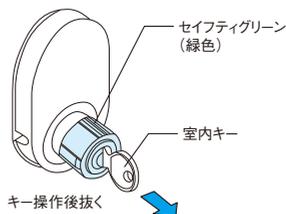
操作方法

防犯サムターンの操作方法 [空転式の場合]

- ガラスを割ってサムターンを操作し進入する [ガラス破り] を防ぐため、下側のサムターンはキー操作によりつまみを空転させ、錠の操作をできなくすることができます。

■ 通常のサムターンとしてご使用の場合

- キー (室内キーまたは室内外兼用キー) を防犯サムターンのシリンダーに差し込み、縦の位置にして抜くと、通常のサムターンとして錠の施錠ができます。



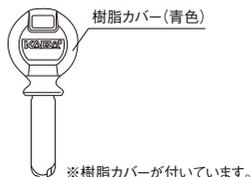
[室内キーについて]

- 緊急時や在宅時に防犯サムターンを操作する専用の鍵です。シリンダーを操作することはできません。



[室内外兼用キーについて]

- 防犯サムターンおよびシリンダーを操作することができます。通常はこのキーのみを使用します。

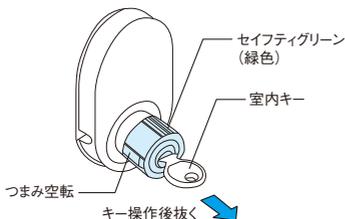


施解錠の操作

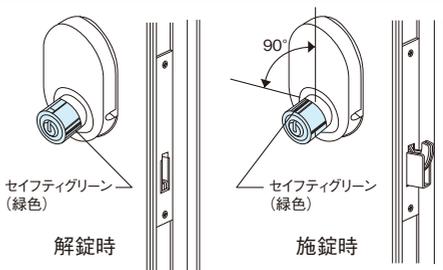
- 施解錠の確認はつまみの識別マーク (緑色) の位置で行います。解錠時は横、施錠時は縦となります。
- サムターン (セーフティグリーンが横の状態) を 90° まで回すと施錠できます。

■ 防犯サムターンとしてご使用の場合 (つまみを空転させる)

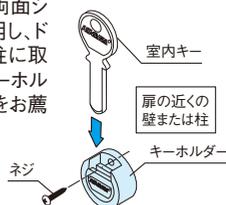
- キー (室内キーまたは室内外兼用キー) を防犯サムターンのシリンダーに差し込み、横の位置にして抜くと、サムターンつまみが空転し、施解錠操作ができません。



- 外部から不用意に操作されることを防ぐため、防犯サムターンを操作後は必ずキーを抜いてください。



- 在宅の時は室内キーを常にドアの近くに置いてください。緊急時に室内キーがないと防犯サムターンが操作できず、外に出られなくなるおそれがあります。付属キーホルダーを両面シールまたはねじを使用し、ドアの近くの壁または柱に取り付け、室内キーをキーホルダーに入れておくことをお勧めします。



操作方法

ガードアームの操作



内観



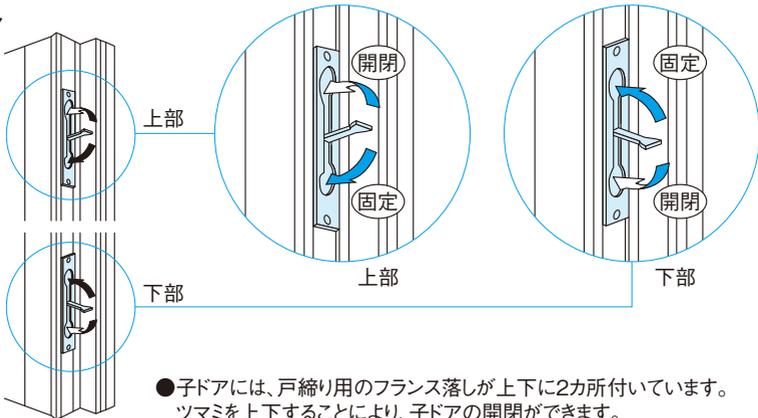
⚠️ 注意

- 室外側からキー解錠する場合は必ず90°回してください。90°回さないとガードアームがかかった状態になる恐れがあります。

- ① 上下サムターンを45°回すとガードアーム錠が掛かります。
- ② 90°回すと施錠されます。

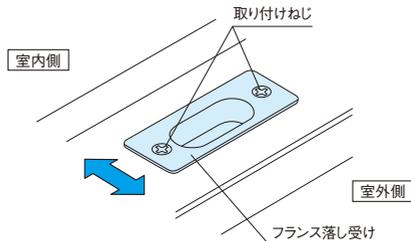
子ドアの開閉(フランス落し)

子ドア



■ フランス落し受けの調整

- 子ドアがガタつく場合は、フランス落し受けの取り付けねじをゆるめ、受けの位置を調整してください。

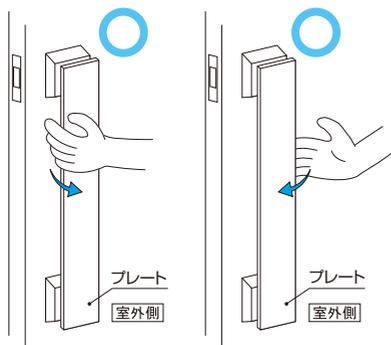


操作方法(D型ハンドルの場合のみ)

- D型ハンドルをお使いになっているお施主様は、下図を参考に室外側ハンドルの操作をお願いします。

○ 正しい使い方

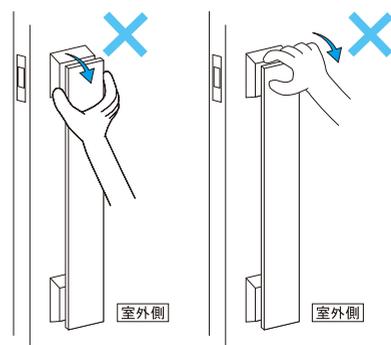
室外側のハンドルは、プレートの左右どちらから引いても、ドアを開けることができます。



✕ 誤った使い方

室外側のハンドルのプレートをつかんで引く

室外側のハンドルのプレート上端に手をかけて引く



⚠ 注意

- 誤った使い方をすると、内部機構に負荷がかかり、故障の原因となる場合があります。また、プレートと台座のすきまに指や手をはさみ、ケガをする恐れがあります。

調整方法

ドアクローザー

■ドアの閉まる速度の調整

●夏季と冬季の温度変化により、多少閉まる速度が変化しますので速度調整をしてください。ドアの閉じる速度は、速度調整バルブをドライバーで回して調整します。調整の際は、手足や指などを挟まないよう十分注意して調整ください。

■2速調整の場合

●第一速度調整バルブ(刻印1側)は、工場出荷時に調整してありますので不要です。調整が必要な場合のみ、ドライバーで回して調整してください。第二速度調整バルブ(刻印2側)をドライバーで回して調整します。左へ回すと早くなり、右に回すと遅くなります。

■3速調整の場合

●調整バルブは3つあります。第一速度調整バルブと第二速度調整バルブで全体の閉じる速度を調整します。調整バルブをドライバーで左に回せば閉扉スピードは速く、逆に右へ回せば遅くなります。扉が閉じる寸前の「力」を強くしたい場合は、ラッチング力調整バルブを左に回しねじ込んでいくとラッチング角度が大きくなり強く締まります。閉じる力を弱くしたい場合は右へ回してください。

■風除室や玄関間仕切りを付けた場合

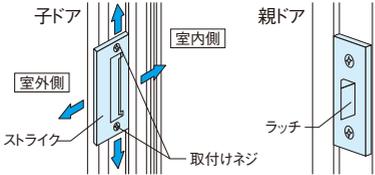
●風除室や玄関間仕切りなどにより玄関の気密性能が良くなるとドアチェックを調整してもドアチェックだけでは玄関ドアのラッチが掛からないことがあります。ドアチェックの力で玄関ドアのラッチが掛からない場合は、手動で閉めてください。

⚠注意

●調整バルブは必要以上に回したりしないでください。緩めすぎると調整バルブがはずれ油もれを起こし正常に機能しなくなります。

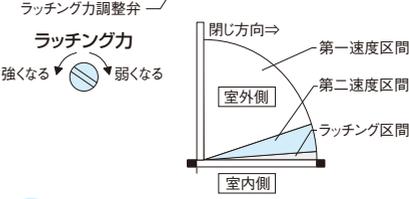
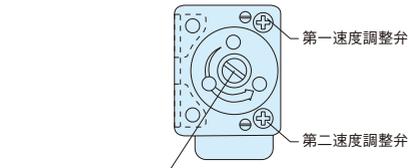
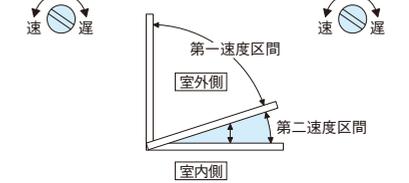
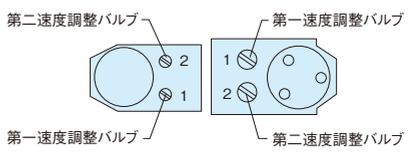
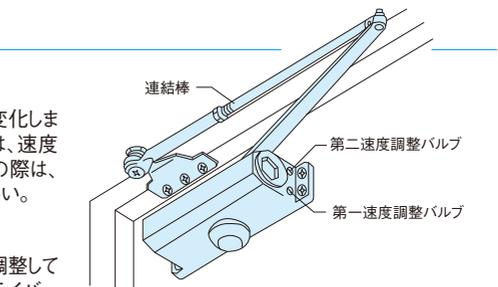
錠受け(ストライク)の調整

●ドアのラッチや錠がかからない場合は、ストライクの取付けネジをゆるめ、ストライクの位置を調整してください。



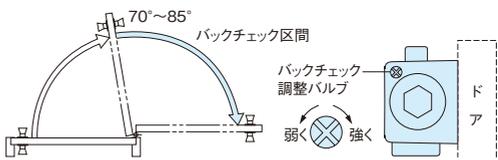
■バックチェック機能調整の場合 (Grade 1 ドアクローザー)

●バックチェック調整バルブを右に回すとクッションが強くなり左に回すとクッションが弱くなります。



丁番・ピボットヒンジの調整

●丁番・ピボットヒンジの調整は必ず施工された業者にご相談ください。



断熱玄関引戸・片引戸(K3仕様)

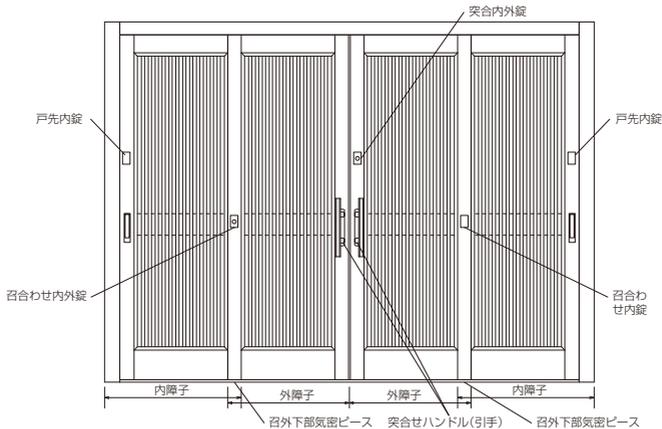
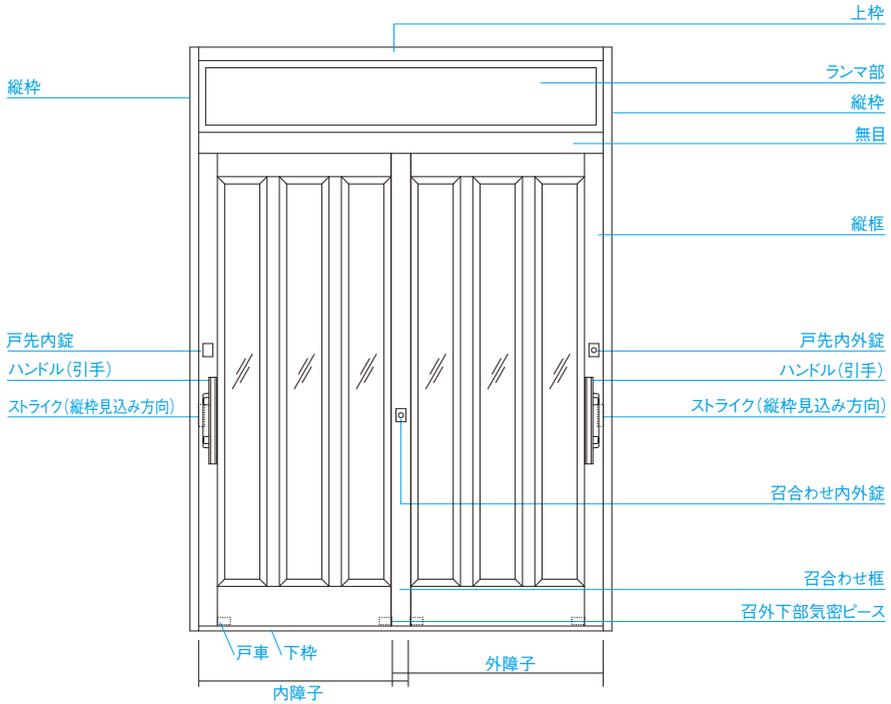
断熱玄関引戸・片引戸(K3仕様)

各部の名称

お願い

●引戸の開閉にあたっては必ず引手を持って操作してください。

■引戸部品名称(外観)



操作方法

セキュリティサムターンの操作方法

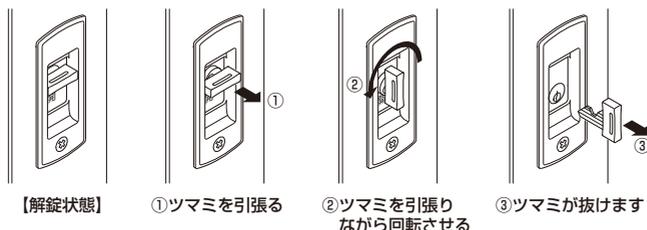
（断熱玄関引戸K3）

■ツマミを外す場合

- ①ツマミを引張りながら②左にまわすと③ツマミが抜けます。
- ④ツマミが抜けた後、セキュリティサムターンのシリンダーは一番下まで下がった状態になります。

■ツマミを取付ける場合

- ツマミを差込み、右にまわしてゆっくり上げます。



【解錠状態】

①ツマミを引張る

②ツマミを引張りながら回転させる

③ツマミが抜けます

※施錠状態からの取外しも同様です。

セキュリティサムターンの操作方法

（アーバンスライドII）

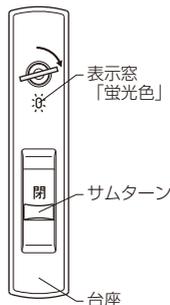
- 本セキュリティサムターンは、外装用の鍵（施主キー）で内錠のシリンダーを操作することでサムターンをセキュリティ状態にセットすることができます。

【セキュリティ状態】

- サムターンを操作しても施解錠操作ができない状態。（外出時など、ガラスを壊されても解錠操作ができないため、不正侵入を防止できます。）

〈セキュリティ状態のセット方法〉

- ①鍵を室内側のシリンダーに差込み、右に回転させます。
 - ②表示窓の色が「蛍光色」に変わります。
 - ③鍵を水平に戻して抜きます。
- ※セット後は、サムターンで施解錠の操作はできません。

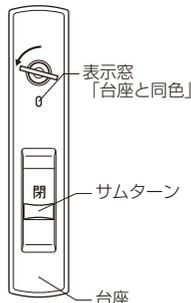


【通常状態（セキュリティ解除）】

- サムターンを上下に操作すると施解錠ができる状態。

〈セキュリティ状態の解除方法〉

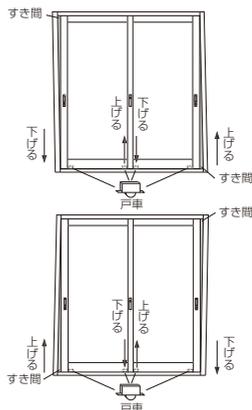
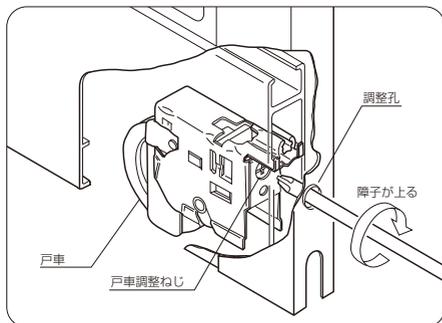
- ①鍵を室内側のシリンダーに差込み、左に回転させます。
 - ②表示窓の色が「蛍光色」から「台座と同色」に戻ります。
 - ③鍵を水平に戻して抜きます。
- ※サムターンをゆっくり上にあげると解除されます。（通常状態になります。）
- ※セキュリティ状態のときは、サムターンの表示が「閉」であっても、施錠されていないおそれがありますので、就寝時などは、施錠されているかを確認してください。



調整方法

戸車の調整

- 枠と障子との間にすき間が生じた場合に戸車の調整ねじをまわして障子を上下させることで開口部に合わせる事ができます。



縦框側・召合せ框側
どちらの戸車でも調整が可能です。

戸先錠、合掌錠のストライク部調整

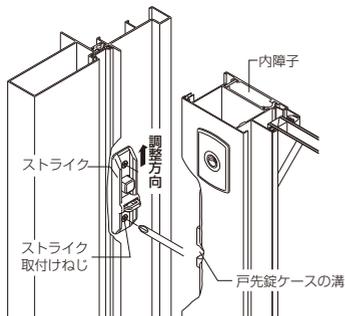
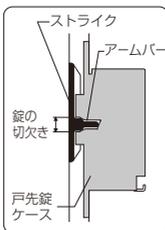
- 戸先錠(内錠、外錠)のついている商品で錠のかかりにくい場合は、ストライク(錠受け)の取付けねじを緩めて、上下に動かし調整してください。
- 引戸は種類により、調整が異なります。内障子の右上部にあるブランドラベルをご覧ください、下記の手順で調整を行ってください。

■ストライクの調整(断熱玄関引戸K3)

1 上方向の調整

- 戸先錠(内錠、外錠)がかかりにくい場合やラッチがかかりにくい場合は、ストライク取付けねじを上下2箇所とも緩め、ストライクを上調整してください。(調整幅:5mm)

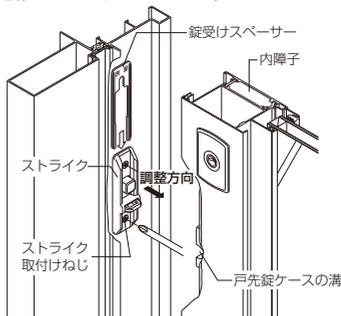
※障子を少し開けた状態でアームバーが錠の切欠きの中心にくるように調整してください。



2 出方向の調整

- 上方向の調整をしても、錠がかかりにくい場合やラッチがかかりにくい、又はラッチ解除がかたい場合は、ストライク取付けねじを上下2箇所とも緩め、錠受けスペーサー(枠に同梱)の裏表を確認して枠とストライクの間に入込んでください。(調整量:1枚で約1mm)

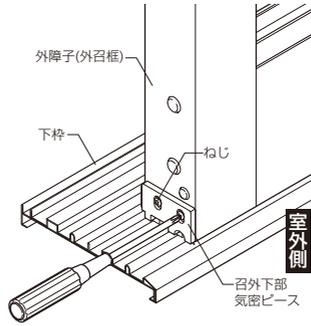
※1つのストライクにつき最高で4枚まで入りますが、できるだけ少なくしてください。入れすぎると気密材が当たらなくなり、気密性能が低下したり、ストライクが破損するおそれがあります。



調整方法

召外下部気密ピースの調整

- 気密性を保つために気密ピースを下げて、外障子と下枠のすき間を発生させないように調整してください。
- 障子を閉めた状態で召外下部気密ピースのねじを緩めて下げ、下枠に当ててねじを締めます。



(断熱玄関引戸K3)

調整方法

■ノンリバウンド機構について(アーバンスライドII)

1 操作方法

※ノンリバウンド機構は、障子を閉めた勢いで縦枠に当たって跳ね返って止まるのを防止するための機構です。

■開け動作

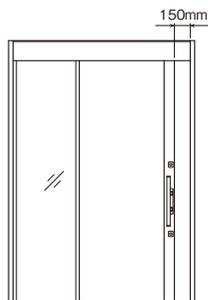
ノンリバウンド機構が動作している区間(戸先から約150mm)は開けるのに重く感じますが、その区間をこえると軽くなります。

区間をこえた位置では、障子はどこでも止めることができます。

■閉め動作

ノンリバウンド機構が動作している区間(戸先から約150mm)まで障子を閉めれば、その後は(手を離しても)最後まで閉まります。

ノンリバウンド機構が動作する区間までの閉め方(勢い)、障子重量、枠の建付け状態、周囲の温度によってプレーキのかかり具合、閉まり時間は変化します。閉まり時間が長い場合は、ある程度勢いをつけて閉めてください。



2 調整方法

■閉まり時間を早くしたい場合、枠の建付け状態で最後まで閉まりきらない場合

※動作区間までの障子を閉めるスピードを早くする、又は以下の手順で引込む力を調整してください。

- 障子を全開位置まで開ける。
- バネ力調整ツマミの固定ねじをゆるめる。
- 縦枠側(バネを引っ張る方向)にツマミを動かす。
- 固定ねじを締める。

※動かしすぎると障子を開く力が重くなります。

■衝撃吸収力が物足りない場合

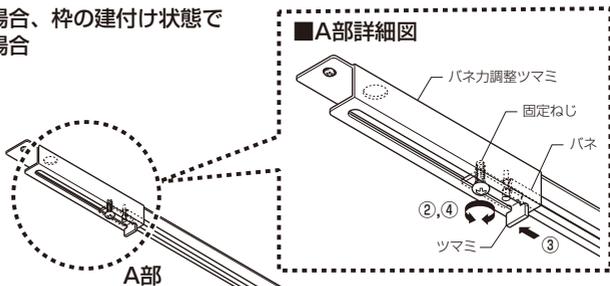
※動作区間までの障子を閉めるスピードをゆっくりにする、又は以下の手順で衝撃吸収力を調整してください。

※障子の閉まり時間が長くなりますので、外気温が上昇する季節のみの調整をおすすめします。

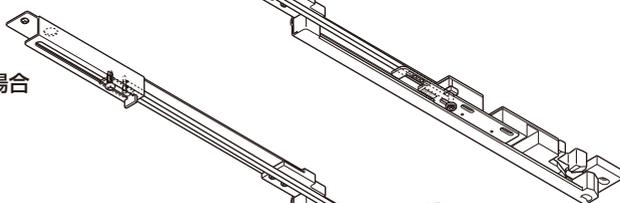
- 障子を全開位置まで開ける。
- 調整金具の固定ねじをゆるめる。
- 調整金具を“強”の方向(召合せ側)に移動する。
- 調整金具の固定ねじを締める。

※外気温が低いときは、この手順の逆に調整して元に戻していただくことをおすすめします。

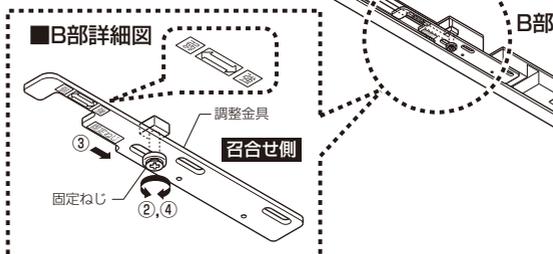
■A部詳細図



A部



■B部詳細図



B部

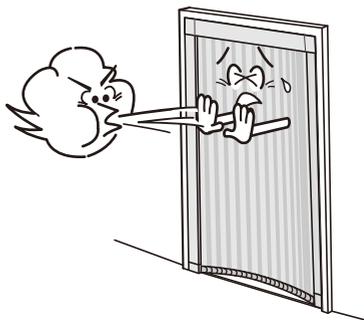
引戸用網戸(収納タイプ)のご使用上の注意とお願い

特に注意していただきたいこと

※安全のため、必ずお守りください。

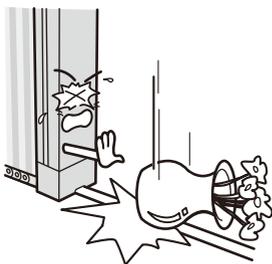
⚠️ 注意

- 網戸脱落のおそれがありますので、下記の事項をお守りください。
- 網戸本体を取付けた後、網戸の収納枠を引いて、アンカープレートから外れないことを確認してください。
- 風速10m以上の強風時には、使用しないでください。



お願い

- レールには衝撃を与えたり硬い物を当てないでください。変形・破損の原因になります。
- スライドバーに把手や錠をねじ止めしないでください。ねじがキャタピラに当たって動かなくなるおそれがあります。



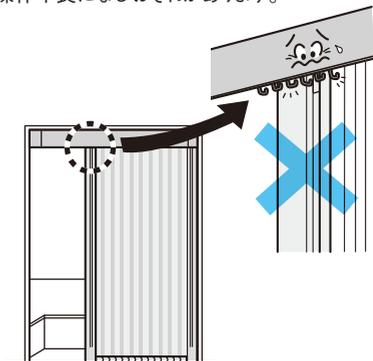
引戸用網戸(収納タイプ)のご使用上の注意とお願い

お願い

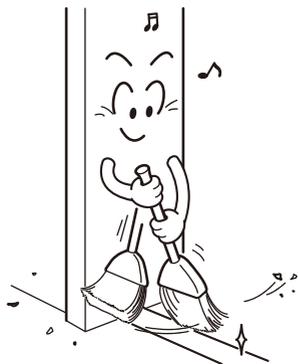
※スライドバーを持ち上げながら開閉しないでください。
網戸がレールから外れてしまうおそれがあります。



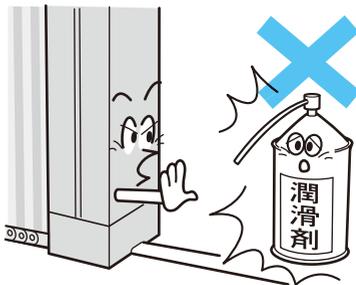
※上枠中央付近でスライドバーを止めたまま長時間
放置しないでください。上枠内の部品が変形して
操作不良になるおそれがあります。



※レールの周りの小石・砂・ホコリなどは取除いてくだ
さい。部品の磨耗・損傷を起こすおそれがあります。



※油などの潤滑剤は使用しないでください。ホコリな
どが付着し、操作不良になるおそれがあります。

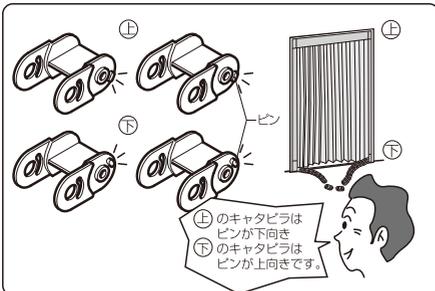


引戸用網戸(収納タイプ)のご使用上の注意とお願い

キャタピラが外れたとき



■もしも複数箇所外れてしまったら...

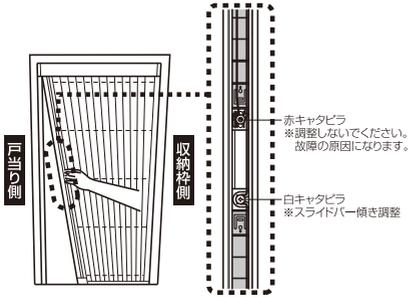


開け閉めがしにくいとき



引戸用網戸(収納タイプ)の調整方法

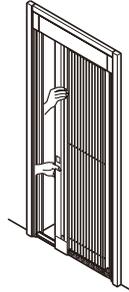
戸当り側又は、収納枠側の額縁が下図のように反っていて、網戸を開けてもスライドバーが固定されない場合



- ③ 白キャタピラの調整ねじをゆるめます。
- ④ 図のようにスライドバーの上下を持って傾きを調整します。
- ⑤ 白キャタピラの調整ねじを締め付け固定します。

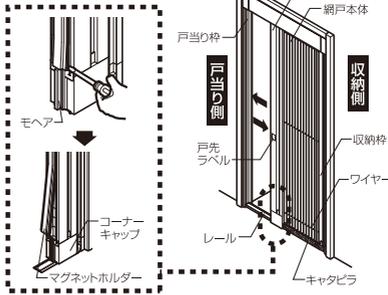
お願い

※ねじは必ず手で締めてください。強く締めすぎたり、電気ドライバーを使用するとねじが破損する場合があります。



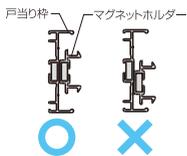
※以下の手順にしたがい、調整してください。

- ① スライドバーの建付け調整ねじは、スライドバーの内側にあります。スライドバーに付いているマグネットホルダーを外してから調整します。
- ② スライドバー戸先面に付いている、マグネットホルダー下部とモヘヤの間にマイナドライバーの先端を斜めから差し込み、持ち上げるとマグネットホルダーがスライドバーから外れます。外れた部分を持って下から引きはがすようにして上まで全部外します。

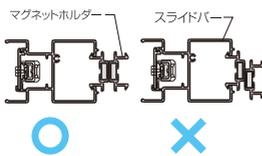


- ⑥ マグネットホルダーが戸当り枠(片引き仕様)もしくは、引き分け本体のマグネットホルダーに固定できるか確認してください。

【片引きの場合】

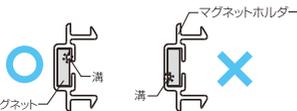


【引き分けの場合】

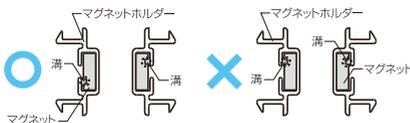


※上図のようにマグネットホルダーがずれて固定される場合は、マグネットの溝を図の通りしてください。

【片引きの場合】



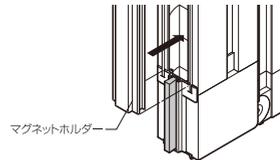
【引き分けの場合】



- ⑦ すべての確認が完了したらマグネットホルダーを取付けてください。

※マグネットホルダーを、スライドバー下部の溝に合わせ押付け取付けます。
※下から順にマグネットホルダーをスライドバーに押付け取付けます。

■マグネットホルダーの取付け



キャタピラとレールの点検

- キャタピラとレールに変形・破損がないことを確認してください。変形・破損、およびレールの破損があった場合は、施工店、販売店又はハウスメーカー様にご相談ください。

引戸用網戸(収納タイプ)のお手入れ方法

網戸のお手入れ方法

お願い

※レールの上やレールの周りに小石・砂・ホコリなどがたまりまますと部品の磨耗や損傷を引起こし、網戸の開閉に支障をきたすおそれがあります。こまめに清掃するようお願いいたします。

本製品は網戸本体を取外して、丸洗いでできます。



お願い

※水洗い後は、網戸本体を十分に乾燥させてください。濡れたまま使用すると再びホコリなどが付着しやすくなり、開閉が重くなります。

※取付け時濡れていると開閉が重くなります。

●水洗いする場合は…

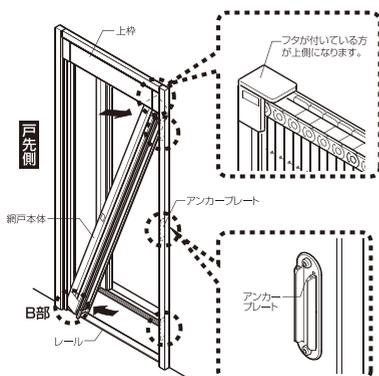
- ・ スポンジ、毛先の柔らかいブラシなどでワイヤーを引っ掛けないように洗ってください。
- ・ 網を傷めるおそれがあるたわしなどの器具は使用しないでください。

●汚れがひどい場合は…

- ・ うすめた中性洗剤で汚れを落とした後、洗剤が残らないように水洗いします。
- ・ シナー・ベンジンなどの有機溶剤は絶対使用しないでください。



網戸本体の取外しと取付け



●取外し

- ① 網戸本体の収納枠に両手をかけ戸当り側方向に引っ張るとアンカープレートから収納枠が外れます。このとき、網戸本体をレールから少し浮かせて、左右どちらかの方向へひねると容易に取外することができます。
- ② 網戸本体を斜めにして上枠から取出します。
※網戸が3枚建・4枚建の場合は、本体連結部を取外した後、上枠から取出します。

●取付け

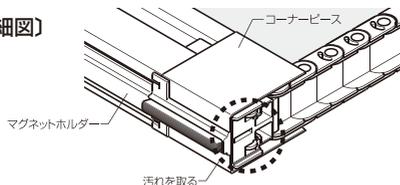
- ・ 取外しと同じように網戸本体を斜めにして上枠とレールの間に入れ、本体をレールに接触させながら収納枠をアンカープレートに「バチン」と音がするまで押付けると溝とアンカープレートが接合し固定されます。
- ※網戸が3枚建・4枚建の場合は、召合せ側の本体（マグネットが付いている本体）から先に、上枠キャップより挿入してください。その後、もう一方の本体を挿入し、本体どうしを連結させてください。（手順を間違えると、連結できなくなります。）

⚠️ 注意

● 網戸本体を取付けた後、網戸の収納枠を引いて、アンカープレートから外れないことを確認してください。

異音発生時のお願い

(B部詳細図)



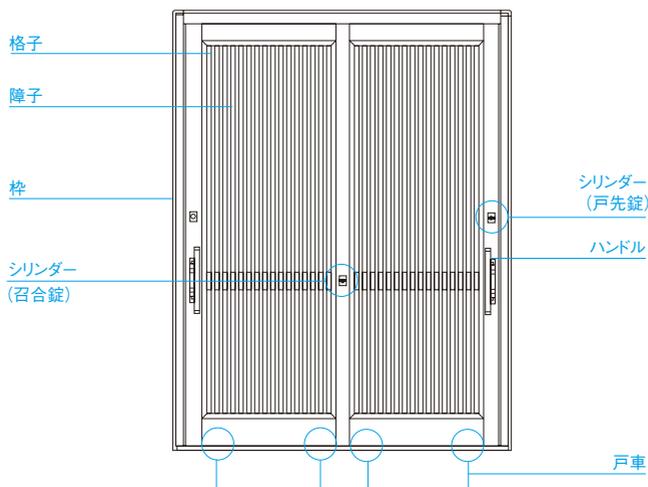
- 網戸の開閉の際にスライドバー下部より異音（キーキー音）が発生する場合があります。その場合は、スライドバー下部のコーナーピース(左図)が汚れていると思われるので、網戸本体を取外し、ブラシなどで汚れを取除いてください。

断熱玄関引戸 (PG仕様)

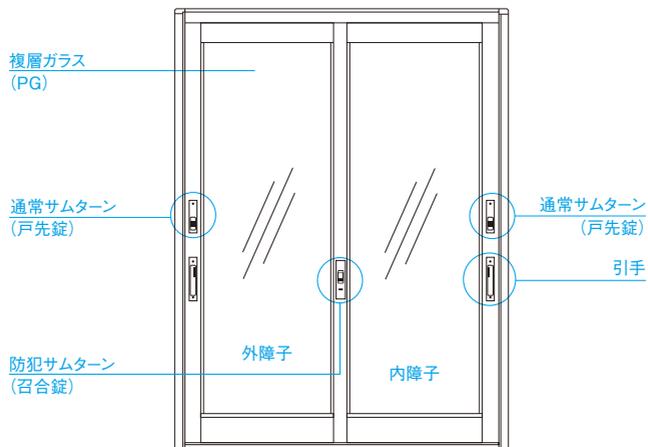
断熱玄関引戸 (PG仕様)

各部の名称

断熱玄関引戸 (複層ガラス仕様)



(外観)



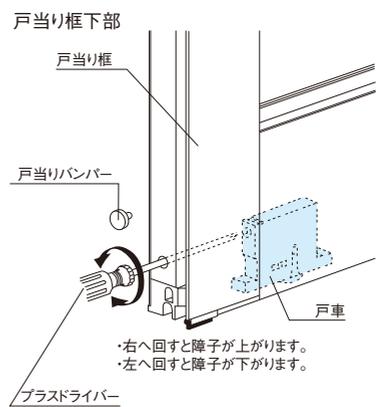
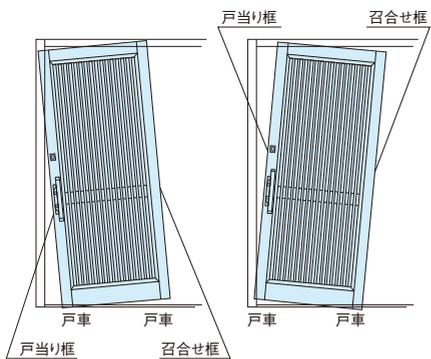
(内観)

調整方法

建付(戸車)の調整

● 枠と障子との間にすき間が生じた場合は、戸車の調整ねじをまわして障子を上下させて開口部に合わせることができます。戸当り框側、召合せ框側両方の戸車で調整を行ってください。

● 戸当り框・召合せ框下側の戸当りバンパーをはずし、プラスドライバーで戸車の調整用ねじをまわして、縦枠と障子が平行になるよう調整してください。



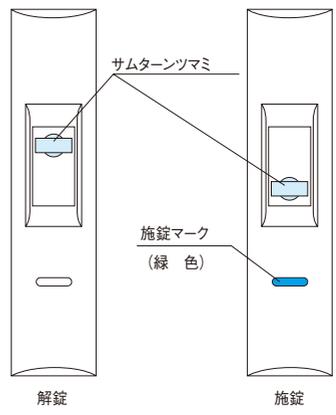
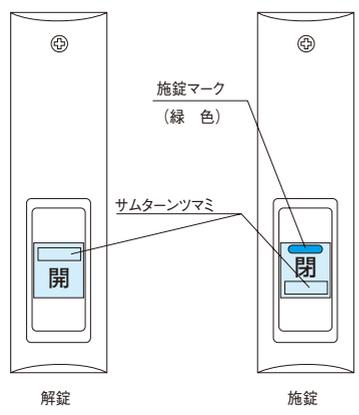
サムターンの操作

● 召合錠は安全装置付の為、障子を閉めないでサムターンの「開」「閉」操作はできません。

■室内側のサムターン操作

[通常サムターン(戸先錠)]

[防犯サムターン(召合錠)]

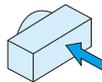


操作方法

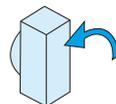
防犯サムターンつまみの取り外し方

●ガラスを割ってサムターンを操作し侵入する「ガラス破り」を防ぐため、召合錠の防犯サムターンつまみが脱着できます。

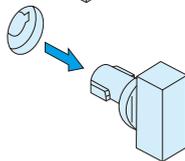
①防犯サムターンつまみを押し込みます。



②その状態で反時計回りに90°回します。



③防犯サムターンつまみを取り外します。
防犯サムターンつまみの取り付けは、逆の手順で行ってください。



※召合錠は調整不要の機構を採用しており、施錠後に障子を開ける操作をした場合、キーや防犯サムターンつまみでの施錠操作が固くなる場合があります。その場合は、一度障子を閉め方向に動かすと操作が軽くなります。

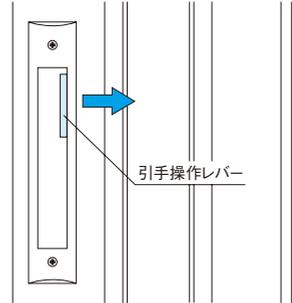
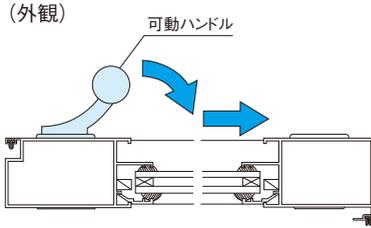
※施錠された状態で、障子の開け方向に強い力が加わると、鎌がずれることがあります。これは、ガタつきをおさえる機構を破壊させないためのものですので、異常ではありません。

※召合錠は防犯サムターンつまみの取外しが可能です。

操作方法

ラッチの操作方法

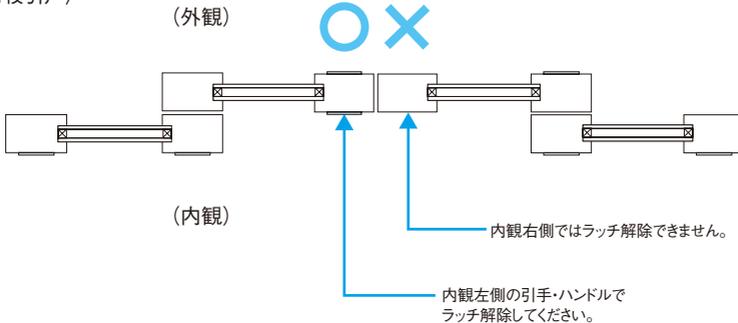
- 可動ハンドルの操作はグリップ部を障子を開ける方向に動かすとラッチが解除します。
 - 可動引手の操作は操作レバーを障子を開ける方向に動かすとラッチが解除します。
- ※操作レバーの下方に手を掛けるより上方に手を掛けた方が軽く解除できます。
 ※4枚引きの内観右側の召合せ部にも可動引手・可動把手が付きますがラッチ解除は、内観左側の召合せ部の引手・把手しかできません。



(内観)

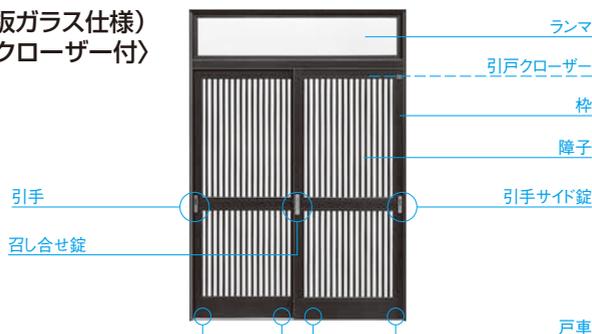
(室内側)

<4枚引戸>



各部の名称

■ 玄関引戸(単板ガラス仕様) (外観)〈引戸クローザー付〉



ご使用上の注意とお願い

ご使用いただく時のチェックポイント

- 引戸障子やランマは、確実に納まっていますか。また、枠との隙間はありますか。
- 施錠は確実にできますか。
- 玄関引戸の場合、障子を閉めた時に枠との隙間があったり、開閉時に異音があれば建付調整(P.25参照)を行ってください。



安全操作のポイント

- 防犯性向上のため施錠はサイド錠と召し合わせ錠を併用してください。



注意

お願い

破損・故障の防止

- 下枠レールは砂やホコリが溜まりやすいところです。砂やホコリは引戸(戸車)の破損や開閉の妨げになりますので常に掃除を行い、下枠レール部に異物がなければ確認してください。
- 錠の表面を金属装身具等でキズつけないようにご注意ください。錠のキズ部分から変色したり腐食する場合があります。



メンテナンス

- 鍵の鍵穴への抜き差し、回転の操作がスムーズに動かなくなったら黒鉛粉(鉛筆の芯を削った粉で可)を鍵にまぶして、何度か繰り返して鍵穴に差し込んでください。
- 錠は、日常的に布で空拭きをしてください。錠の表面の汚れ、ホコリ等が付着したまま放置しますと変色や腐食する場合があります。
- 鍵穴に油や異物を入れないでください。鍵の操作ができなくなります。
- 掃除の際、酸やアルカリや塩素等の化学薬品は使用しないでください。(お手入れ方法はP.103~を参照してください。)

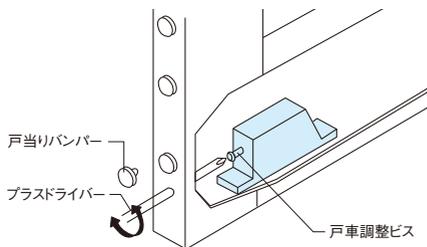


調整方法

建付(戸車)の調整

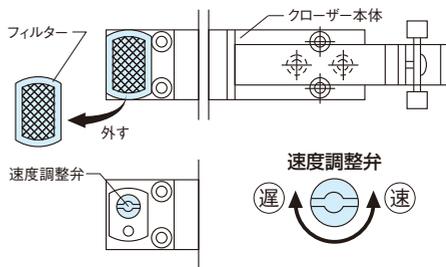
- 障子縦部材下部の戸当りバンパーを取り外し、戸車調整ビスをプラスドライバーで回して調整してください。

- ・ 右へ回すと障子が上がります。
- ・ 左へ回すと障子が下がります。



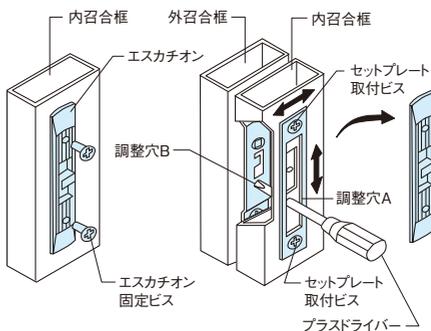
障子閉まり速度の調整

- フィルターを外し、中にある速度調整弁をドライバーで左右に回して調整します。(右に回すと遅くなり、左に回すと速くなります)



召合せ錠の調整(調整量は上下各3mm・左右各3mm)

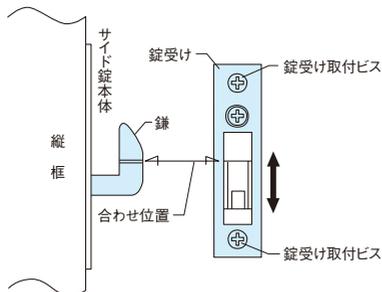
- ① 内召合せ枠室内側のエスカチオンをはずします。
- ② セットプレートのビスをゆるめ、その間から目視により内外召合せ框の鎌と受けの位置を合わせてください。(上記方法で位置が合わせずらい場合は、内召しの調整穴Aから外召しの調整穴Bにドライバー等を差し込み位置を決めてください。)
- ③ 内外召合せ框の鎌と受けの位置が決まりましたらセットプレートのビスを締め、エスカチオンを元の取付け位置に戻してエスカチオン固定ビスで固定してください。



サイド錠受けの調整

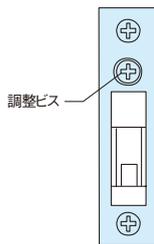
■上下方向の調整

- 戸車で建て付け調整を行って、錠の掛かりが悪くなった場合は、錠受け取付けビスをゆるめて錠受けの位置を調整してください。



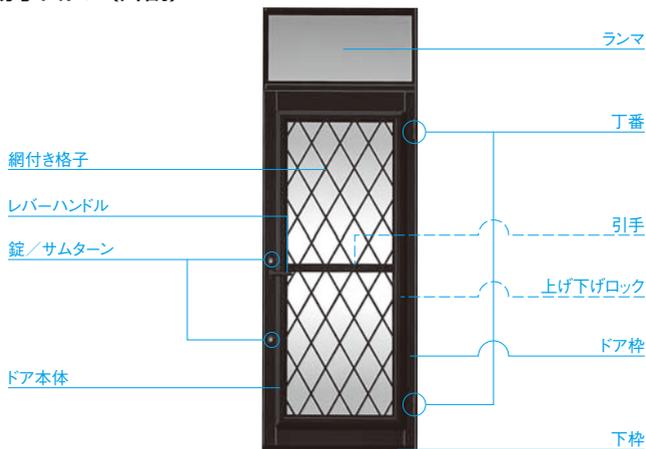
■障子と枠のガタツキ調整

- 引手サイド錠を掛けた状態で、障子と枠にガタツキがある場合は、調整ビスをプラスドライバーで時計回りに回してください。



各部の名称

■エアパス勝手口ドア(外観)



ご使用上の注意とお願い

安全操作のお勧めポイント

- 障子を上げ下げする際は、ドア本体が閉まった状態で操作してください。(エアパスドア)



- 防犯性向上のため施錠は、サムターンと必ず上げ下げロックの施錠も行ってください。(エアパスドア)



上げ下げロック

⚠️ 注意

お願い

網付き格子について

- 外出時、就寝時は必ず障子を閉めてください。(網付き格子には、防犯機能はありません。)

破損・故障の防止

- 風の強い時はドア本体を閉めて、必ず錠をかけてください。風によりドアが急に開閉することがあり、ドアの破損やケガにつながるおそれがあります。

ケガの防止

- ドアの開閉時には、丁番側の隙間に手を置かないでください。指を挟んで大ケガのおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。
- ドアの開閉にあたっては、必ずハンドルやニギリ玉を持って操作してください。ハンドルやニギリ玉から手を放したり、ドアの先端に手を置くと、突風等でドアが急に閉まった時、ドアと枠の間に手を挟み、思わぬケガをするおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。

操作方法

ロール網戸の操作

〈閉め方〉

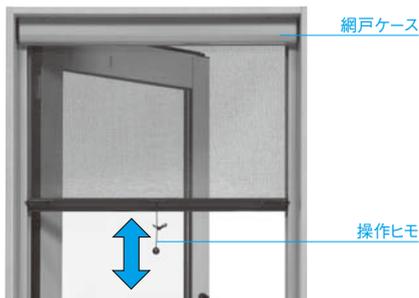
- ① 操作ヒモを下に引きます。
この時、操作ヒモを持ってゆっくと静かに操作してください。

〈開け方〉

- ① 操作ヒモを一旦、下に引きます。
- ② ロール網戸の自動巻取りの速度に合わせ、操作ヒモを持ったまま巻き上げ位置まで操作してください。

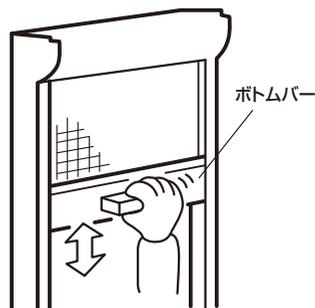
お願い

- ドア本体を開いた状態でお使いください。
- 操作ヒモ以外の箇所を持って操作するとスムーズに開閉しない上、破損の原因になります。



⚠️ 注意

- 網戸を開閉する時は、ボトムバーのつまみ(中央部)、又はひもを持って静かに操作してください。他の箇所をもって操作すると、スムーズに開閉しないうえ破損の原因にもなります。
- 無理な開閉や乱暴な取扱をすると、網戸を破損するばかりでなく思わぬケガの原因になりますのでご注意ください。
- ボトムバーが勢いよく上がりすぎる場合には、途中まで手をそえて、静かに巻き上がる位置で手を離してください。

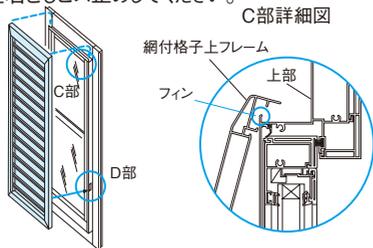


調整方法

エアバス勝手ロドア／網戸格子脱着方法

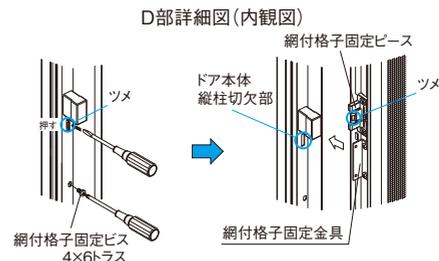
■網戸格子のつけ方

- ① ドア本体上框のフィンに、網付格子の上フレームを引っかけ、網付格子の下から3分の1くらいの所を持ち、ドア本体に押し付けてください。
網付格子固定ピースのツメがドア本体の切欠部に納まり固定されます。
- ② ドア本体縦框の室内側より、網付格子固定ビスにて左右ともビス止めしてください。



■網戸格子のはずし方

- ① 上げ下げ障子を全開にして、網付格子固定ビスを左右とも外してください。
- ② 取り外したビスの上にある切欠部より、網付格子固定ピースのツメをドライバー等で押しながら、室外に軽く押しして左右とも外してください。
- ③ 室外側より、網付格子を持ち上げて外してください。



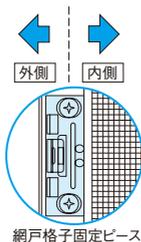
お願い

● 網付格子、ガラスを清掃する場合の脱着方法を、お施主様にご説明ください。

■網戸格子固定ピースの調整

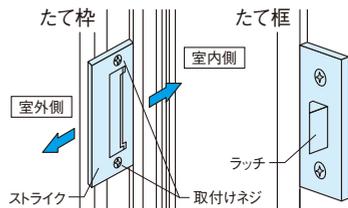
- 網戸格子を固定した時やガタツキが大きかったり、はめ込みが堅かった場合、網戸格子固定ピースのビスをゆるめて調整してください。

- ➔ ビスを内側に寄せる
→ 嵌合せがきつくなる
- ➔ ビスを外側に寄せる
→ 嵌合せがあまくなる



錠受け(ストライク)の調整

- ドアのラッチや錠がかからない場合は、ストライクの取付けネジをゆるめ、ストライクの位置を調整してください。

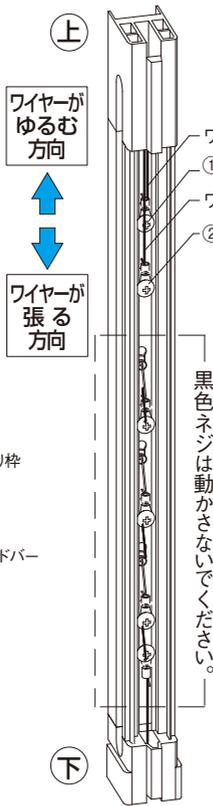
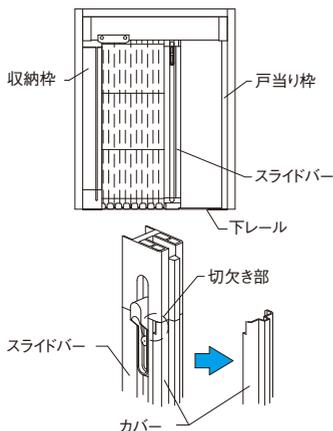


アコーディオン網戸の調整方法

開閉が重い、スキ間ができるなどの場合には、状況に応じて調整をおこなってください。

※両引きの場合は、片側つつ調整をおこないます。

- スライドバーのカバーの切り欠き部に、マイナスドライバー等を差し込み、カバーをこじ開けます。(両引きの場合は、一番上のカバーのみははずしてください。)
- スライドバーを収納枠に押し付け、スライドバーの上部側2ヶ所の調整ネジ①・②を右記の各状況に応じて、上下にスライドさせて調整します。(調整の際、上部側2ヶ所以外の黒色ネジは動かさないでください。)



■開閉が重い場合

①・②両方のネジをゆるめ、「ワイヤーがゆるむ方向」に少しスライドさせて、ネジをしめつけてください。

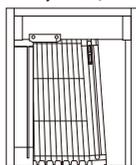
■戸当り枠とスキ間ができる場合

スライドバーを戸当り枠に突き当てても、スライドバーが収納枠側に引き戻されてすぐにスキ間が生じってしまう時には、①・②ネジをゆるめ、「ワイヤーが張る方向」にスライドさせてネジをしめつけます。(【開閉が重い場合】の逆も同様です。)

■スライドバーが斜めになる場合

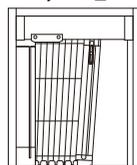
スライドバーを収納側に押し付け、①・②ネジを下記のケースに合わせて、調整します。

ケース1



①ネジをゆるめ「ワイヤーがゆるむ方向」にスライドさせてネジをしめつけ、②ネジをゆるめ「ワイヤーが張る方向」にスライドさせてネジをしめつけてください。

ケース2

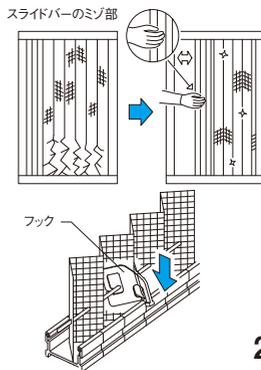


①ネジをゆるめ「ワイヤーが張る方向」にスライドさせてネジをしめつけ、②ネジをゆるめ「ワイヤーがゆるむ方向」にスライドさせてネジをしめつけてください。

上記の調整が一度で直らない場合には、それぞれの場合の調整をくり返してください。

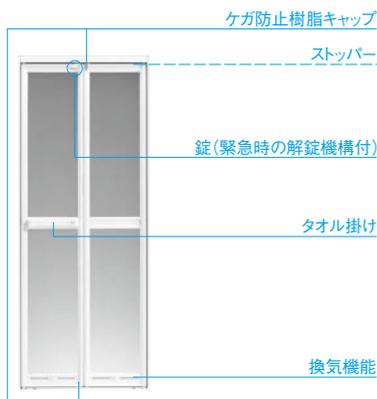
ご使用上の注意とお願い

- 網戸を開閉する時は、スライドバーのミゾ部に手をかけて行ってください。
 - ネットがクシャクシャになった場合は、開閉動作を数回くりかえし行って戻してください。
 - 強風時には使用しないでください。
- ※ 万一の強風時には、網戸保護のためフックが自然にはずれます。風が止んだらフックを元の位置に取付け、ご使用ください。
- 長時間ネットを出したままにすると、収納性が悪くなります。使用しないときはこまめに収納するようにしてください。
 - 無理な開閉や乱暴な取扱いをすると、網戸を破損する恐れがありますので、開閉はゆっくり行ってください。

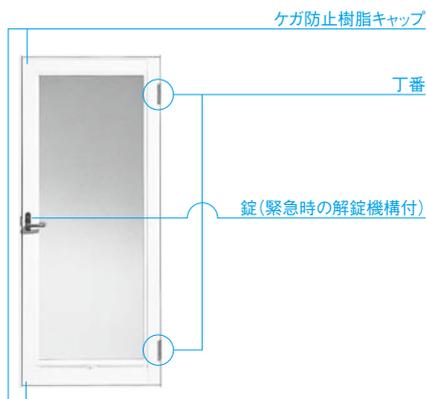


各部の名称

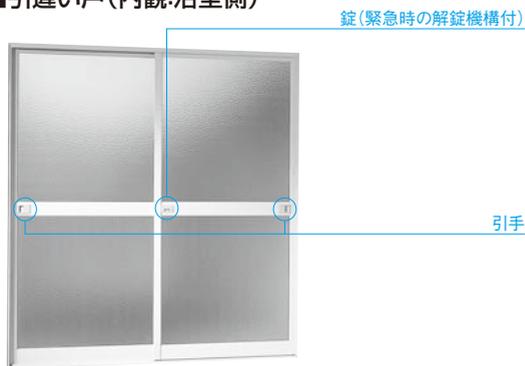
■折戸(内観:浴室側)



■開き戸(内観:浴室側)



■引違い戸(内観:浴室側)



ご使用上の注意とお願い

お願い

ケガの防止

- ドアの開閉時には、丁番側の隙間に手を置かないでください。指を挟んで大ケガのおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。
- ドアの開閉にあたっては、必ずハンドルやニギリ玉を持って操作してください。ハンドルやニギリ玉から手を放したり、ドアの先端に手を置くと、ドアと枠の間に手を挟み、思わぬケガをするおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。

⚠️ 注意

- ドアに水をいきおいよくかけないでください。浴室外に水がもれて、他の部屋に害をおよぼすおそれがあります。

操作方法

緊急時の解錠機構について

■折戸

- 浴室側折戸上部にワンタッチで操作できる錠が付いています。通常は脱衣室側から開けられませんが万一の緊急時は、コインで解錠できるようになっています。



浴室側

脱衣室側

■開き戸

- 浴室側からワンタッチで施錠できます。万一の緊急時は、脱衣室側からコインで解錠できるようになっています。



浴室側

脱衣室側

■引違い戸・片引き戸

- 浴室側からワンタッチで施錠できます。万一の緊急時は、脱衣室側から解錠できる非常解錠機構付きになっています。



浴室側

脱衣室側

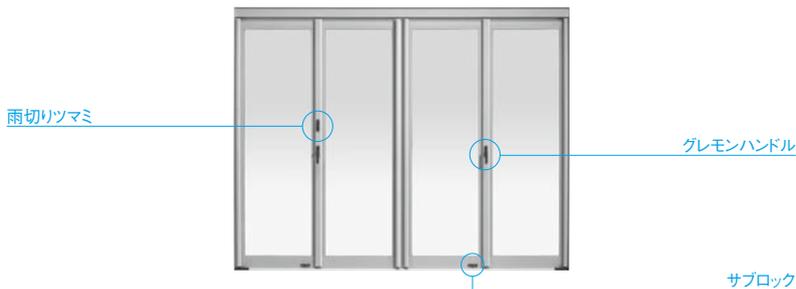
全開口サッシ(折りたたみ窓)

各部の名称

■バリアフリータイプ(外観)



■バリアフリータイプ(内観)



ご使用上の注意とお願い

安全操作のお勧めポイント

- 開閉時、手や指を挟まないよう注意してください。
- ガラス障子の開閉は静かに行ってください。乱暴に扱うとガラス障子が破損したり、脱落するおそれがあります。
- 施錠や解錠は正しく行ってください。
グレモンハンドルの故障につながります。
- グレモンハンドルの施・解錠は、最後まで確実に操作してください。
半掛かり状態でガラス障子を開閉すると、ガラス障子のグレモンハンドルが破損するおそれがあります。
- 防犯性向上のため施錠は、グレモンハンドルとサブロックを併用してください。

お願い

メンテナンス

- 下枠内に、ゴミ・土・砂・石等がたまりますと障子の開閉に支障をきたします。常に掃除をしてください。

操作方法

グレモンハンドルの操作

〈開け方〉

- ① 開ける障子のハンドルを反時計回りに180° 上向きに回してください。障子のロックが解除されます。
- ② ハンドルを持って障子を軽く外へ押し出してください。
- ③ 引手框の取手を持って障子を折りたたんで開放してください。

〈閉め方〉

- ① 引手框の取手を持って障子を閉めてください。
- ② ハンドルを持って手前に軽く引き障子を完全に閉鎖してください。
- ③ 障子を完全に閉鎖した状態のまま、ハンドルを時計回りに180° 下向きに回してください。障子がロックします。



ロック閉状態

ロック開状態

お願い

- 障子を閉めた時には、必ずグレモンハンドルを回してロックしてください。
- グレモンハンドルには誤動作防止機構が付いていますので、完全に障子を閉じていない状態で無理に回すと、誤動作防止部品が破損するおそれがあります。
- 障子を開ける時は、雨切りツマミが下に下がっているか必ずご確認ください。雨切りツマミが上に上がった状態で無理な力をかけると部品が破損するおそれがあります。

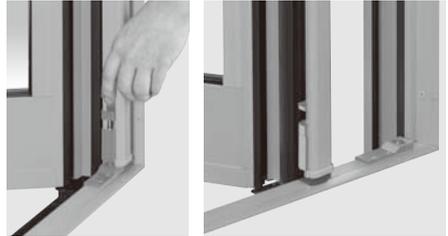
ラッチの操作

〈開け方〉

- ① たて框上下部のラッチをカチッと音が鳴るまで引きます。
- ② 障子を左右にスライドさせると吊元框がたて枠から外れます。

〈戻し方〉

- ① ラッチを元の状態にしてから吊元框をたて枠に入れてください。ラッチは自動的に閉まりロックされます。
- ラッチがラッチストライクに入りにくい場合、すべての障子を閉じれば、自動的にラッチストライクに入ります。



ラッチ操作時

障子スライド時

雨切りツマミの操作

- ツマミを上へ上げるとON状態になり雨切り弁が作動します。作動状態であると、障子を開けることはできません。
- ツマミを下へ下げるとOFF状態になり雨切り弁が解除します。
- ロック機構ではありませんのでご注意ください。



サブロックの操作

- ツマミをロック側にスライドさせるとロック状態になります。
- ツマミを解錠側にスライドさせると解除状態になります。



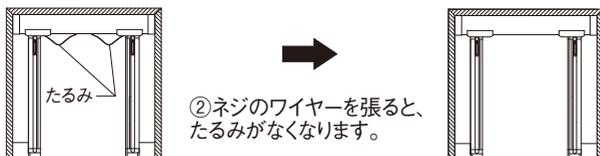
全開口サッシ(折りたたみ窓)

アコーディオン網戸の調整方法

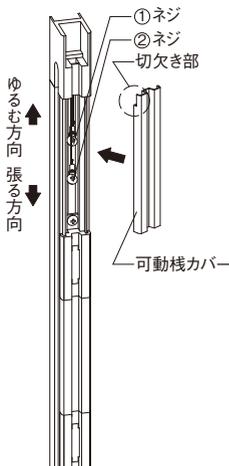
ワイヤーの調整・可動棧カバーの取付

⚠注意

- 本製品は本体取付時にワイヤーにたるみが出るように設定されています。必ずワイヤーの調整を行なってください。両側の可動棧内にある②ネジのワイヤーを均等に張り、たるみをとってください。片側つつ調整を行なって下さい。



開閉が重い場合や可動棧が斜めになる場合は、下記の要領でワイヤーの調整をおこなってください。



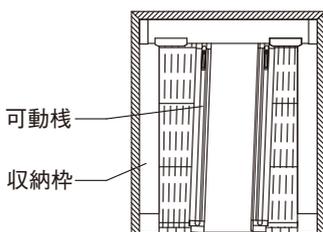
■開閉が重い場合

- ①②両方のネジのワイヤーを少しゆるめてください。

■可動棧が斜めになる場合

下図の左側の場合は、①ネジのワイヤーを少し張り、②ネジのワイヤーを少しゆるめてください。

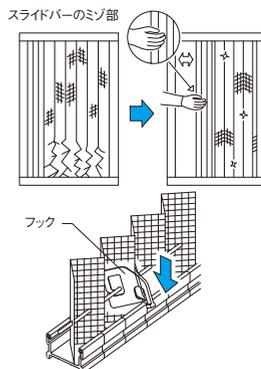
下図の右側の場合は、①ネジのワイヤーを少しゆるめ、②ネジのワイヤーを少し張ってください。



ワイヤー調整後、両側の可動棧上部に可動棧カバーの切欠き部を上にしてはめ込んでください。

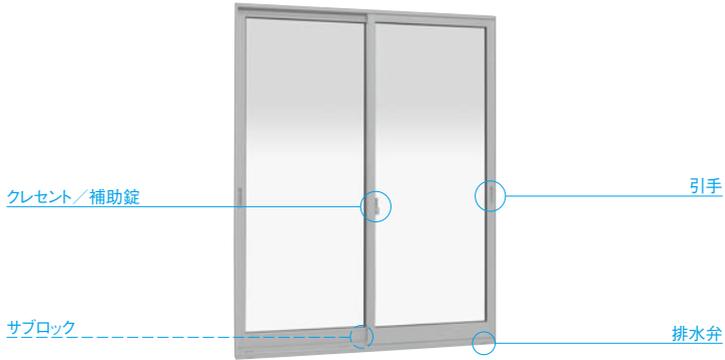
ご使用上の注意とお願い

- 網戸を開閉する時は、スライドバーのミゾ部に手をかけて行ってください。
 - ネットがクシャクシャになった場合は、開閉作動を数回くりかえし行って戻してください。
 - 強風時には使用しないでください。
- ※万一の強風時には、網戸保護のためフックが自然にはずれます。風が止んだらフックを元の位置に取付け、ご使用ください。
- 長時間ネットを出したままにすると、収納性が悪くなります。使用しないときはこまめに収納するようにしてください。
 - 無理な開閉や乱暴な取扱いをすると、網戸を破損する恐れがありますので、開閉はゆっくり行ってください。

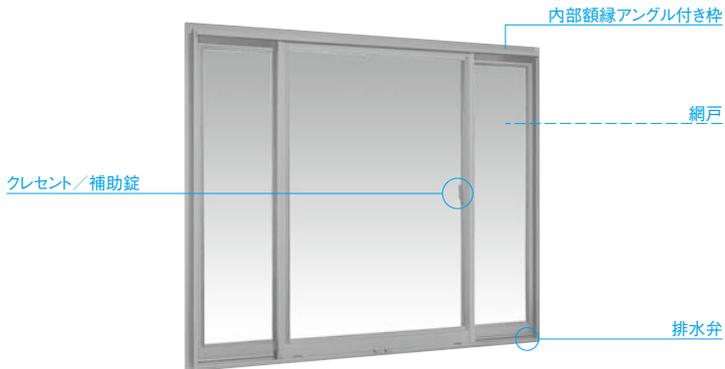


各部の名称

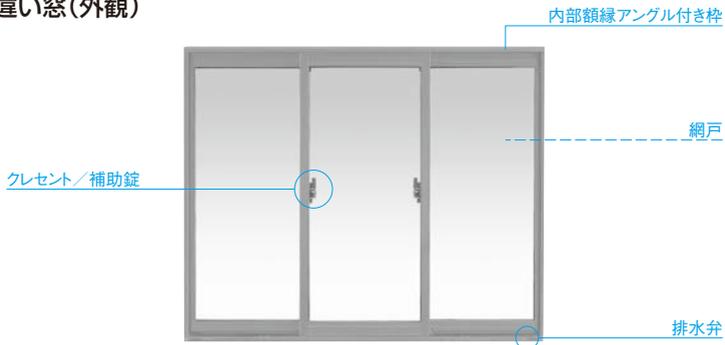
■引違い窓テラス戸タイプ(外観)



■両袖片引き窓(外観)



■3枚引違い窓(外観)



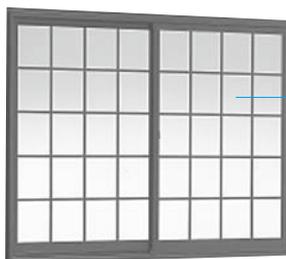
ご使用上の注意とお願い

安全操作のお勧めポイント

- 開閉時、手や指を挟まないよう注意してください。
- ガラス障子の開閉は静かに行ってください。乱暴に扱うとガラス障子が破損したり、脱落するおそれがあります。
- 防犯性向上のため施錠は、クレセント／補助錠とサブロックを併用してください。
- 施錠や解除は正しく行ってください。クレセント及びハンドルの故障につながります。
- クレセント及びハンドルの施・解錠は、最後まで確実に操作してください。半掛かり状態でガラス障子を開閉すると、ガラス障子のクレセントが破損するおそれがあります。



- 装飾格子(化粧格子)は、意匠上のもので、防犯機能はありません。



化粧格子

ご使用上の注意とお願い

⚠️ 注意

お願い

メンテナンス

- ガラス障子を閉めた時、枠との隙間があったり、開閉操作の時異音があれば建付調整(P.39参照)を行ってください。



- 排水部(下部)は時々掃除してつまらないようにしてください。



- 網戸は防虫用であり、人の転落防止用ではありません。網戸に寄りかかったり押しついたりしないでください。思わぬケガをするおそれがあります。



- お手入れのためにガラス障子や網戸を外した後、再び窓枠に取付けた時は、表示ラベルに従ってはずれ止め部品を必ずかけてください。また、ご使用中、はずれ止め部品がずれることがあります。時々点検してください。はずれ止め部品が正しくかかっていないと、ガラス障子や網戸が窓枠からはずれて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。(はずれ止め調整はP.40参照)

結露について

- 複層ガラスを使用したタイプでもそのときの湿度等の気象条件や室内条件次第では結露する場合があります。カーテンなどが濡れることもありますのでご注意ください。



操作方法

クレセントの操作

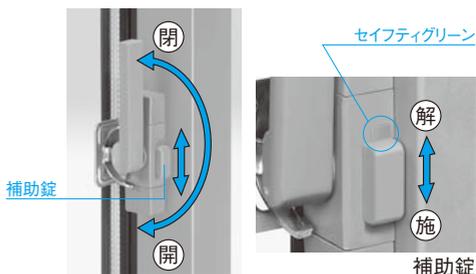
〈開け方〉

- ①補助錠を上げロックを解除します。
- ②クレセントを手前に倒し解錠し、障子を開けます。

〈閉め方〉

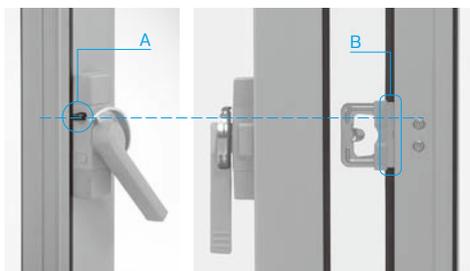
- ①障子を完全に閉めてください。(閉まっていないと、AとBが接触しないためクレセントが掛けられません。)
- ②クレセントを上を起こします。
- ③補助錠を下げロックします。目視確認できるようにセイフティグリーンがついています。

●AとBが接触しないとクレセントが掛けられない(回転しない)空かけ防止機構になっています。



お願い

- ご不在時や就寝時は、クレセントだけではなく補助錠、サブロックの3ヶ所をお掛けください。
- クレセントだけでは、十分な防犯効果が得られません。必ず補助錠、サブロックを併用してください。



サブロックの操作

〈ロックの仕方〉

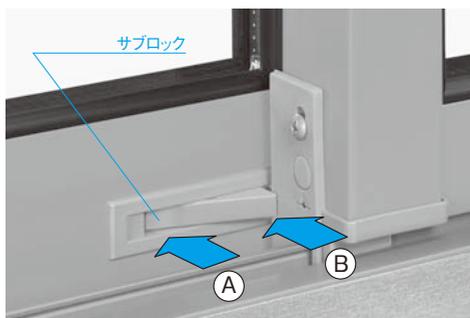
- ①Aを押すとロックされます。

〈ロックの解除〉

- ①Bを押すとロックが解除されます。

お願い

- ご不在時や就寝時は、サブロックだけではなくクレセント、補助錠の3ヶ所をお掛けください。
- サブロックだけでは、十分な防犯効果が得られません。必ずクレセント、補助錠を併用してください。



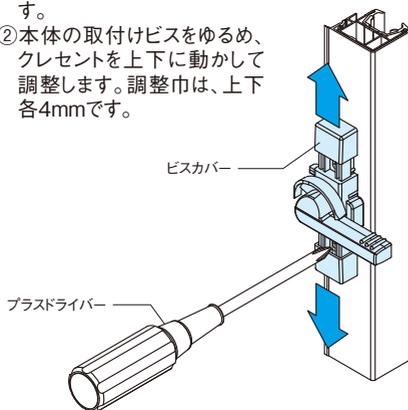
調整方法

クレセントの調整

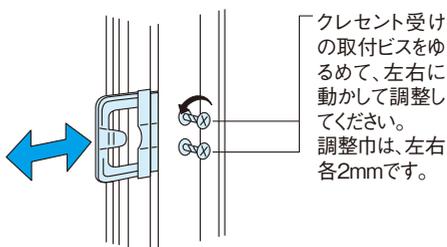
- クレセントが掛かりにくくなった場合は、下記の手順で調整してください。

■クレセント本体側

- ①ビスカバーの両側を手でつまみ、上及び下へスライドさせます。
- ②本体の取付けビスをゆるめ、クレセントを上下に動かして調整します。調整巾は、上下各4mmです。



■クレセント受け側



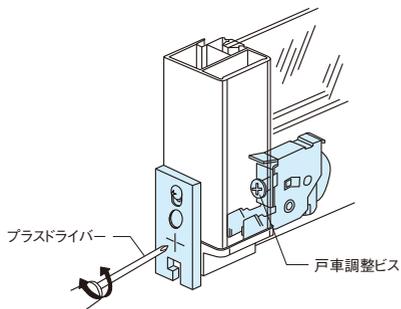
- 必ず補助錠を解除してから操作してください。破損の原因になります。

お願い

- クレセントを完全に廻してから、障子を開けてください。中途半端な廻し方で障子を開閉しますと、外側の障子に当たり、キズや破損の原因となります。

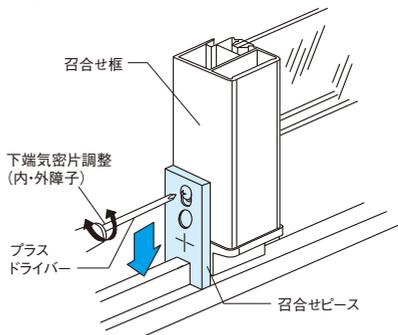
戸車の調整

- 障子の開け閉めが重くなったりと感じましたら、戸車やレールにゴミや小石が挟まっていないか調べてください。次に、戸車を下図のように調整します。また、建付け等狂っている場合も同じように調整してください。
- 戸車調整ビスをプラスドライバーで回して調整してください。
 - ・右へ回すと障子が上がります。
 - ・左へ回すと障子が下がります。



召合せピースの調整

- 全開施錠時に下枠からしぶぎが入る場合や戸車の調整、また、建付け等狂っていて調整をした後、気密性を保つために、必ず調整してください。
- ①召合せ枠下部にある召合せピースの調整ビスをプラスドライバーで回しゆるめます。
- ②召合せピースが下枠中央気密材に接するまで下げます。(内・外障子)
- ③隙間ができないように召合せピースを押しながらかかり締めます。



引違い窓・片引き窓関連

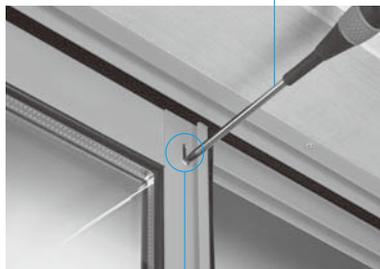
調整方法

障子はずれ止めの調整

- 障子がスムーズに開閉しない場合、はずれ止めが上に上がり過ぎている場合がありますので下記の手順で調整してください。

- ① はずれ止め取付けビスを左に回しゆるめます。
- ② 障子の開閉に支障がない範囲で、上へ上げてください。
- ③ 調整完了後、取付けビスを右に回し、しっかり締めてください。

プラスドライバー



はずれ止め取付けビス

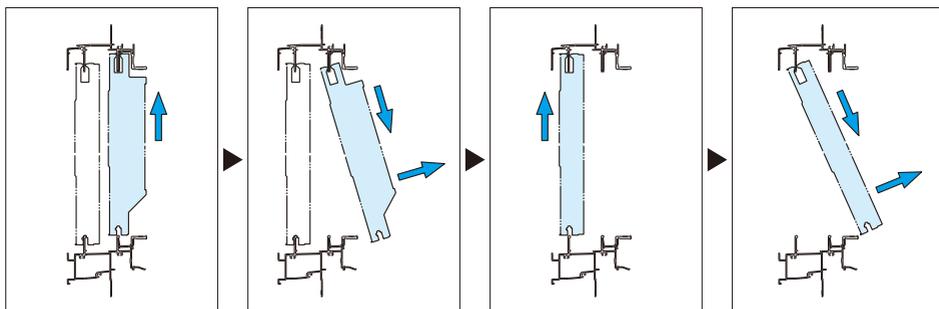
注意

お願い

- 障子ははずれ止めは、障子の脱落防止や防犯性にとっても効果を発揮する装置です。ガラス掃除や戸車調整後は、必ずはずれ止めを上げて固定してください。
- ご使用中、はずれ止め部品がずれることがあります。時々点検してください。はずれ止め部品が正しくかかっていないと、ガラス障子や網戸が窓枠からはずれて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

障子のはずし方

- 必ず、下記の調整を行ってから障子をはずしてください。無理にはずそうとしますと、障子に歪みがでたり障子が破損するおそれがあります。
- 障子のはずれ止めのネジを左に回してゆるめ、はずれ止めを解除します。



- ① 内障子全体を上を持ち上げます。
- ② 下部を手前に引きます。
- ③ 内障子全体を下へ降ろし、内側(室内側)にはずします。
- ④ 外障子全体を上を持ち上げます。
- ⑤ 下部を手前に引きます。
- ⑥ 外障子全体を下へ降ろし、内側(室内側)にはずします。

お願い

- 障子の建込みは、逆手順で行ってください。

調整方法

網戸の建付け調整

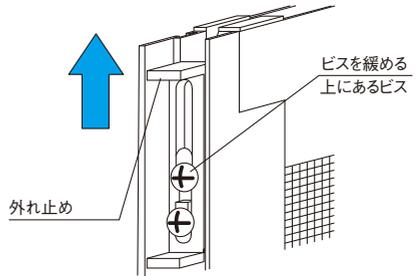
- 網戸の建付け調整は、下框に出ている戸車調整ビスをプラスドライバーで回して調整してください。
 - ・ 右へ回すと障子が上がります。
 - ・ 左へ回すと障子が下がります。

<アルプラクラス・アリッツ共通>



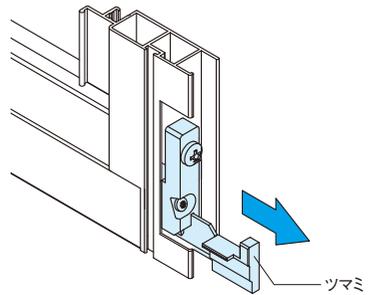
網戸はずれ止めの調整

- 開閉時や強風等で網戸がはずれないように、サッシ上枠の網戸ルールとはずれ止めの溝との隙間が1～2mmになるまで上げてください。



網戸のはずし方

- 網戸ははずれ止めを下げた後に、作業を行ってください。
- ① 下框の網戸はずれ止め部品のツマミを引き出します。
- ② 網戸全体を持ち上げ、外側(室外側)へ持ち出してはずします。



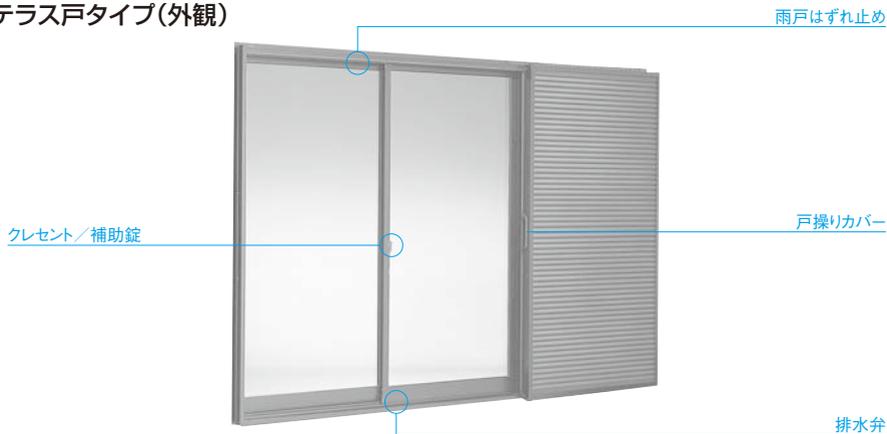
お願い

- 網戸をはずした後、再びサッシ枠に取付ける時、表示ラベルに従って、脱輪防止用の網戸はずれ止め部品を、必ず掛けてください。また、ご使用中、はずれ止め部品がずれることがあります。時々点検してください。はずれ止め部品が正しくかかっていないと、網戸が窓枠からはずれて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

雨戸付引違い窓

各部の名称

■テラス戸タイプ(外観)



※引違い窓については(P.35)をご覧ください。

調整方法

建付け調整

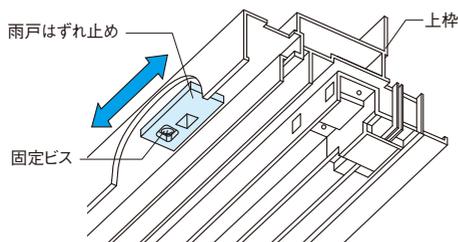
- 雨戸の建付け調整は、戸車の調整ビス(室内側下部)をドライバーで廻して調整してください。



断熱雨戸タイプ

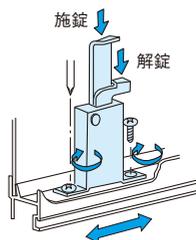
雨戸はずれ止めの調整

- 固定ビスをゆるめるだけで雨戸はずれ止めに左右に調整できます。
- 雨戸上錠受を兼ねて使用する場合は、雨戸(戸袋側)センター付近に固定し、錠と調整してください。



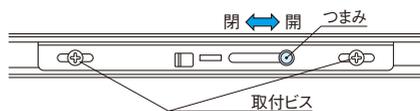
雨戸錠の調整

- 雨戸錠の調整は、錠取付けビスをドライバーでゆるめ、錠を左右へ動かして調整してください。



雨戸錠の調整(台風雨戸TZ型)

- 取付ビスをゆるめて、錠を左右に動かして、錠穴にロッド棒を合わせ、取付ビスを締める。調整範囲は16mmあります。



雨戸錠はシリーズによって仕様が異なります。ご使用の商品の錠を確認の上、調整方法を参照してください。

シャッター付引違い窓

各部の名称

■スチール手動・電動タイプ(外観)



■アルミ電動タイプ(外観)



シャッター付引違い窓

※引違い窓については(P.35)をご覧ください。

シャッター付引違い窓

ご使用上の注意とお願い



お願い

ご使用前のチェックポイント

- シャッターの開閉時、周りに人がいないことを確認してください。また、開閉中、下を通らないでください。手や足を挟まれるおそれがあります。
- シャッターを無理に引っ張ったり、押し上げたりしないでください。思わぬケガをしたり、シャッターが故障するおそれがあります。
- シャッター開閉時、風などの圧力がかかった場合、開閉する速さに多少の変化が生じることがあります。
- シャッターには、物をぶつけたりしないでください。変形して動かなくなる恐れがあります。
- 強風雨時には、シャッターだけを閉めないでください。必ずサッシも閉めてください。サッシを閉めクレセントをかけないと、シャッターの破損や漏水のおそれがあります。
- シャッターが凍結した場合は、溶けるまで開閉操作をしないでください。無理な操作は故障につながることがあります。
- シャッターボックスは変形しやすいので、はしごをかけたり上に乗ったりしないでください。落下してケガをするおそれがあります。



ご使用中のチェックポイント

- シャッター開閉中は、顔や手を出したりシャッターの下に物を置いたりしないでください。シャッターに挟まれてケガをするおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。
- シャッターの分解、改造は絶対にしないでください。分解、改造が原因で思わぬ事故になるおそれがあります。また、電装部分の分解は感電するおそれがあります。
- シャッターボックス内部には駆動ユニット（モーター）が組込まれていますので、故意に水をかけたりしないでください。
- 風の強い時は窓を閉めて、錠（クレセント）も施錠してください。障子が飛ばされたり、急激に開閉すると事故やケガにつながります。
- シャッターを故意に連続運転するのはお避けください。約10分間連続で運転続けると保護機構が働き、自動的にシャッター動作を停止します。
- 自動停止した場合は、10分～20分間程休ませると再び作動できますので、開または閉ボタンを押して操作してください。
- スチール電動Eタイプには、停電または長期外出時に防犯性を高める手動シャッター錠を標準で装備しています。壁スイッチで電動操作する時は、手動シャッター錠を解錠状態にしてご使用ください。
- 常時シャッターを使用しない場合でも少なくとも1ヶ月に2～3回は開閉してください。長期間動かさないとスムーズに動作しなくなるおそれがあります。
- HAコントローラーでの操作を行う場合は、ご使用になるメーカーの取扱説明書をよくご覧になり、操作方法を確認ください。



アルミ電動・スチール電動タイプの操作方法

シャッター付引違い窓

開閉の操作(共通)

〈閉め方〉

- ① 閉ボタンを押してください。

〈開け方〉

- ① 開ボタンを押してください。

〈止め方〉

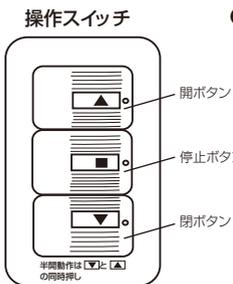
- ① 停止ボタンを押してください。

※「半開動作」について

閉ボタンと 開ボタンを同時に押すことによって、お好みの中間停止位置に自動停止させることができます。

●「半開動作」の設定方法

- ① お好みの中間位置でシャッターを一旦停止させます。
- ② 停止している状態で 停止ボタンを押し続けてください。(約5秒間)
- ③ シャッターボックスから「ピピッ」という音が聞こえたら設定終了です。



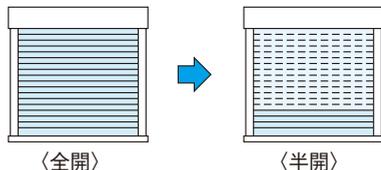
● 電動モーターの出力とシャッター質量とが、巻取り軸に取付けられたスプリング力でバランスを取りながら開閉する構造のため、開閉途中で引っ掛かるような動きをしますが異常ではありません。品質上、問題ありませんのでご安心してお使いください。



換気採光の操作(アルミ電動タイプ)

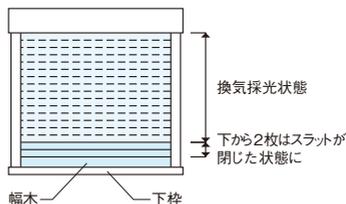
● 操作スイッチの 開ボタン、 閉ボタンでシャッターを開閉させ、お好みの位置で 停止ボタンを押し、シャッターを停止させるか、半開動作方法の 閉ボタンと 開ボタンを同時に押して、設定した位置で停止させてください。

※半開動作の場合、お好みの中間位置をあらかじめ設定してください。



注意

● 換気状態にする時は、下から2枚以上はスリットが閉じた状態で停止させてください。幅木が下枠から離れた状態で停止させると、外から開けられてしまい、盗人の侵入経路の一つとなってしまいます。



障害物検知機能の操作(共通)

幅木部検知方式(アルミ電動タイプ)

● シャッターが開動作中に幅木下部に障害物にあつたると、反転上昇し、停止します。

〈対処方法〉

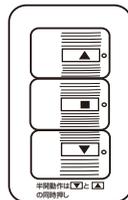
- ① 「ピーピーピー」というブザー音が出ます。
- ② 障害物を取り除き、再度開閉操作を行います。

■ 負荷検知方式(スチール電動タイプ)

● シャッターが開動作中に障害物にあたり、モーターに負荷が加わるとその場で停止、または反転上昇し、停止します。



● シャッター中央付近より上側及びシャッターサイズが小さい場合、障害物検知機能が利きにくい場合があります。



シャッター付引違い窓

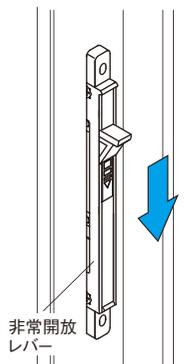
アルミ電動・スチール電動タイプの操作方法

停電時・非常時の操作

注意

お願い

- 手動操作への切り替えは「停電時または非常時」以外には行わないでください。故障の原因になります。
- 手動操作へ切り替える際にシャッターが巻き上がり、幅木が非常開放レバーより上の位置まで上昇して来る場合があります。ご注意ください。

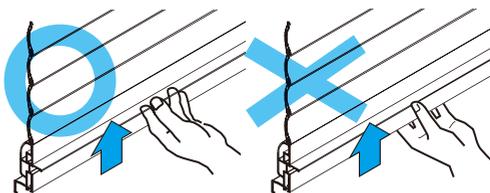


■手動操作への切り換え方

- ① ガイドレールについている非常開放レバーを押し下げます。
※通電中に上記操作を行うとシャッターボックスから「ピーピー・・・」というブザー音が鳴ります。(60秒連動)
- ② 幅木の中央付近を持ってゆっくりと一定の速さで開閉操作してください。
- ③ もう一度非常開放レバーを押し下げると、モーターロックがかかります。
※通電状態であれば、操作スイッチの **▲** 開ボタンを押しても自動復帰します。

■換気採光タイプの手動操作について

シャッターを手動操作する場合は、幅木の屋内側の手がかりに指を掛けて持ち上げてください。幅木の下からすくい上げたり、屋外側から持ち上げると、ガイドレール内のテープスイッチが破損する恐れがあります。



■通電後の操作方法

- ① 操作スイッチの **▲** 開ボタンを押して上限で自動停止させてください。
- ② 操作スイッチの **▼** 閉ボタンを押して下限停止位置まで問題なく電動動作することを確認してください。
- ③ その後は操作スイッチで通常動作可能です。

※手動操作へ切り替えた後、または配電ブレーカーをONにした後は、シャッターを1往復させるまでは「半開動作」の設定及び操作は出来ませんが、故障ではありません。

手動操作へ切り替えた後、または配電ブレーカーをONにした後は初めに **▲** 開ボタンを押して上限で自動停止させ、次に **▼** 閉ボタンを押して下限停止位置まで電動動作させてください。

その後は「半開動作」の設定及び操作が可能になります。

注意

お願い

- 通電後、上昇させずにシャッターを下降させると下限でシャッターがダブついて停止します。また、障害物があった場合、反転上昇しません。その場合 **▲** 開ボタンを押し、上限で自動停止させた後、**▼** 閉ボタンを押して下限停止位置まで電動動作させると通常動作可能になります。
- 電動でシャッターが動いている時に、非常開放レバーを押し下げないでください。
- 非常開放レバーが押し下げられている時(手動操作時)、操作スイッチを押すと電動動作に戻ります。
- アルミ電動タイプの非常開放レバーを押し下げた時、シャッターが上昇し大きな音がありますが、故障ではありません。
- アルミ電動タイプは、手動でシャッターを閉めた時、換気採光状態にしかなりません。(全閉しません)

スチール電動Eタイプの操作方法

シャッター付引違い窓

開閉の操作

〈閉め方〉

- ① 閉ボタンを押してください。

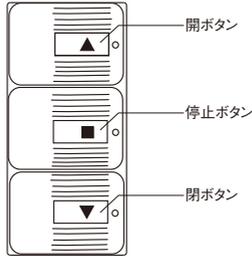
〈開け方〉

- ① 開ボタンを押してください。

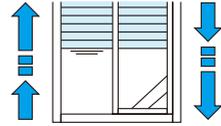
〈止め方〉

- ① 停止ボタンを押してください。

操作スイッチ



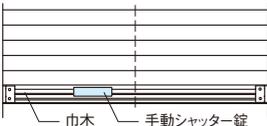
●電動モーターの出力とシャッター質量とが、巻取り軸に取付けられたスプリング力でバランスを取りながら開閉する構造のため、開閉途中で引っ掛かるような動きをする場合がありますが異常ではありません。品質上、問題ありませんのでご安心してお使いください。



お願い

- 手動シャッター錠が施錠されているとシャッターは開きません。解錠してからシャッターを開けてください。

手動シャッター錠の操作



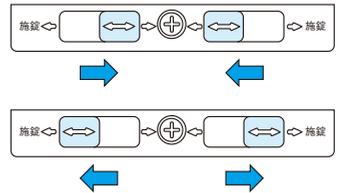
※内観から見て、中央部よりやや左側に付いています。

■通常時(解錠)の場合

- 解錠する場合は、左右のツマミを内側へ動かします。

■施錠時の場合

- 施錠する場合は、左右のツマミを外側へ動かします。



※長期不在時、電源ブレーカー遮断時、停電時や強風時等は、手動シャッター錠を施錠してください。通常の場合でも手動シャッター錠の施錠は防犯性を高めるのに有効です。

停電時の操作

■通電後の操作

- ① 開ボタンを押し、シャッターを一度全開させます。その後は、通常の操作ができます。

注意

お願い

- 通電後、上昇させずにシャッターを下降させると下限でシャッターがダブついて停止します。また、障害物があった場合、反転上昇しません。その場合、開ボタンを押し、上限で自動停止させると通常動作が可能になります。
- 停電時に手動でシャッターを開閉しようとした場合、開閉が非常に重く開閉は困難です。そのため、非常脱出口としては使用できませんが、シャッターは手で開けられます。
- 停電時にシャッターが閉じている場合、必ず手動シャッター錠を施錠してください。通電していないため、自動ロックがかからず外から開けられてしまいます。

障害物検知機能の操作

■負荷検知方式

- シャッターが閉動作中に障害物にあたり、モーターに負荷が加わるとその場で停止、または反転上昇し、停止します。



〈対処方法〉

- ①障害物を取り除き、再度開閉操作を行います。
- シャッター中央付近より上側及びシャッターサイズが小さい場合、障害物検知機能が利きにくい場合があります。

シャッター付引違い窓

スチール手動タイプの操作方法

操作ヒモの操作

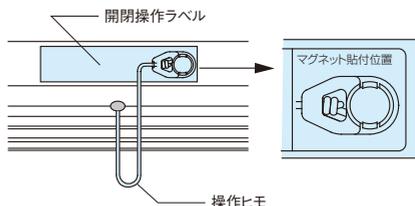
●シャッター全開時に巾木に手が届かない場合でも、操作ヒモでシャッター操作を容易に行えます。

〈閉め方〉

- ①開閉操作ラベルから操作ヒモをはずします。
- ②操作ヒモを下に引き、シャッターを下げます。
- ③操作ヒモをスラットに貼付けます。

〈開け方〉

- ①操作ヒモを開閉操作ラベルの貼付け位置に貼付け、シャッターを巻き上げます。



お願い

●操作ヒモは、必ず開閉操作ラベルの貼付け位置に貼付けてシャッターを巻き上げてください。操作ヒモをスラットに付けたまま、シャッター巻き上げてしまうと操作ヒモがシャッターボックス内に入り、操作ヒモによる操作ができなくなります。

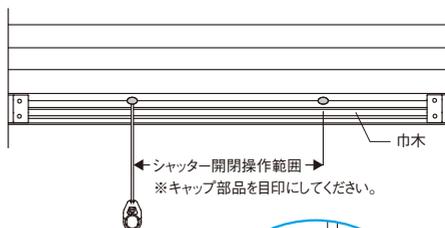
開閉の操作

〈閉め方〉

- ①巾木の中央部側を持って、ゆっくりとシャッター下げます。巾木に手が届かない場合は、操作ヒモを下に引き、ゆっくりとシャッターを下げます。
- ②シャッターを施錠音がするまで下に完全に下げます。自動的に施錠されます。

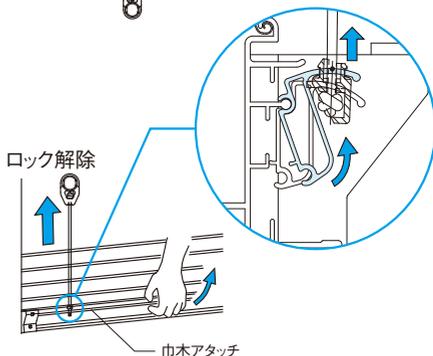
〈開け方〉

- ①巾木アタッチを上方向に引き上げます。または、操作ヒモを上部に引くと解錠されます。
- ②巾木の中央部側を持って、ゆっくりとシャッター持ち上げます。



お願い

- シャッター開閉操作範囲・操作ヒモ以外の箇所を持って操作するとスムーズに開閉しない上、作動不良や破損の原因になります。
- 急に開けるとシャッターが動かなくなる場合があります。その時は、一旦シャッターを下までゆっくり下げ、再度ゆっくり上げてください。



アルミ電動・スチール電動・スチール電動Eタイプ共通の設定・操作方法

設定のリセット方法

- **■** 停止ボタンを押したまま、**▲** 開ボタンと **▼** 閉ボタンをゆっくりと交互に3回ずつ押してください。
(開→閉→開→閉→開→閉の順です)リセット状態になると開閉機(モーター)部から「ビピッ」という音が鳴ります。シャッター本体の開閉機(モーター)部から「ビピッ」という音がしてリセット状態になった事をお知らせします。

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

- 音が鳴らない時はリセットされておりません。もう一度、やり直してください。
- リセット状態になると、開又は閉ボタンを長押し(約2秒)しないとシャッターは動きません。周囲の音が大きくて開閉機(モーター)部からの音が確認しにくい場合は、開ボタンを押してシャッターがリセット状態になっているかを確認してください。
- リセット状態では、通常の動作が出来なくなります。
- リセット後は必ず、初期設定を行ってください。

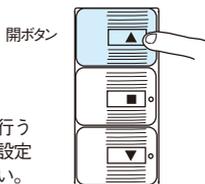
シャッター付引違い窓

アルミ電動・スチール電動タイプ共通の設定・操作方法

上限の設定

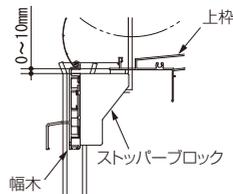
- ① ▲開ボタンを長押し(2秒以上)すると、シャッターが上昇を開始します。
- ② ストッパーが上枠に当たり、モーターに負荷がかかると、開閉機(モーター)部で「ビビッ」と音が鳴り、自動的に上限が設定されます。
※設定が上手く出来なかった場合や再設定を行う場合は、「設定のリセット方法」の手順で設定のリセットを行ってからやり直してください。

●操作スイッチ



【上限設定位置】

上枠にストッパーブロックを当てて停止させることにより、上限が設定されます。上・下限設定後は上昇させると、右図の位置となります。

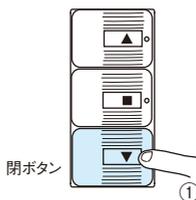


下限の設定

<スチール電動タイプ>

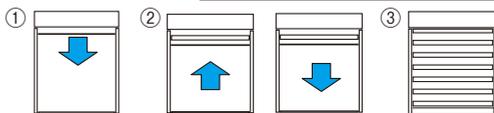
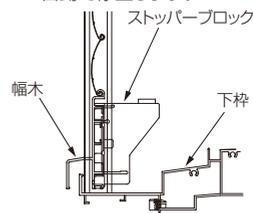
- ① 上限を設定した後、操作スイッチの▼閉ボタンを長押し(2秒以上)すると下限設定動作が開始されます。これ以後は、自動設定となりますので手順動作を確認してください。
- ② 下限設定動作が開始した後、シャッターは上限付近で上・下動作を行います。この動作はサイズによって0回～最大8回まで繰り返します。
- ③ その後、シャッターが下降を開始し全閉状態で停止して、開閉機(モーター)部から「ビビッーピーー」という音が鳴り、下限設定を完了します。

●操作スイッチ



【下限設定位置】

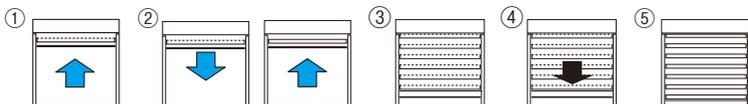
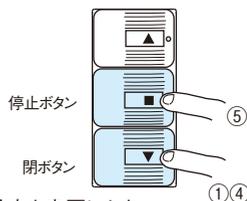
※幅木が下枠に接触すると自動で停止します。



<アルミ電動換気採光タイプ>

- ① 上限を設定した後、操作スイッチの▼閉ボタンを長押し(2秒以上)すると下限設定動作が開始されます。
- ② 下限設定動作が開始した後、シャッターは上限付近で上・下動作を行います。この動作はサイズによって0回～最大3回まで繰り返します。
- ③ その後、シャッターが下降を開始して、幅木が下枠に到達する前に停止します。(スラット保護機能)
- ④ シャッターが停止したら、▼閉ボタンを押続けて、シャッターを全閉させます。▼閉ボタンを離すとシャッターは止まります。(アルミ電動は、最上部の換気採光スリットが閉じた状態が全閉です)
- ⑤ シャッターが全閉した状態で、■停止ボタンを長押し(2秒以上)すると開閉機(モーター)部から「ビビッーピーー」という音が鳴り、下限設定を完了します。

●操作スイッチ



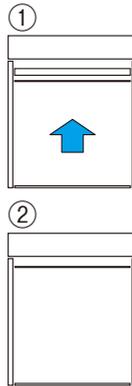
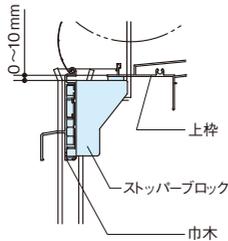
スチール電動Eタイプの設定・操作方法

上限の設定

- ①  ボタンを長押し(約2秒)すると、シャッターが上昇を開始します。
 - ② ストッパーが上枠に当たり、モーターに負荷がかかると、開閉機(モーター)部で「ピピッ」と音が鳴り、自動的に上限が設定されます。
- 上記の方法で上手く設定が出来なかった場合は、設定のリセット方法の手順で設定のリセットを行い、サイズ設定からやり直してください。

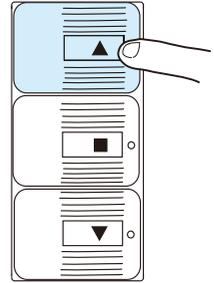
■ 上限設定位置

- 上枠にストッパーブロックを当てて停止させることにより、上限が設定されます。上・下限設定後は上昇させると、右図の位置となります。



操作スイッチ

開ボタン

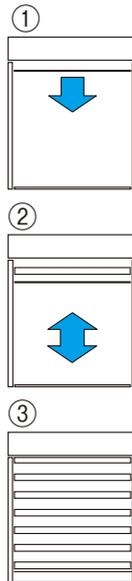
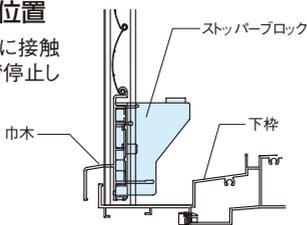


下限の設定

- ① 上限を設定した後、操作スイッチの  閉ボタンを長押し(約2秒)すると下限設定動作が開始されます。これ以後は、自動設定となりますので手動動作を確認してください。
 - ② 下限設定動作が開始した後、シャッターは上限付近で上・下動作を行います。この動作はサイズによって0回～最大8回まで繰り返します。
 - ③ その後、シャッターが下降を開始して全閉状態で停止して、開閉機(モーター)部から「ピピッピーピー」という音が鳴り、下限設定を完了します。
- 上・下限位置の設定が上手く出来なかった場合や、再設定を行う場合は、設定のリセット方法の手順でリセットを行い、サイズ設定からやり直してください。

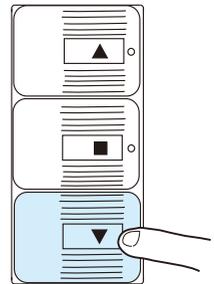
■ 下限設定位置

- 巾木が下枠に接触すると自動で停止します。



操作スイッチ

閉ボタン



シャッター付引違い窓

アルミ電動・スチール電動・スチール電動Eタイプ共通の設定・操作方法

タイマーコントローラーの現在時刻およびタイマー開時刻、タイマー閉時刻の設定方法

- ①「設定」ボタンを1回押すと現在時刻表示が点滅し、現在時刻の設定（修正）が可能な状態になります。
- ②「送り」ボタンまたは「戻り」ボタンを押して、現在時刻の設定（修正）をします。設定（修正）をしない場合は、「送り」ボタン、「戻り」ボタンを押さずに③に進んでください。
- ③「設定」ボタンを1回押すと現在時刻表示が点滅から点灯に変わり、現在時刻の設定（修正）が完了します。また、同時にタイマー開時刻表示が点滅し、タイマー開時刻の設定（修正）が可能な状態になります。
- ④タイマー開時刻表示が点滅している状態で、「送り」ボタンまたは「戻り」ボタンを押してタイマー開時刻の設定（修正）をします。設定（修正）をしない場合は、「送り」ボタン、「戻り」ボタンを押さずに⑤に進んでください。
- ⑤「設定」ボタンを1回押すと、タイマー開時刻表示が点滅から点灯に変わり、タイマー開時刻設定（修正）が完了します。また、同時にタイマー閉時刻表示が点滅し、タイマー閉時刻の設定（修正）が可能な状態になります。
- ⑥タイマー閉時刻表示が点滅している状態で「送り」ボタンまたは「戻り」ボタンを押して、タイマー閉時刻の設定（修正）をします。設定（修正）をしない場合は、「送り」ボタン、「戻り」ボタンを押さずに⑦に進んでください。
- ⑦「設定」ボタンを1回押すとタイマー閉時刻設定（修正）が完了し、全ての設定が完了となります。

※「設定」ボタンを1回押す毎に、現在時刻設定⇒タイマー開時刻設定⇒タイマー閉時刻設定⇒通常状態を繰り返します。各時刻設定状態では、「送り」ボタン「戻り」ボタンを押した場合のみ設定時刻が変わります。誤って「設定」ボタンを押した場合は各時刻表示が通常状態（表示点灯状態）に戻るまで「設定」ボタンのみを押して復帰させてください。

※各時刻の設定時の「送り」ボタンまたは「戻り」ボタン操作で、ボタンを押し続けた状態にすると高速で表示時刻が送り又は戻り状態となります。1分単位で微調整する場合は、ボタン操作を1回ずつ押してください。

※各時刻の設定状態（表示点滅状態）で10秒以上ボタン操作が無い場合は、通常状態（表示点灯状態）に戻ります。その場合は、設定状態（表示点滅状態）で画面表示されていた時刻がそのまま記憶されます。



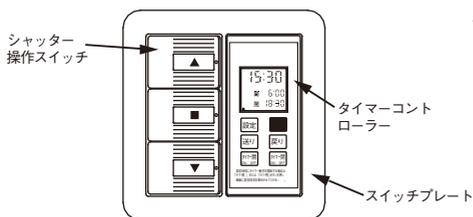
タイマーコントローラーの操作方法

- ①現在時刻およびタイマー開時刻、タイマー閉時刻設定方法の要領で、開時刻と閉時刻をセットします。
 - ②「タイマー開」ボタンを押し、画面にタイマー開時刻が表示されていることを確認します。
 - ③「タイマー閉」ボタンを押し、画面にタイマー閉時刻が表示されていることを確認します。
- タイマー閉時刻が画面に表示されている場合に設定されたタイマー閉時刻にシャッターは開動作します。

※タイマーによるシャッター動作を行わない場合は、「タイマー開」または「タイマー閉」ボタンを押して、画面にタイマー開時刻またはタイマー閉時刻の表示が出ていない状態にしてください。

※半開状態はタイマー開時刻には開、タイマー閉時刻には開動作します。

※非常開放レバー操作後、停電（電源遮断）後の電源復旧（通電）時に、シャッター操作スイッチの開ボタンを押してシャッターを全開にしてください。この操作をしないと、タイマーによる正常なシャッター動作ができません。



〈タイマーが動作する状態〉 〈タイマーが動作しない状態〉



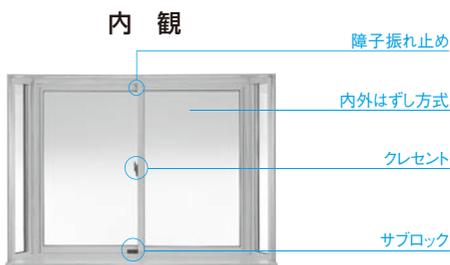
タイマー開時刻、
タイマー閉時刻が
表示されている



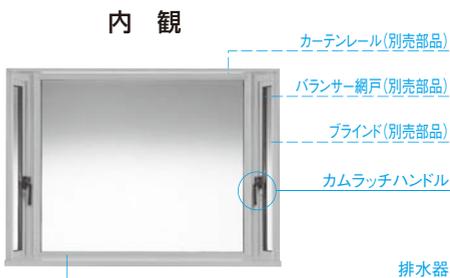
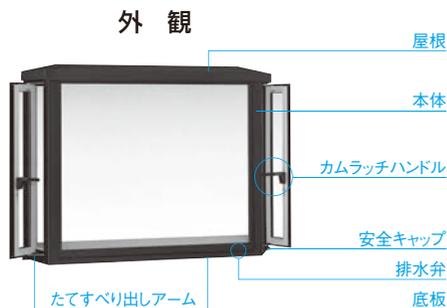
タイマー開時刻、
タイマー閉時刻が
表示されていない

各部の名称

■引違い系出窓



■たてすべり出し系出窓



※引違い窓については(P.35)をご覧ください。

ご使用上の注意とお願い

⚠ 注意

お願い

ケガの防止

- 床板(地板)には乗らないでください。
出窓の破損やケガにつながるおそれがあります。



破損・故障の防止

- 出窓の屋根に乗ったり、はしごをかけないでください。
無理な重さをかけると、変形したり、転落によりケガをするおそれがあります。



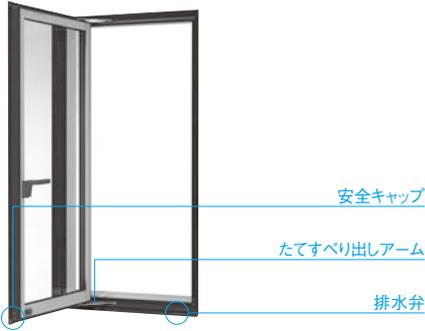
たてすべり出し窓

各部の名称

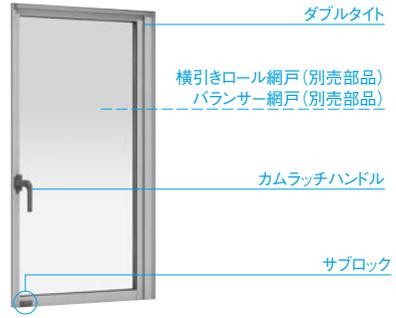
たてすべり出し窓

■カムラッチハンドル式

外 観

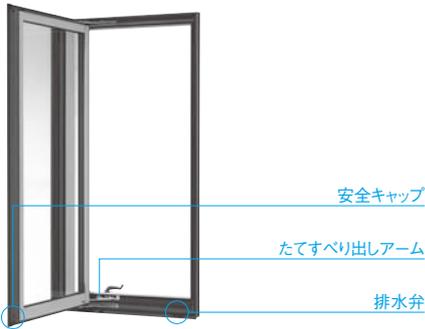


内 観

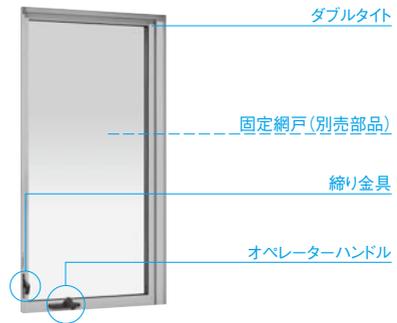


■オペレーターハンドル式

外 観

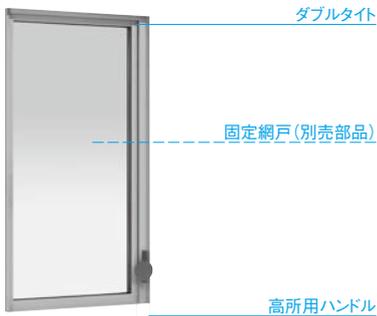


内 観



■高所用

内 観



ご使用上の注意とお願い



注意

お願い

破損・故障の防止

- 風の強い時は窓を閉めて、必ず錠をかけてください。錠をかけないと障子が煽られて衝撃を受け、破損・落下等のおそれがあり、思わぬケガや事故につながります。
- オペレーター式は、窓を閉めた時、締め金具を必ず施錠してください。
- ハンドルに体重をかけないでください。変形して窓が閉まらなくなる場合があります。

メンテナンス

- 清掃する場合は足場をしっかり確保し、窓を身体への支えにしないでください。
- 下枠に、水を室外へ排出する排水弁を装備しています。
- 排水弁は、時々清掃し、ゴミ等がつかまらないようにしてください。



排水弁

操作方法

カムラッチハンドル式

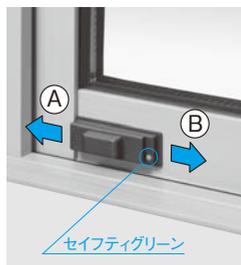
■サブロック・ハンドルの操作

〈開け方〉

- ①サブロックのツマミをB方向にスライドさせると解除されます。
- ②ハンドルを水平になるよう回転させます。
- ③ハンドルを持ったまま外へ押し出します。

〈閉め方〉

- ①ハンドルを持って、手前に引きます。
- ②ハンドルを回転させ下に下げます。(ロックがかかる)
- ③サブロックのツマミをA方向にスライドさせ、ロックします。
目視確認できるようにセイフティグリーンがついています。



サブロック



カムラッチハンドル

お願い

- カムラッチハンドルだけでは十分な防犯性能が得られません。必ずサブロックを併用してください。

■たてすべり出しアームの操作(窓の清掃方法)

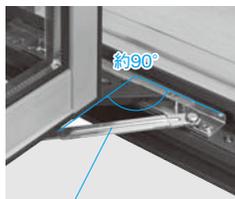
〈開け方〉

- ①ハンドルを水平に持ったまま外へ押し出します。
- ②最大約90°まで開きます。

- 室内側から外ガラスの掃除ができます。

〈閉め方〉

- ①ハンドルを持って、手前に引きます。
- ②ハンドルを回転させ下に下げます。(ロックがかかる)



たてすべり出しアーム



清掃時



注意

- 清掃中、ハンドル及び本体に体重をかけないでください。無理な重さかけると、変形して窓が閉まらなくなる場合があります。また、身を乗り出し過ぎると落下・転落によりケガをするおそれがあります。

操作方法

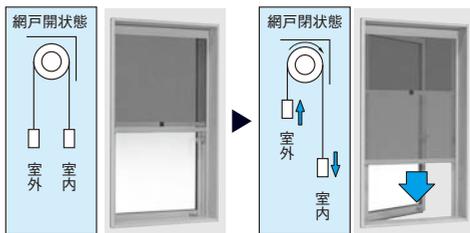
■ バランサー網戸の操作

〈閉め方〉

- ①室内側ボトムバーの中央操作ラベルの位置を持ち、室内側ボトムバーのモヘアが額縁に当たるまで引下げます。

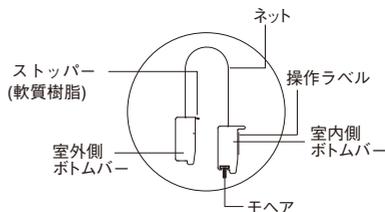
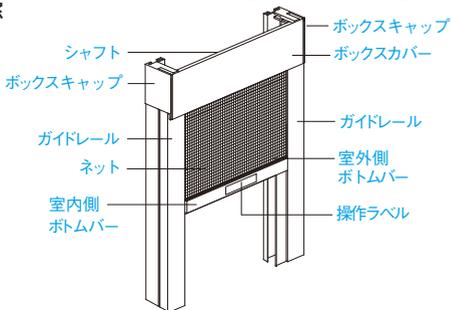
〈開け方〉

- ①室内側ボトムバーの中央操作ラベルの位置を持ち、室外側ボトムバーのストッパーに当たるまで引上げます。



■ ネットの取り外し方法・取り付け方法

※室内側ボトムバーと室外側ボトムバーの取り付け向きに注意して作業を行ってください。



〈取り外し方法〉

<p>1. ボックスカバーを矢印の方向に引っ張り、取外します。</p>	<p>2. 室内側ボトムバーをネットと共にガイドレールから引き出します。</p>	<p>3. シャフトを矢印の方向に引っ張り、取外します。</p>	<p>5. 室外側ボトムバーをネットと共に左右どちらかに傾けて取外します。</p>
-------------------------------------	--	----------------------------------	---

〈取り付け方法〉

<p>1. ガイドレールの室外側溝に室外側ボトムバーを傾けて「バチン」とはめ込みます。</p>	<p>2. シャフトを室内側から矢印の方向に「カチッ」と音がするまではめ込みます。</p>	<p>3. 室内側ボトムバーのファスナーをガイドレール室内側の溝に挿入し、一度モヘアが額縁に当たるまで下ろします。</p>	<p>4. ボックスカバーを室内側から矢印の方向に「バチン」と音がするまでしっかり押し込んでください。</p>
---	---	---	---

※モヘアの付いたボトムバーが室内側です。 ※はまっていないと落下する恐れがあります。

操作方法

オペレーターハンドル式

■ 締め金具・ハンドルの操作

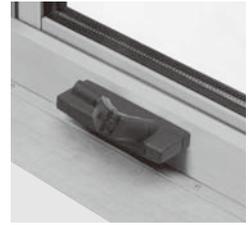
- 障子開閉操作時以外は折りたたんで収納できる折れハンドルを使用しています。
- 最大約90°まで開閉できます。

〈開け方〉

- ① 補助錠を解錠(グリーン色の表示が見えない状態)します。
- ② 締め金具のハンドルを上へあげ、ロックを解除します。
- ③ オペレーターハンドルを右に回します。



締め金具



ハンドル折りたたみ状態

〈閉め方〉

- ① オペレーターハンドルを左に回します。
- ② 締め金具のハンドルを下へ下げ、ロックします。
- ③ 補助錠を施錠(グリーン色の表示が見える状態)します。

お願い

- オペレーターハンドルは、開閉装置のため、防犯上、必ず締め金具を使用してください。

高所用

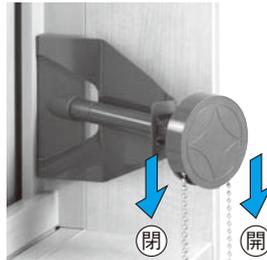
■ ハンドルの操作(内観右ハンドルの場合)

〈開け方〉

- ① ボールチェーンの右側を引きます。
- 内観から見て右側にハンドルが付いている場合、右側を引けば開きます。左側の場合は反対です。

〈閉め方〉

- ① ボールチェーンの左側を引き、ボールチェーンが動かなくなるまで閉めきってください。(ロックがかかります)

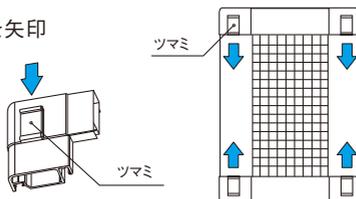


⚠ 注意

- 風の強い時は、必ず窓を開めてください。閉めきらないと障子が煽られて衝撃を受け、破損・落下等のおそれがあり、思わぬケガや事故につながります。

■ 網戸の外し方

- 網戸上下(4隅)のツマミを矢印方向に動かしてください。



すべり出し窓

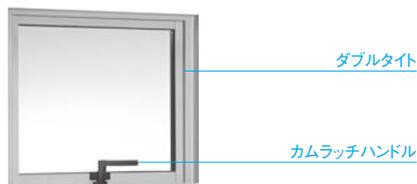
各部の名称

■カムラッチハンドル式

外 観



内 観



■オペレーターハンドル式

外 観



内 観



ご使用上の注意とお願い



注意

お願い

破損・故障の防止

- 風の強い時は窓を閉めて、必ず錠をかけてください。錠をかけないと障子が煽られて衝撃を受け、破損・落下等のおそれがあり、思わぬケガや事故につながります。
- オペレーターハンドルを回転させ閉め切ると自動的にロックがかかります。
- ハンドルに体重をかけないでください。変形して窓が閉まらなくなる場合があります。
- 障子が閉まらない場合(ハンドルが掛けられない場合)無理に閉めないでください。枠または障子が変形するおそれがあります。

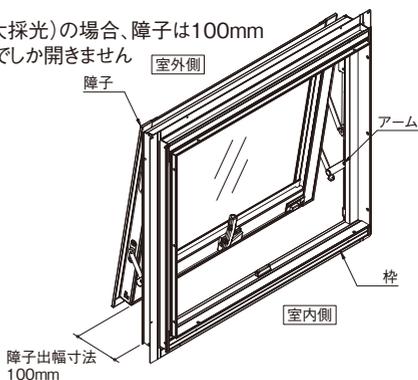
メンテナンス

- 清掃する場合は足場をしっかりと確保し、窓を身体の支えにしないでください。
- 下枠に、水を室外へ排出する排水弁を装備しています。
- 排水弁は、時々清掃し、ゴミ等がつかまらないようにしてください。



排水弁

(大採光)の場合、障子は100mm
までしか開きません



操作方法

カムラッチハンドル式

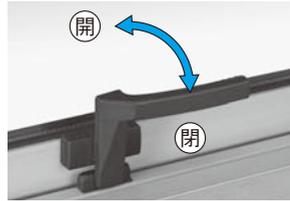
■ハンドルの操作

〈開け方〉

- ①ハンドルを垂直になるよう回転させます。
- ②ハンドルを持ったまま外へ押し出します。

〈閉め方〉

- ①ハンドルを持って、手前に引きます。
- ②ハンドルを回転させ下に下げます。(ロックがかかります)



■アームストッパーの操作(窓の清掃方法)

〈開け方〉

- ①アームに付いている解除ツマミを押しながら、窓を開けます。全開状態で窓は固定されます。

●通常約27°の開き角度が最大約70°まで開閉できます。(窓の高さが900mm以上の場合は、20°以上開きません。)

●室内側から外ガラスの掃除ができます。

〈閉め方〉

- ①解除ツマミを押しながら窓を少し閉じます。
- ②その後、解除ツマミを離し、さらに窓を閉じます。

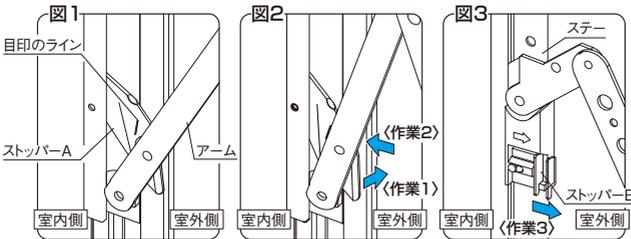


ステー アーム

■スリットすべり出し窓の場合

〈ステー解除方法〉

- ①障子を全開にした後、目印のラインとアームの位置が重なるまで障子を閉めてください。(図1参照)
- ②両側のステーのストッパーAの部品先端をアームの後ろ(縦枠側)に押し〈作業1〉、室内側に押し込み〈作業2〉ロックを解除してください。(図2参照)
- ③ストッパーAがステー内に納まると(アームの後ろに隠れる)ロックが解除され約53°まで障子が開くようになります。
- ④1~3の手順後に障子を閉める場合は、ストッパーBを解除し〈作業3〉、障子を手前に引いてください。(図3参照)
※なお、障子を閉めますと再び半開状態に戻ります。



⚠注意

- 風の強い時は、ストッパーの解除は止めてください。
障子が風を受けた衝撃で破損・落下等のおそれがあり、思わぬケガや事故につながります。
- 清掃中、ハンドル及び本体に体重をかけないでください。無理な重さをかけると、変形して窓が閉まらなくなる場合があります。また、身を乗り出し過ぎると落下・転落によりケガをするおそれがあります。

操作方法

オペレーターハンドル式

■ハンドルの操作

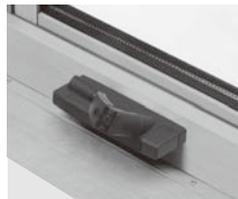
- 障子開閉操作時以外は折りたたんで収納できる折れハンドルを使用しています。

〈開け方〉

- ①オペレーターハンドルを左に回します。

〈閉め方〉

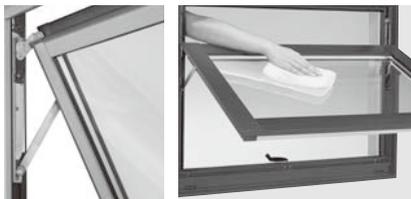
- ①オペレーターハンドルを右に回します。
- ②オペレーターハンドルを回転させると自動的にロックがかかります。



ハンドル折りたたみ状態

■ストッパーの操作(窓の清掃方法)

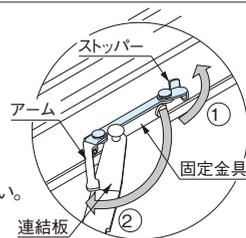
- 通常150mmの開き寸法が、最大約70°まで開閉できます。(窓の高さが900mm以上の場合には20°以上開きません)
- 室内側から外ガラスの掃除ができます。



ストッパー解除時(清掃時)

ストッパーの操作

1. ①の方向にストッパーを回転させてから②の方向へアームを回転させてください。
2. 連結板を固定金具から外し障子を押し上げてください。
3. 取付は逆の手順で行ってください。取付、取外しは必ず障子を持って行ってください。



⚠注意

- 風の強い時は、ストッパーの解除は止めてください。障子が風を受けた衝撃で破損・落下等のおそれがあり、思わぬケガや事故につながります。
- 清掃中、ハンドル及び本体に体重をかけないでください。無理な重さかけると、変形して窓が閉まらなくなる場合があります。また、身を乗り出し過ぎると落下・転落によりケガをするおそれがあります。

■専用遠隔装置の操作

- ボールチェーン使用範囲は、2・3・4mです。

〈開け方〉

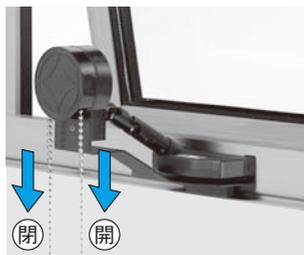
- ①ボールチェーンの右側を引きます。

〈閉め方〉

- ①ボールチェーンの左側を引き、ボールチェーンが動かなくなるまで閉めきってください。

⚠注意

- 風の強い時は、必ず窓を閉めてください。閉めざらないと障子が煽られて衝撃を受け、破損・落下等のおそれがあり、思わぬケガや事故につながります。



■網戸の外し方

- 網戸上下(4隅)のツマミを矢印方向に動かしてください。(P.57参照)

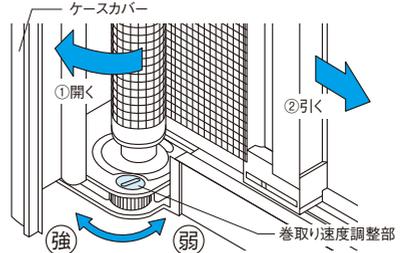
調整方法

横引きロール網戸の調整

- ① ケースカバーを開きます。
- ② 調整部が見える位置まで網戸を引き出します。
- ③ ドライバーを使って、調整部を回転させて速度を調整します。

強の方向に回す: 収納速度が上がります。
弱の方向に回す: 収納速度が下がります。

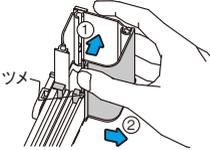
- 巻取り速度調整部の位置は、内観左側にケースがある場合は下に内観右側にケースがある場合は上になります。



お願い

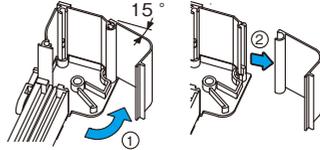
- ケースカバーは、取外し可能な機構となっています。開いたまま手を離したり、放置しないでください。落下し破損するおそれがあり、思わぬケガや事故につながります。

ボックスカバーの開け方



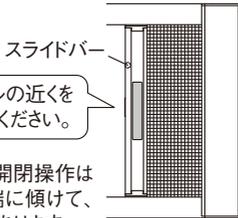
※ ①の方向に力をかけて、ツメのかかりをはずしながら②の方向に開いてください。

ボックスカバーのはずし方



※ ①の方向に図の位置まで回転させてから②の方向に引いてください。

操作についてのお願い

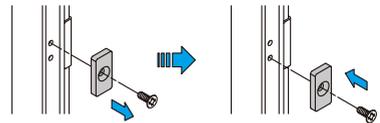


操作位置シールの近くを持って操作してください。

- ※ 上下端を持つての開閉操作はスライドバーを極端に傾けて、ネットを破る恐れがあります。

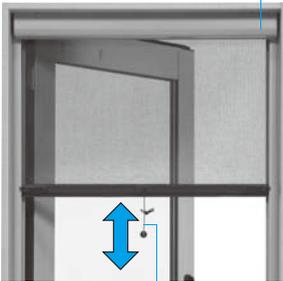
ロックの力が強い場合は

- (1) 受枠のマグネットをもう一つのネジ穴に取付けてください。(ネジ穴はマグネットをはずすと現れます。)
- (2) (1)を行ってもまだロックの力が強い場合は、スライドバーのマグネットキャッチも同様に位置を変えてください。



すべり出し窓用ロール網戸の操作方法 (すべり出し窓(大採光)の場合)

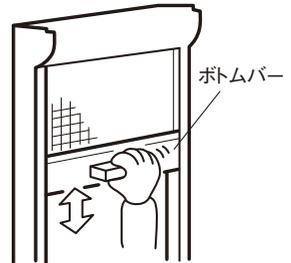
網戸ケース



操作ヒモ

注意

- 網戸を開閉する時は、ボトムバーのつまみ(中央部)、又はひもを持って静かに操作してください。他の箇所をもって操作すると、スムーズに開閉しないうえ破損の原因にもなります。
- 無理な開閉や乱暴な取扱をすると、網戸を破損するばかりでなく思わぬケガの原因になりますのでご注意ください。
- ボトムバーが勢いよく上がりすぎる場合には、途中まで手をそえて、静かに巻き上がる位置で手を離してください。



平行すべり出し窓

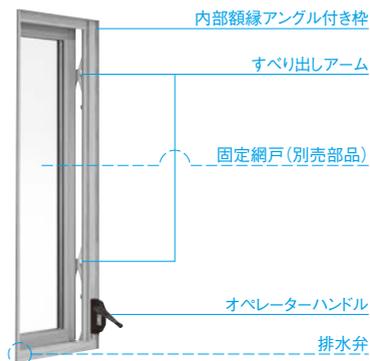
各部の名称

■オペレーターハンドル式

外 観



内 観



ご使用上の注意とお願い



注意

お願い

破損・故障の防止

- 風の強い時は窓を閉めて、必ず錠をかけてください。錠をかけないと障子が煽られて衝撃を受け、破損・落下等のおそれがあり、思わぬケガや事故につながります。
- ハンドルに体重をかけないでください。変形して窓が開まらなくなる場合があります。

操作方法

オペレーターハンドルの操作

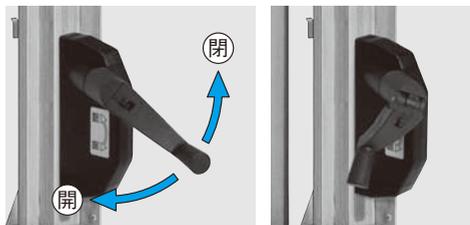
- 障子開閉操作時以外は折りたたんで収納できる折れハンドルを使用しています。

〈開け方〉

- ①オペレーターハンドルを右に回します。
- ②障子が枠に対して水平に出ます。

〈閉め方〉

- ①オペレーターハンドルを左に回します。



ハンドル折りたたみ状態

内倒し窓

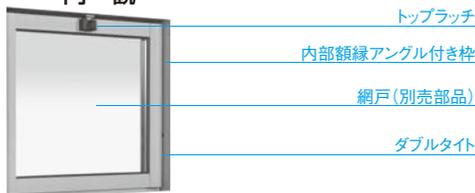
各部の名称

■トップラッチ式

外 観



内 観



ご使用上の注意とお願い

△ 注意

お願い

破損・故障の防止

- 開ける時は、上部のラッチ錠を解錠した後も手を離さずゆっくり室内側に倒してください。
- 閉める時は、ラッチ錠が確実にかかっていることをご確認ください。
- 高所でフック棒を使用する場合も同様に、開閉はゆっくり行ってください。
- ガラス面を押して窓を閉めないでください。ガラスが破損するおそれがあります。



内倒し窓

操作方法

トップラッチの操作

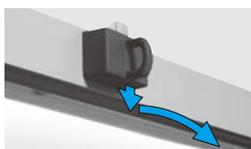
〈開け方〉

- ① ラッチを下げたまま、内側（手前方向）に倒します。

〈閉め方〉

- ① ラッチがかかるまで障子を外側へ押します。

- 閉じると自動的に施錠し、かけ忘れを防止します。



二段式アームスティの操作(窓の清掃方法)

〈開け方〉

- ① ラッチを下げたまま、内側（手前方向）に倒します。
- ② アームに付いているツマミを上へ引きます。
- ③ 障子が、さらに内側に倒れ外ガラスの掃除ができます。

〈閉め方〉

- ① ラッチがかかるまで障子を外側へ押します。

- 閉じると自動的に施錠し、かけ忘れを防止します。



ツマミ



通常時(約30°)



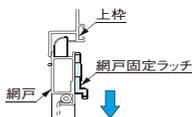
清掃時(約45°)

お願い

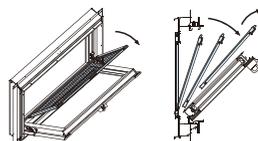
- 二段式内倒し機構は、清掃用です。採風用には使用しないでください。

■網戸の外し方

- ① 上框に付いている網戸固定ラッチを下げ上枠の溝から外します。



- ② 網戸を部屋内側に倒し取り外します。
※ 建て込みは逆の手順となります。



オーニング窓

各部の名称

外 観



※電動タイプについては(P.67)をご覧ください。

オーニング窓

ご使用上の注意とお願い

注意

お願い

破損・故障の防止

- 風の強い時は窓をしっかり閉めてください。しっかり閉めないで障子が煽られて衝撃を受け、破損・落下等のおそれがあり、思わぬケガや事故につながります。
- ハンドル操作時に手を挟まないようにご注意ください。



操作方法

オペレーターハンドルの操作(内観右ハンドルの場合)

- 障子開閉操作時以外は折りたたんで収納できる折れハンドルを使用しています。
- 最大約50°まで開閉できます。(一部のサイズにおいて、最大約45°まで開閉となります。)

〈開け方〉

- ①ハンドルを右に回転させ窓を開けます。

- 内観から見て右側にハンドルが付いている場合、右に回せば開きます。左側の場合は反対です。

〈閉め方〉

- ①ハンドルを左に回転させ窓を閉めます。
- ②ハンドルが動かなくなるまで閉めきってください。



専用遠隔装置の操作(内観右ハンドルの場合)

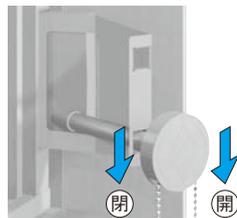
〈開け方〉

- ①ボールチェーンの右側を引きます。

- 内観から見て右側にハンドルが付いている場合、右側を引けば開きます。左側の場合は反対です。

〈閉め方〉

- ①ボールチェーンの左側を引き、ボールチェーンが動かなくなるまで閉めきってください。(ロックがかかります)



注意

- 風の強い時は、必ず窓を閉めてください。閉めきらないと障子が煽られて衝撃を受け、破損・落下等のおそれがあり、思わぬケガや事故につながります。

■網戸の外し方

- 網戸上下(4隅)のツマミを矢印方向に動かしてください。(P.57参照)

ルーバー窓・ダブルルーバー窓

各部の名称

■ダブルルーバー窓

外 観



羽根ガラス

排水弁

内 観



本体

内部額縁アングル付き枠

オペレーターハンドル

※電動タイプについては(P.67)をご覧ください。

ご使用上の注意とお願い

⚠注意

お願い

破損・故障の防止

- 高所でチェーンを使用する場合は、チェーンを真下に引いてください。角度を付けて引くとチェーンが外れるおそれがあります。
- ガラスの隙間に物が挟まった状態で使用しないでください。故障やガラス破損の原因となります。
- ガラス部が凍結した時は、溶けるまで無理に作動させないでください。
- 外出時・就寝時は、必ずルーバーガラスを閉じた状態にしてください。開いたままだと外部からガラスをはずされる危険性があります。



操作方法

オペレーターハンドルの操作(内観右ハンドルの場合)

- 障子開閉操作時以外は折りたたんで収納できる折れハンドルを使用しています。

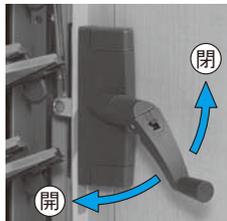
〈開け方〉

- ① オペレーターハンドルを右に回します。

- 内観から見て右側にハンドルが付いている場合、右に回せば開きます。左側の場合は反対です。

〈閉め方〉

- ① オペレーターハンドルを左に回します。
- ② ハンドルが動かなくなるまで閉めきってください。



ハンドル折りたたみ状態

■網戸の外し方

- 網戸上下(4隅)のツマミを矢印方向に動かしてください。(P.57参照)

操作方法

六角ハンドルの操作(内観右ハンドルの場合)

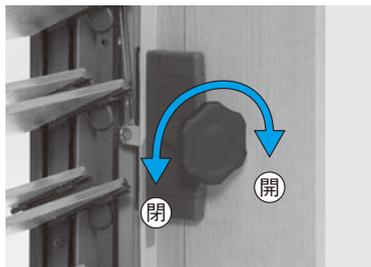
〈開け方〉

①ハンドルを右に回します。

- 内観から見て右側にハンドルが付いている場合、右に回せば開きます。左側の場合は反対です。

〈閉め方〉

①ハンドルを左に回し、ハンドルが動かなくなるまで閉めきってください。(ロックがかかります)



お願い

- ガラスルーバーが開いているとガラスをはずしやすいため、外出時や就寝時にはガラスを完全に閉めてください。

遠隔装置の操作(内観右ハンドルの場合)

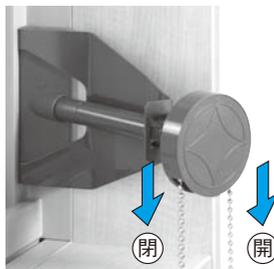
〈開け方〉

①ボールチェーンの右側を引きます。

- 内観から見て右側にハンドルが付いている場合、右側を引けば開きます。左側の場合は反対です。

〈閉め方〉

①ボールチェーンの左側を引き、ボールチェーンが動かなくなるまで閉めきってください。(ロックがかかります)



⚠注意

- 風の強い時は、必ず窓を閉めてください。閉めきらないと障子が煽られて衝撃を受け、破損・落下等のおそれがあり、思わぬケガや事故につながります。

各部の名称

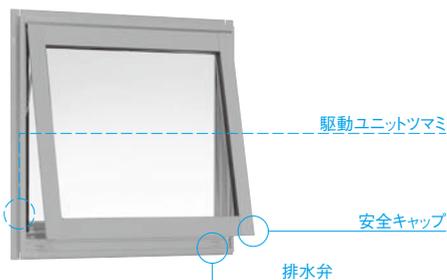
■電動オーニング窓

外 観



■電動すべり出し窓

外 観



■電動ルーバー窓

外 観



ご使用上の注意とお願い

⚠ 注意

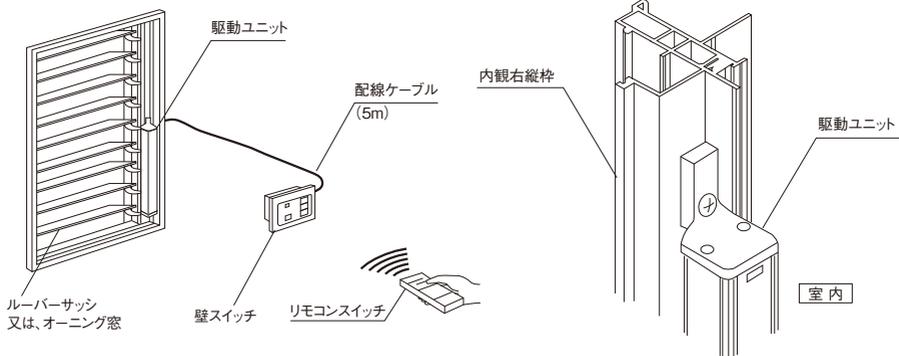
お願い

破損・故障の防止

- 風の強い時は窓をしっかり閉めてください。しっかり閉めないと障子が煽られて衝撃を受け、破損・落下等のおそれがあり、思わぬケガや事故につながります。
- ガラスの隙間に物が挟まった状態で使用しないでください。故障やガラス破損の原因となります。
- ガラス部が凍結した時は、溶けるまで無理に作動させないでください。
- 外出時・就寝時は、必ずルーバーガラスを閉じた状態にしてください。開いたままだと外部からガラスをはずされる危険性があります。

電動オーニング窓・電動すべり出し窓 電動ルーバー窓

各部の名称

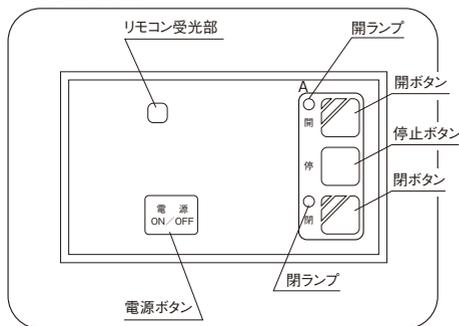


電動オーニング窓・電動すべり出し窓・電動ルーバー窓

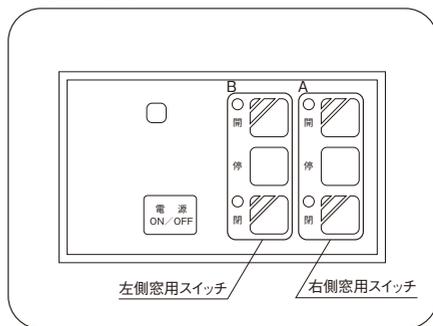
操作方法

壁スイッチのランプ表示と窓の状態

1窓用壁スイッチ



2窓用壁スイッチ



ランプ	表示状態	窓および壁スイッチの状態
開ランプ	点灯	窓が全開または半開状態で止まっています。
	点滅	窓が開いている最中です。
閉ランプ	点灯	窓が完全に閉まっています。
	点滅	窓が閉まっている最中です。

壁スイッチの使い方

- 電源ボタンを押して電源を入れてください。
開ランプまたは閉ランプが点灯します。
※ランプ表示は、電源を切る前の状態を記憶しています。
- 開閉ボタンを押します。
開ける場合…………… 開ボタンを押してください。
途中で止める場合…… 停止ボタンを押してください。
閉める場合…………… 閉ボタンを押してください。
※窓は全開または全閉すると自動的に止まります。



⚠注意

●壁スイッチは、ぬれた手や先のとがったもので押さないでください。感電するおそれがあります。

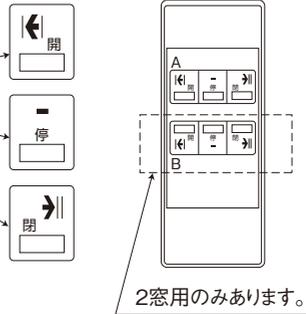
操作方法

(別売)リモコンスイッチの使い方

- 1.壁スイッチの電源ボタンを押して、電源を入れてください。
- 2.リモコンスイッチを壁スイッチに向けて開閉ボタンを押してください。

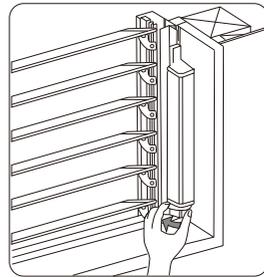
開ける場合…………… 開ボタンを押してください。
途中で止める場合…… 停止ボタンを押してください。
閉める場合…………… 閉ボタンを押してください。

- ※窓は全開または全閉すると自動的に止まります。
- ※2窓用リモコンスイッチの上側(A)にあるスイッチを押すと、2窓用壁スイッチの右側(A)に接続されている窓が作動します。2窓用リモコンスイッチの下側(B)にあるスイッチで、2窓用壁スイッチの左側(B)に接続されている窓が作動します。
- ※1窓用リモコンスイッチでは、2窓用壁スイッチの左側(B)に接続されている窓を作動させることはできません。



停電および故障の場合の操作方法

サッシを開けた状態で、停電もしくは他の電気的なトラブルが発生し、サッシが閉まらなくなった時は、右図のようにツマミを矢印の方向に強く回して閉めてください。



お手入れの方法

●清掃の仕方

サッシはいつもきれいに清掃しておくことが腐食せずに長持ちさせる一番の方法です。

- ① 固くしぼった柔らかい布で水ぶきし、表面の汚れを拭き取ります。
- ② 薄めた中性洗剤などで汚れを拭いていただければ、さらに長持ちします。

⚠注意

- 硬いもので強くこすると表面に傷がつき、そこから錆びやすくなりますのでご注意ください。
- 壁スイッチや駆動ユニットには絶対に水をかけないでください。
- 壁スイッチや駆動ユニットは、絶対に分解しないでください。

片上げ下げ窓・上げ下げ窓

各部の名称

■上げ下げ窓

外観



排水弁

内観



形材引手

バルンサー機構

内部額縁アンクル付き枠

クレセント

気密ピース

内倒し機構

網戸(別売部品)

引手

※クラスとアリッツでは、形材引手と部品引手があります。

片上げ下げ窓・上げ下げ窓

操作方法

クレセントの操作

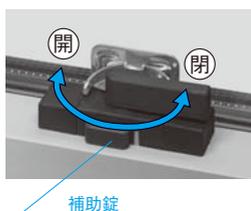
〈開け方〉

- ①補助錠をスライドし、ロックを解除します。
- ②クレセントを回し、引手を持って障子を上げます。

〈閉め方〉

- ①障子を完全に閉めてください。
- ②クレセントを回します。
- ③補助錠をスライドしロックします。目視確認できるようにセーフティグリーンがついています。

- 障子が完全に閉まらないとクレセントが掛けられない(回転しない)空かけ防止機構になっています。



補助錠



セーフティグリーン



下窓用引手

※写真はアルブラクラス

サブロックの操作

〈ロックの仕方〉

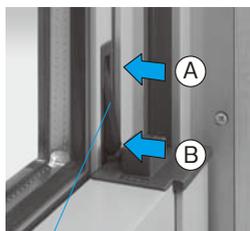
- ①Aを押すとロックされます。

〈ロックの解除〉

- ①Bを押すとロックが解除されます。

お願い

- ご不在時や就寝時は、サブロックだけではなくクレセント、補助錠の3ヶ所をお掛けください。
- サブロックだけでは、十分な防犯効果が得られません。必ずクレセント、補助錠を併用してください。



サブロック

操作方法

ラッチの操作(窓の清掃方法)

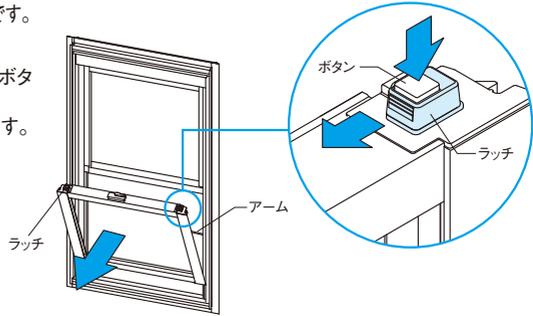
●障子は内側(室内側)に倒れます。開き角度は35°です。

〈開け方〉

- ①内障子を5cm程度開け、左右のラッチ上部のボタンを押しながらラッチを中央へ動かします。
- ②両手で障子を支えながら内側(室内側)に倒します。

〈閉め方〉

- ①ラッチがかかるまで障子を外側へ押しします。



⚠️ **注意**

お願い

- 内倒し機構は、清掃用です。採風用には使用しないでください。
- 清掃中、本体に体重をかけないでください。無理な重さをかけると、変形して窓が閉まらなくなる場合があります。また、身を乗り出し過ぎると落下・転落によりケガをするおそれがあります。

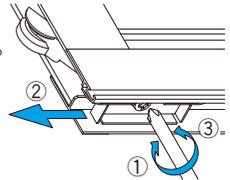
■網戸の取り付け・取り外し方法

矢印の方向に強く押しして
取り付け・取り外し
行ってください。



落下防止の為、両端の外れ止め部品を必ずかけてください。

- 網戸取り付け後①ねじをゆるめ②外れ止め部品を縦枠側に開閉に支障のない範囲までいっぱい寄せ③再びねじを締めてください。



お願い

- 急に開閉がガタついたりした場合など、いつもと異なった開閉と感じられた場合は無理に動かさず、販売店へご連絡ください。

ご使用上の注意とお願い

⚠️ **注意**

お願い

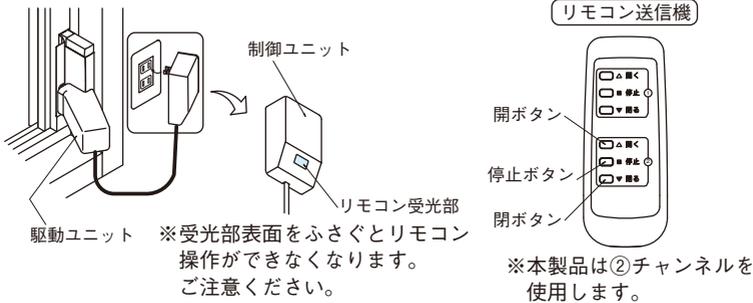
破損・故障の防止

- 風の強い時は窓をしっかりと閉めてください。しっかりと閉めないで障子が煽られて衝撃を受け、破損・落下等のおそれがあり、思わぬケガや事故につながります。
- 引手操作時に手を挟まないようご注意ください。
- 開閉操作のための部品には消耗部品があり、適切にメンテナンスを行わないと、経年劣化による開閉異常や落下につながるおそれがあります。
- 障子および網戸の操作中に異常を感じた場合は、速やかに操作を中止し、施工店・販売店、およびハウスメーカー様まで連絡をしてメンテナンスを受けられますようお願いいたします。開閉部分の異常が考えられ、そのままお使いになられると、落下や事故につながるおそれがありますので、ご注意ください。
- 障子・網戸の操作中の異常とは、いつもと違って開閉がガタつく、スムーズに動かない、急に開閉が重くなった場合などです。
- 操作を中止した際は、障子は閉めた状態にし施錠してください。網戸は下に下げた状態にしてください。

電動オペレーターユニット

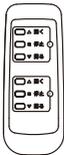
後付電動オペレーターユニットの操作方法

各部の名称



リモコン送信機の操作と制御ユニットのランプ表示

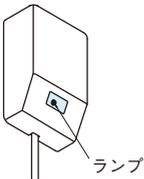
リモコン送信機の操作



作動状況	操作方法
開ける時	「▲ 開く」ボタンを押してください
止める時	「■ 停止」ボタンを押してください
閉める時	「▼ 閉る」ボタンを押してください

1. リモコン操作させる際、リモコンを制御ユニットのリモコン受光部に向けて操作してください。
2. 窓が全開・全閉すると自動的に止まります。

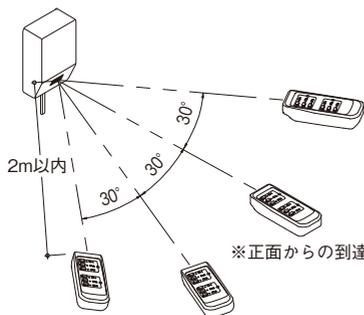
制御ユニットのランプ表示



ランプの状態	内容
点 灯	通電しています。(待機中)
遅い点滅 (約1秒間に1回)	窓が開閉作動中です。
消 灯	電源が入っていません。

後付電動オペレーターユニットの操作方法

リモコン受信機の信号到達距離



※リモコンの到達距離は約6mです。
リモコン受光部から上下・左右
30° 以内で操作してください。
リモコン受光部の正面からずれるほど、
信号到達距離は短くなります。
また、電池が弱くなると、到達距離が短く
なりますので、新しい電池と交換ください。

※正面からの到達距離：6m

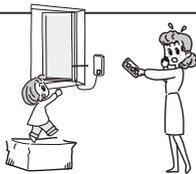
電動オペレーターユニット

ご使用上の注意とお願い

⚠️ 注意

● 次のような注意を守らないと、ケガや故障の原因となりますのでご注意ください。

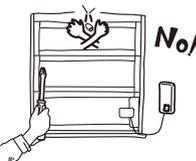
- 開・閉時に手をはさまれないように、ご注意ください。



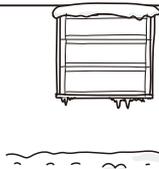
- 電動部品に水がかからないように、ご注意ください。



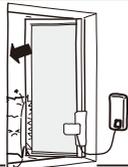
- 電動部品の分解・改造は行わないでください。



- 窓が凍結した状態で、作動しないでください。



- 窓にものがはさまったままで、作動しないでください。



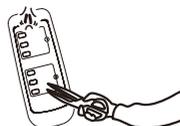
- 電動部品及びリモコン送信機に強い衝撃を与えないでください。



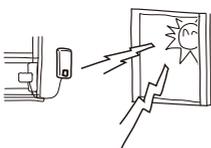
- 濡れた手でリモコンをさわらないでください。



- リモコン送信機のボタンを鋭利なもので操作しないでください。



- リモコン受光部に直射日光や強い光が当たると、正常に作動しないことがあります。



- リモコン受光部をカーテン等でふさぐと正常に作動しない事があります。



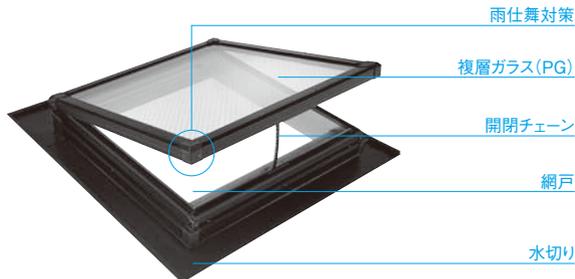
故障かなと思ったら

症状	チェック項目	考えられる原因	対処方法
リモコン送信機のボタンを押しても作動しない。	制御ユニットのランプが消灯している。	停電していませんか？	通電までお待ちください。
		配電ブレーカーがOFFになっていませんか？	配電ブレーカーをONにしてください。
		リモコン送信機の電池は切れていませんか？	新しい電池に交換してください。
		リモコン受光部表面が汚れていませんか？	リモコン受光部表面を清掃してください。

※上記チェック項目を確認しても正常に動作しない場合、又は制御ユニットのランプが速く点滅している(約1秒間に3回)場合は、本製品や窓本体等に不具合が発生していることが考えられます。お取り扱いの施工店、工務店、販売店又は最寄りの当社支店・営業所に修理をご依頼ください。

各部の名称

■(外観)



ご使用上の注意とお願い



注意

お願い

ケガの防止

- 開閉する部分に物を置いたり、顔や手を絶対に出さないでください。

結露について

- 室内側の温度差及び湿度条件により結露し、結露水が落下することがあります。トップライトの下には、ピアノやオーディオ等万一結露水が落下して不都合なものは置かないでください。

操作方法

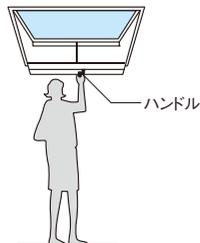
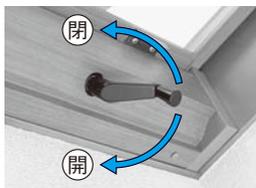
ハンドルの操作

〈開け方〉

- ① ハンドルを右に回します。

〈閉め方〉

- ① ハンドルを左に回します。
- ② ハンドルが動かなくなるまで閉めきってください。



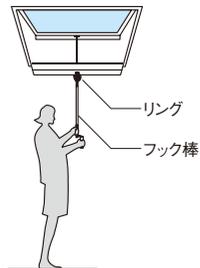
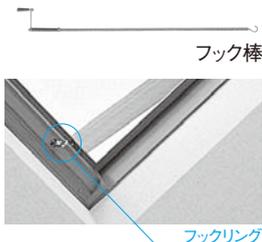
フックリングの操作

〈開け方〉

- ① フックリングにフック棒を引っ掛けます。
- ② フック棒を右に回します。

〈閉め方〉

- ① フックリングにフック棒を引っ掛けます。
- ② フック棒を左に回します。
- ③ フックリングが動かなくなるまで閉めきってください。



操作方法

スクリーンの操作

〈開閉〉

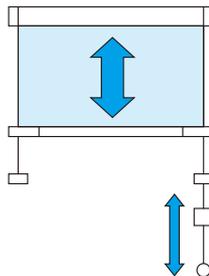
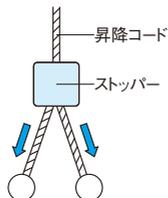
スクリーンの開閉は昇降コードで行います。

●コードを引くとスクリーンは閉じ、コードを離すと、スクリーンは開きます。

※必ずプルボールを持って操作してください。

〈停止〉

●昇降コードを右または左に引き、
ストッパーのミゾに引っかけて止
めてください。



⚠ 注意

- ローラーパイプ内の機構部は絶対に開けないでください。
- お子様が昇降コードにぶらさがって遊んだりしないよう、充分にご注意ください。

お手入れ方法

- 日頃のお手入れはハタキやハンドモップ等でほこりを落としてください。
- スクリーンのヨゴレは、水を十分に絞ったきれいな布で軽く拭き取ってください。(水の場合でも、スクリーンは一度濡れると多少変色する場合がありますので、充分ご注意ください。)

調整方法

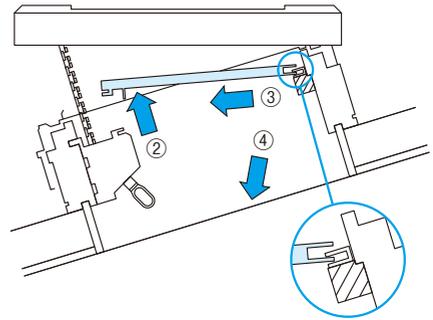
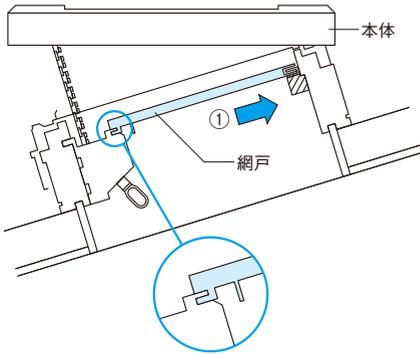
網戸のはずし方

〈はずし方〉

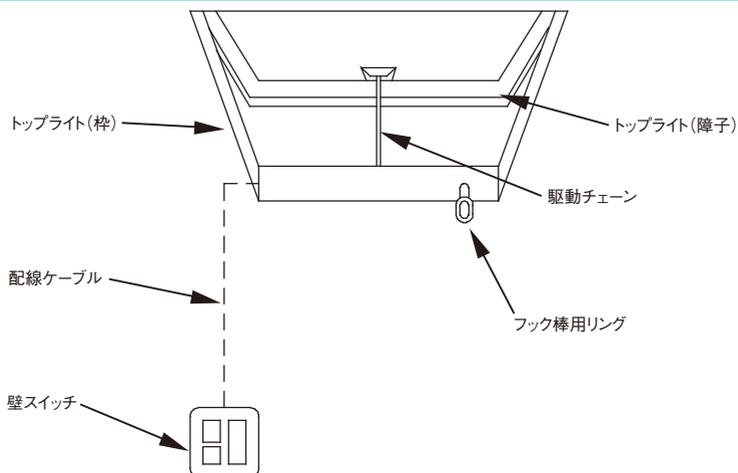
- ① 網戸をフックリングの反対側に押し付けます。
- ② 網戸のフックリング側を持ち上げます。
- ③ 網戸を枠から離します。
- ④ 網戸を下へ外します。

お願い

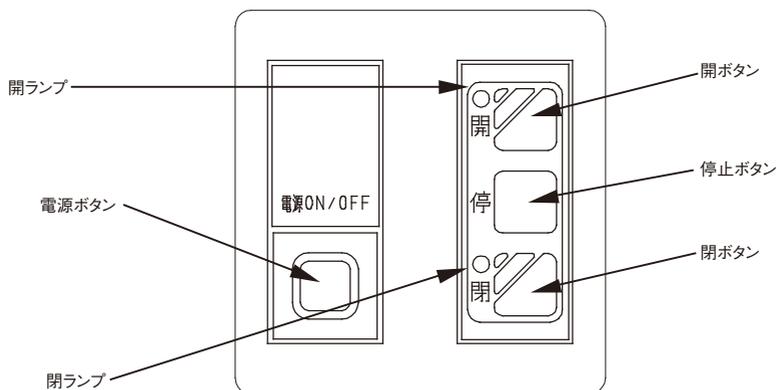
- 網戸の建込みは、逆手順で行ってください。



各部の名称



壁スイッチランプ表示と窓の状態



開ランプ	閉ランプ	窓の状態	その他
点灯	消灯	窓が全開または半開途中で止まっています。	
点滅	消灯	窓が開いている最中です。	
消灯	点灯	窓が完全に閉まっています。	
消灯	点滅	窓が閉まっている最中です。	
点滅	点滅	タイマー異常です。	※1 ブザーが1分間鳴ります。
点灯	点灯	保護機能が働いています。	※2 ブザーが鳴り続けます。

※1:装置にトラブルがあった場合、全ランプが点滅するとともにブザー（ピーピー音）が1分間鳴り続けます。停止ボタンを押すと元に戻ります。

※2:何度も連続して開閉を繰り返しますと、加熱保護のためにしばらくの間（約1分間）作動しなくなります。その間ブザー（ビビビ音）が鳴り続けます。しばらくしてから作動させてください。

壁スイッチの使い方

1.電源ボタンを押して電源を入れてください。

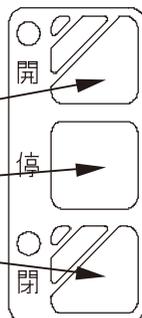
開ランプが点灯します。

2.開閉ボタンを押します。

開ける場合

途中で止める場合

閉める場合



※窓は全開または全閉すると自動的に止まります。

⚠ 注意

- 壁スイッチは、ぬれた手や先のとがったもので押さないでください。感電したり故障の原因となります。
- 操作する前に、窓の周辺に物や人がいないことを確認してください。

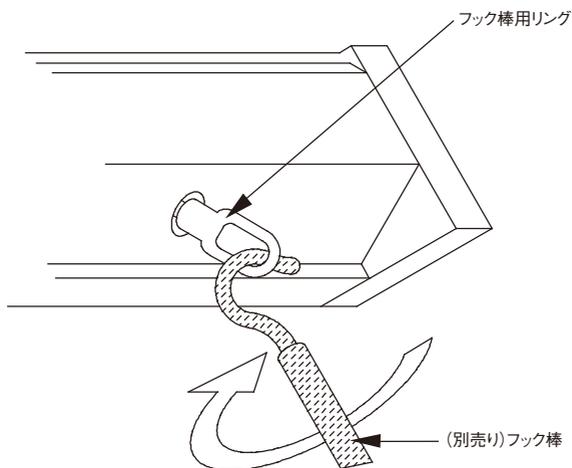
お願い

- 風の強いときは窓を開けないでください。窓が途中で止まってしまう場合があります。
- 何度も連続して作動させますと保護機能が働き、約1分間作動しなくなる場合があります。しばらくしてから作動させてください。

停電および故障の場合の操作方法

窓を開けた状態で、停電もしくは他の電氣的トラブルが発生し、窓が閉まらなくなった場合は、下図のようにフック棒用リングを時計回りに回して閉めてください。

手の届かない場所にある場合は、別売りのフック棒をフック棒用リングに引っかけて回してください。



仕様

電源定格	消費電力
AC100V(50/60Hz)	約50W(作動時)

お手入れの方法

清掃の仕方

サッシはいつもきれいに清掃しておくことが腐食せずに長持ちさせる一番の方法です。

- ①固くしぼった柔らかい布で水ぶきし、表面の汚れを拭き取ります。
- ②薄めた中性洗剤などで汚れを拭いていただければ、さらに長持ちします。

△注意

- 壁スイッチや電動オペレーターには絶対に水をかけないでください。
- 壁スイッチや電動オペレーターは、絶対に分解しないでください。

日常点検

お願い

- 必ず以下の日常点検を行ってください。
 - ①窓に異物がはさまっていないこと。
 - ②今までと違った異音がしないこと。
 - ③外観に使用上有害な変形がないこと。
- 不具合に気づきましたら、ただちに使用を止めて下さい。
- 万が一、落雷などによって機器が一時的に異常になった場合は、電源ボタンを押して、電源を一度切ってください。

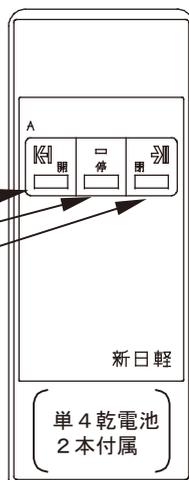
(別売)リモコンスイッチの使い方

- ①壁スイッチの電源ボタンを押して、電源を入れて下さい。
- ②リモコンスイッチを壁スイッチに向けて開閉ボタンを押して下さい。

開ける場合……………開ボタンを押して下さい。

途中で止める場合……停止ボタンを押して下さい。

閉める場合……………閉ボタンを押して下さい。



※窓は全開または全閉すると、自動的に止まります。

※電動オーニング窓や電動ルーバーサッシの1窓用壁スイッチにも共通で使用できます。但し、2窓用壁スイッチの左側(B)に接続されている窓は作動させることはできません(P.69参照)。

玄関ドア・勝手口ドア・テラスドア

現象・兆候	考えられる原因	対処方法
全閉時に扉がガタつく。	ラッチと錠受けの位置が合っていない。	錠受けの調整をしてください。 (P.9参照)
開閉時に扉がガタつく。	丁番ネジがゆるんでいる。	枠側・扉側共に丁番ネジを締め付けてください。
開閉時に扉が枠に当たる 又は擦る。	丁番ネジがゆるんでいる。	枠側・扉側共に丁番ネジを締め付けてください。
	経年変化により、柱の傾きが生じ、 枠全体が傾いている。	施工店・販売店又はハウスメーカー様に 修理を依頼してください。
扉が開かない。	錠が破損している。	施工店・販売店又はハウスメーカー様に 修理を依頼してください。
	ハンドルの内部機構が破損・磨耗 している。	
扉が閉まらない。	錠が破損している。	施工店・販売店又はハウスメーカー様に 修理を依頼してください。
	ハンドルの内部機構が破損・磨耗 している。	
	丁番が破損している。	
開閉時にきしみ音などの 異音がある。	経年劣化により丁番の軸部分が 磨耗している。	施工店・販売店又はハウスメーカー様に 修理を依頼してください。
キーの差し込みが固い又は、 差し込んでもスムーズに 操作できない。	合鍵が正規のキーと一致していない。	正規のキーで操作してください。
	錠穴内部が凍結している。	市販の凍結防止剤・解氷材(スプレー式) を吹き掛けてください。
	錠穴内部に汚れ、ほこりが付着して いる。	お願い お湯は絶対に掛けないでください。再凍結 や腐食の原因になります。 黒鉛粉(鉛筆の芯を削った粉で可)を 鍵にまぶして、何度か繰り返し錠穴に 差し込んでください。 それでも操作できない場合は、施工店・ 販売店又はハウスメーカー様に修理を 依頼してください。
	キーが変形している。	お願い 錠穴にミシン油などを注入しないでくだ さい。シリンダー内にゴミが付着し故障 の原因になります。 施工店・販売店又はハウスメーカー様に 修理を依頼してください。

玄関ドア・勝手口ドア・テラスドア

現象・兆候	考えられる原因	対処方法
鍵が掛かりにくくなった又は掛からない。	ラッチボルト・デットボルトと錠受けの位置が合っていない。	⇒ 錠受けの調整をしてください。(P.9参照)
	丁番ネジがゆるんでいる。	⇒ 枠側・扉側共に丁番ネジを締め付けてください。
	経年変化により、柱の傾きが生じ、枠全体が傾いている。	⇒ 施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。
フランス落しが作動しにくくなった又は動かなくなった。	ロッド棒の操作機構が錆ついている。	⇒ 施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。
	ロッド棒が曲がっている。	
扉の開閉速度が変わった。	ドアクローザーの調整速度がズレた。	⇒ ドアクローザーの速度調整をしてください。(P.9参照)

玄関引戸

現象・兆候	考えられる原因	対処方法
スムーズに開閉できない。	戸車がレールに乗っていない。	⇒⇒⇒ 引戸を一度外し、組込みし直してください。
	引戸が正常に組込まれていない。	
	下枠に砂やゴミなどが付着している。	⇒⇒⇒ 清掃してください。
	戸車にキズ・磨耗・軸の変形などが生じている。	⇒⇒⇒ 施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。
	振れ止めにキズ・磨耗・軸の変形などが生じている。	
	上枠・下枠レールにキズ・変形などが生じている。	
経年劣化により鴨居が下がり、上枠が下がっている。		
全閉時、枠と引戸の間に隙間がある。	錠と錠受け位置が合っていない。	⇒⇒⇒ 錠と受けの調整をしてください。 (P.12、21、25参照)
	戸車の高さが適切でない。	⇒⇒⇒ 建付の調整をしてください。 (P.12、21、25参照)
	経年変化により鴨居が下がり、柱の傾きが生じ、上枠が下がったり、枠全体が傾いている。	⇒⇒⇒ 施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。
開閉時に障子からきしみ音などの異音がある。	戸車がレールに乗っていない。	⇒⇒⇒ 引戸を一度外し、組込みし直してください。
	引戸が正常に組込まれていない。	
	下枠に砂やゴミなどが付着している。	⇒⇒⇒ 清掃してください。
	戸車にキズ・磨耗・軸の変形などが生じている。	⇒⇒⇒ 施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。
	振れ止めにキズ・磨耗・軸の変形などが生じている。	
	上枠・下枠レールにキズ・変形などが生じている。	

玄関引戸

現象・兆候	考えられる原因	対処方法
キーの差し込みが固い又は、差し込んでもスムーズに操作できない。	合鍵が正規のキーと一致していない。	⇒ 正規のキーで操作してください。
	鍵穴内部が凍結している。	⇒ お願い 市販の凍結防止剤・解氷材(スプレー式)を吹き掛けてください。
	鍵穴内部に汚れ・ほこりが付着している。	⇒ お願い お湯は絶対に掛けないでください。再凍結や腐食の原因になります。 お願い 黒鉛粉(鉛筆の芯を削った粉で可)を鍵にまぶして、何度か繰り返し鍵穴に差し込んでください。 それでも操作できない場合は、施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。
	キーが変形している。	⇒ お願い 鍵穴にミシン油などを注入しないでください。シリンダー内にゴミが付着し故障の原因になります。 ⇒ 施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。
鍵が掛かりにくくなった又は掛からない。	錠と錠受け位置が合っていない。	⇒ 錠と受けの調整をしてください。(P.12、21、25参照)
	戸車の高さが適切でない。	⇒ 建付の調整をしてください。(P.12、21、25参照)
	トリガーが破損している。	⇒ 施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。

玄関引戸[引戸クローザー付きの場合]

現象・兆候	考えられる原因	対処方法
引戸が最後まで閉まらない。	引戸クローザーの閉じ位置調整が合っていない。	⇒ 引戸クローザーの速度調整をしてください。(P.25参照)
	戸車の高さが適切でない。	⇒ 建付の調整をしてください。(P.25参照)
	経年劣化により引戸クローザーの内部機構が破損・磨耗している。	⇒ 施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。
	下枠に砂やゴミなどが付着している。	⇒ 清掃してください。
扉の開閉速度が変わった。	引戸クローザーの調整速度がズレた。	⇒ 引戸クローザーの速度調整をしてください。(P.25参照)
	経年劣化により引戸クローザーの内部機構が破損・磨耗している。	⇒ 施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。

引違い窓・片引き窓関連

現象・兆候	考えられる原因	対処方法
開閉時にきしみ音などの異音が生じる。	戸車がレールに乗っていない。	⇒ 障子を一度外し、組込みし直してください。
	障子が正常に組込まれていない。	
	下枠にゴミなどが付着している。	⇒ 清掃してください。
	戸車にキズ・磨耗・軸の変形などが生じている。	
	枠と障子部品(振れ止め・気密材)の擦れがある。	⇒ 施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。
	上枠・下枠レールにキズ・変形などが生じている。	
全閉施錠時に隙間風・ほこりなどが入る。	経年劣化により鴨居が下がり、上枠が下がっている。	
	クレセント本体とクレセント受けの位置が合っていない。	⇒ クレセント受けの調整をしてください。(P.39参照)
	戸車の高さが適切でない。	⇒ 建付の調整をしてください。(P.39参照)
	ネジ穴キャップに脱落がある。	
	経年劣化により鴨居が下がり、上枠が下がっている。	⇒ 施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。
下枠部に雨水が溜まり、下枠から溢れるおそれがある。	経年劣化により気密材にねじれ・縮みが生じている。	
	水密性能を保持する為に、下枠に水を溜める構造にしている。	⇒ サッシの不具合ではありません。(P.107参照)
	排水溝にゴミなどが付着している。	⇒ 清掃してください。
全閉施錠時に下枠部からしぶきが入る。	経年劣化により気密材にねじれ・縮み・亀裂・ちぎれが生じている。	⇒ 施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。
	クレセント本体とクレセント受けの位置が合っていない。	⇒ クレセント受けの調整をしてください。(P.39参照)
	召合せピースの高さが適切でない。	⇒ 召合せピースの調整をしてください。(P.39参照)
全閉施錠時に下枠部からしぶきが入る。	経年劣化により気密材にねじれ・縮み・亀裂・ちぎれが生じている。	⇒ 施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。

網 戸

現象・兆候	考えられる原因	対処方法
スムーズに開閉できない。	はずれ止めの位置が適切でない。	⇒ はずれ止めの調整をしてください。 (P.41参照)
	戸車がレールに乗っていない。	⇒ 網戸を一度外し、組込みし直してください。
	網戸が正常に組込まれていない。	⇒ 清掃してください。
	下枠にゴミなどが付着している。	⇒ 清掃してください。
	戸車にキズ・磨耗・軸の変形などが生じている。	⇒ 施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。
	網戸の隙間ふさぎ材の当たりが強すぎる。	
	網戸が反っている。	
	上枠・下枠レールにキズ・変形などが生じている。	
経年劣化により鴨居が下がり、上枠が下がっている。		
網戸が外れる又は落下する。	はずれ止めの位置が適切でない。	⇒ はずれ止めの調整をしてください。 (引違い窓用網戸P.41参照、上げ下げ窓用網戸P.71参照)
	はずれ止めが破損している。	⇒ 施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。
	戸車にキズ・磨耗・軸の変形などが生じている。	
開閉時にきしみ音などの異音が生ずる。	戸車がレールに乗っていない。	⇒ 網戸を一度外し、組込みし直してください。
	網戸が正常に組込まれていない。	⇒ 清掃してください。
	下枠にゴミなどが付着している。	⇒ 清掃してください。
	戸車にキズ・磨耗・軸の変形などが生じている。	⇒ 施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。
	網戸の隙間ふさぎ材の当たりが強すぎる。	
上枠・下枠レールにキズ・変形などが生じている。		
開閉時に網戸が一緒に動く。	網戸の反りで、隙間ふさぎ材が障子に強く当たっている。	⇒ 施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。

雨 戸

現象・兆候	考えられる原因	対処方法
スムーズに開閉できない。	戸車がレールに乗っていない。	⇒ 雨戸を一度外し、組込み直ししてください。
	雨戸が正常に組込まれていない。	
	下枠にゴミなどが付着している。	⇒ 清掃してください。
	戸車にキズ・磨耗・軸の変形などが生じている。	⇒ 施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。
	枠と雨戸部品(振れ止め・気密材)の擦れがある。	
	上枠・下枠レールにキズ・変形がある。	
	経年劣化により鴨居が下がり、上枠が下がっている。	
全閉施錠時に隙間が見える。	雨戸錠本体と受けの位置が合っていない。	⇒ 雨戸錠の調整をしてください。(P.42参照)
	経年変化により鴨居が下がり、柱の傾きが生じ、上枠が下がったり、枠全体が傾いている。	⇒ 施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。
開閉時にきしみ音などの異音が生ずる。	戸車がレールに乗っていない。	⇒ 雨戸を一度外し、組込み直ししてください。
	雨戸が正常に組込まれていない。	
	下枠にゴミなどが付着している。	⇒ 清掃してください。
	戸車にキズ・磨耗・軸の変形などが生じている。	⇒ 施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。
	枠と雨戸部品(振れ止め・気密材)の擦れがある。	
	上枠・下枠レールにキズ・変形がある。	
経年劣化により鴨居が下がり、上枠が下がっている。		
鍵が掛かりにくくなった又は掛からない。	雨戸本体と受けの位置が合っていない。	⇒ 雨戸錠の調整をしてください。(P.42参照)
	雨戸錠本体・受けが破損している。	⇒ 施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。

全開口サッシ

現象・兆候	考えられる原因	対処方法
スムーズに開閉できない。	上枠カバーの位置が適切でない。	⇒ 施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。
障子突合せ部に隙間が見える。	上枠中央部が垂れ下がっている。	⇒ 施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。
雨切り弁を閉めた時に異音がる。	上枠カバーの位置が適切でない。	⇒ 施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。
網戸を閉めた時中央で閉め切れない。	ワイヤーテンションの調整不足。	⇒ 施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。
バリアフリータイプの下枠回転材が起き上がりづらい。	下枠アングル部を床材が押し付けている。	⇒ 施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。

たてすべり出し窓・すべり出し窓

現象・兆候	考えられる原因	対処方法
障子が閉まらない。	錠が破損している。	⇒ 施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。
	ハンドルの内部機構が破損・磨耗している。	
スムーズに開閉できない。	ステーにゴミなどが付着している。	⇒ 清掃してください。
	ステーにキズ・磨耗などが生じている。	⇒ 施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。
開閉時にきしみ音などの異音が発生する。	ステーにゴミなどが付着している。	⇒ 清掃してください。
	ステーにキズ・磨耗などが生じている。	⇒ 施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。
施錠時にロックが掛かりにくくなった又は掛からない。	ロック本体と受けの位置が合っていない。	⇒ 施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。
	ロック本体と受けが破損している。	
全閉施錠時に隙間風・ほこりなどが入る。	経年変化により柱が傾き、サッシ枠全体が傾いている。	⇒ 施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。
	経年劣化により気密材にねじれ・縮み・亀裂・ちぎれが生じている。	
全閉施錠時に枠と障子の隙間からしぶきが入る。	経年劣化により気密材にねじれ・縮み・亀裂・ちぎれが生じている。	⇒ 施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。

平行すべり出し窓

現象・兆候	考えられる原因	対処方法
スムーズに開閉できない。	アームにゴミなどが付着している。	⇒ 清掃してください。
	アームに磨耗・変形などが生じている。	⇒ 施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。
開閉時にきしみ音などの異音が発生する。	アームにゴミなどが付着している。	⇒ 清掃してください。
	アームにキズ・磨耗などが生じている。	⇒ 施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。
全閉時に隙間風・ほこりなどが入る。	経年変化により柱が傾き、サッシ枠全体が傾いている。	⇒ 施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。
	経年劣化により気密材にねじれ・縮み・亀裂・ちぎれが生じている。	
全閉時に枠と障子の隙間からしぶきが入る。	経年劣化により気密材にねじれ・縮み・亀裂・ちぎれが生じている。	⇒ 施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。

内倒し窓

現象・兆候	考えられる原因	対処方法
スムーズに開閉できない。	アームにゴミなどが付着している。	⇒ 清掃してください。
	アームに磨耗・変形などが生じている。	⇒ 施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。
開閉時にきしみ音などの異音がある。	アームにゴミなどが付着している。	⇒ 清掃してください。
	アームにキズ・磨耗などが生じている。	⇒ 施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。
トップラッチが掛かりにくくなった又は掛からない。	トップラッチ本体と受けの位置が合っていない。	⇒ 施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。
	トップラッチ本体と受けが破損している。	⇒ 施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。
全閉時に隙間風・ほこりなどが入る。	経年変化により柱が傾き、サッシ枠全体が傾いている。	⇒ 施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。
	経年劣化により気密材にねじれ・縮み・亀裂・ちぎれが生じている。	⇒ 施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。
全閉時に枠と障子の隙間からしぶきが入る。	経年劣化により気密材にねじれ・縮み・亀裂・ちぎれが生じている。	⇒ 施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。

オーニング窓

現象・兆候	考えられる原因	対処方法
スムーズに開閉できない。	アームにゴミなどが付着している。	⇒ 清掃してください。
	アーム・オペレーター装置に磨耗・変形などが生じている。	⇒ 施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。
開閉時にきしみ音などの異音がある。	アームにゴミなどが付着している。	⇒ 清掃してください。
	アーム・オペレーター装置に磨耗・変形などが生じている。	⇒ 施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。
全閉時に障子が完全に閉まり切らない。	オペレーター装置が破損している。	⇒ 施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。
全閉時に隙間風・ほこりなどが入る。	経年変化により柱が傾き、サッシ枠全体が傾いている。	⇒ 施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。
	経年劣化により気密材にねじれ・縮み・亀裂・ちぎれが生じている。	⇒ 施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。
全閉時に枠と障子の隙間からしぶきが入る。	経年劣化により気密材にねじれ・縮み・亀裂・ちぎれが生じている。	⇒ 施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。

ルーバー窓・ダブルルーバー窓

現象・兆候	考えられる原因	対処方法
スムーズに開閉できない。	羽根と枠の気密材が強く擦れている。	⇒ 施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。
	羽根・オペレーター装置に磨耗・変形などが生じている。	
開閉時にきしみ音などの異音がある。	ガラスホルダーと枠の気密材が強く擦れている。	⇒ 施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。
	連動板・オペレーター装置に磨耗・変形などが生じている。	
全閉時に羽根ガラスが完全に閉まり切らない。	オペレーター装置が破損している。	⇒ 施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。
全閉時に隙間風・ほこりなどが入る。	経年変化により柱が傾き、サッシ枠全体が傾いている。	⇒ 施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。
	経年劣化により羽根ガラスのシール材に剥がれが生じている。	

シャッター [電動・手動タイプ共通]

現象・兆候	考えられる原因	対処方法
シャッターが開かない。	錠を施錠したまま操作している。	⇒⇒⇒ 解錠してから操作してください。 (P.47参照)
	シャッターが凍結している。(冬季)	⇒⇒⇒ 溶けてから操作してください。
スムーズに開閉できない。	ケース内、ガイドレール、スラットに異物が挟まっている。	⇒⇒⇒ 異物を取り除いてください。 困難な場合は、施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。
	ガイドレール又はスラットが変形・錆ついている。	⇒⇒⇒ 施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。
	スラットがズレてる。	
	経年劣化によりモヘヤが磨耗している。	
開閉時にきしみ音などの異音がある。	ケース内、ガイドレール、スラットに異物が挟まっている。	⇒⇒⇒ 異物を取り除いてください。 困難な場合は、施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。
	ガイドレール又はスラットが変形・錆ついている。	⇒⇒⇒ 施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。
	スラットがズレてる。	
	経年劣化によりモヘヤが磨耗している。	
施錠できない。	錠が破損している。	⇒⇒⇒ 施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。

シャッター〔電動タイプ〕

現象・兆候	考えられる原因	対処方法
壁スイッチを入れても動かない。	連続運転によりモーターが加熱して、停止機構が働いた。	一旦スイッチを切り、10分程度休ませてから操作してください。
	ブレーカーが落ちている。	ブレーカーをONにしてから操作してください。
	停電。	通電してから操作してください。
	経年劣化により駆動機構・制御盤が故障している。	施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。
リモコンを操作しても動かない。	連続運転によりモーターが加熱して、停止機構が働いた。	一旦スイッチを切り、10分程度休ませてから操作してください。
	ブレーカーが落ちている。	ブレーカーをONにしてから操作してください。
	停電。	通電してから操作してください。
	リモコンの電池が消耗している。	電池交換をしてください。
	リモコンの操作範囲外で操作している。	操作範囲内で操作してください。
	リモコン信号受光部が塞がれている。	リモコン信号受光部を塞いでいる障害物を取り除いてください。
	リモコンが破損している。	施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。
リモコンの操作距離が短くなった。	リモコンの電池が消耗している。	電池交換をしてください。
開閉途中で止まる。	ケース内、ガイドレール、スラットに異物が挟まっている。	異物を取り除いてください。 困難な場合は、施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。
	経年劣化により駆動機構・制御盤が故障している。	施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。

片上げ下げ窓・上げ下げ窓

現象・兆候	考えられる原因	対処方法
全閉施錠時に障子がガタつく。(枠内で障子に遊びがある)	クレセント本体とクレセント受けの位置が合っていない。	⇒ 施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。
	振れ止めの位置が適切でない。	
	振れ止めが破損している。	
内障子の内倒しができない。又は、元の状態に戻せない。	内倒し部品が破損している。	⇒ 施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。
スムーズに開閉できない。	内障子を内倒し状態から元の状態に戻す際、正しい位置に組込まれていない。	⇒ 内障子を一度内倒し状態にし、組込みし直してください。(P.71参照)
	バランサーの調整が適切でない。	⇒ 施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。
	枠と障子部品(振れ止め・気密材)の擦れがある。	
	経年変化により柱が傾き、サッシ枠全体が傾いている。	
開閉時にさし音などの異音がある。	内障子を内倒し状態から元の状態に戻す際、正しい位置に組込まれていない。	⇒ 内障子を一度内倒し状態にし、組込みし直してください。(P.71参照)
	枠と障子部品(振れ止め・気密材)の擦れがある。	⇒ 施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。
	経年変化により柱が傾き、サッシ枠全体が傾いている。	
施錠時にクレセントが掛かりにくくなった又は掛からない。	クレセント本体とクレセント受けが破損している。	⇒ 施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。
全閉時に隙間風・ほこりなどが入る。	クレセント本体とクレセント受けが破損している。	⇒ 施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。
	経年変化により柱が傾き、サッシ枠全体が傾いている。	
全閉時に枠と障子の隙間からしぶきが入る。	経年劣化により気密材にねじれ・縮み・亀裂・ちぎれが生じている。	⇒ 施工店・販売店又はハウスメーカー様に修理を依頼してください。

各部の名称

■高級窓手摺(サンフラワーひまわり)



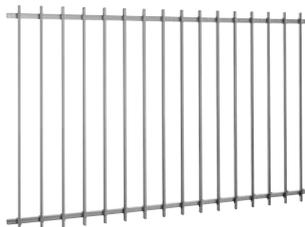
■花台(サンフラワー窓花)



■窓手摺



■面格子



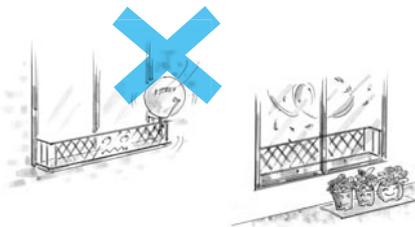
ご使用上の注意とお願い

安全使用のお勧めポイント

- パラボナアンテナなど、手摺に他の器具を取付けないでください。
- 面格子は、防犯性を高めますが、夜間、就寝時、外出時には必ずサッシの施錠をしてください。
- 風の強い時は、手摺の上に花など置かないでください。風で飛ばされると事故につながります。

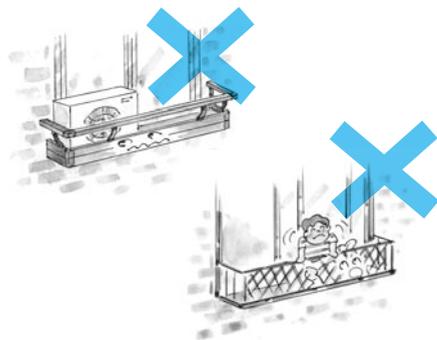
⚠️ **注意**

お願い



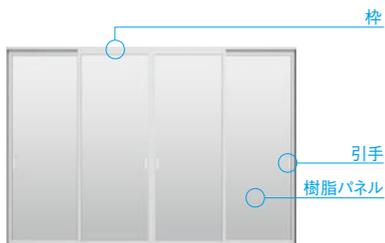
ケガの防止

- 花台には絶対に乗らないでください。また、エアコンの室外機等の重量物を置かないでください。無理な重さをかけると、落下・転落につながるおそれがあります。
- 窓手摺に、無理な力をかけないでください。強度を配慮して設計・製作されていますが、人が乗ったり、身を乗り出す等無理な力が加わると、落下・転落のおそれがあります。
- 窓手摺や花台にロープやはしごをかけるなどして、荷物を上げ下げしないでください。無理な重さをかけると落下・転落につながるおそれがあります。
- ボルト、ナット、ネジなどは決してゆるめないでください。手摺や花台がはずれるおそれがあります。

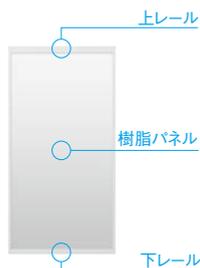


各部の名称

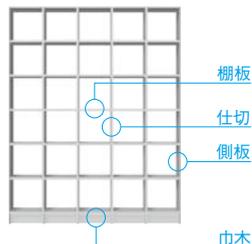
■引戸



■固定間仕切り



■飾り棚

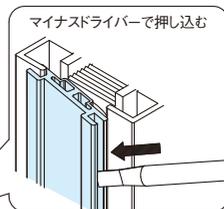
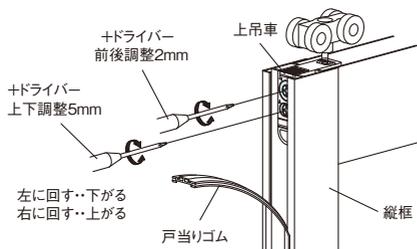


引戸の調整方法

戸車の調整

■上戸車の調整 [上吊りタイプ]

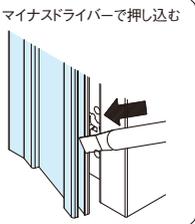
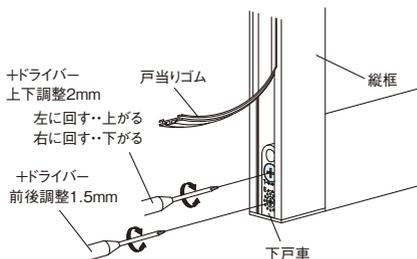
- ① 障子本体を取付け後、上下のチリが合っていない場合は戸当りゴムを剥がして図のように上戸車の調整ねじを回して上下のチリを調整してください。
- ② 上下のチリを調整後、戸当りゴムを元に戻してください。



※戸当りゴムを戻す時はゴムの片側を先にはめ込みもう片側を図のように溝に当ててマイナスドライバーで押し込むように入れてください。

■下戸車の調整 [レールタイプ]

- ① 障子本体を取付け後、上下のチリが合っていない場合は戸当りゴムを剥がして図のように下戸車の調整ねじを回して上下のチリを調整してください。
- ② 上下のチリを調整後、戸当りゴムを元に戻してください。



※戸当りゴムを戻す時はゴムの片側を先にはめ込みもう片側を図のように溝に当ててマイナスドライバーで押し込むように入れてください。

各部の名称

■アルミ階段

直線階段



らせん階段



U型階段



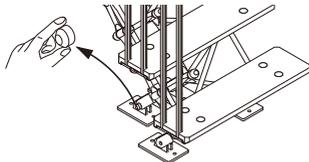
L型階段



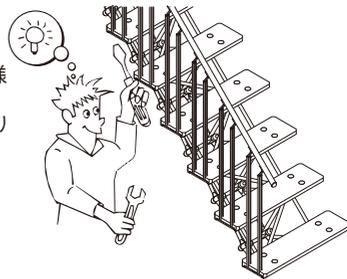
ご使用上の注意とお願い

⚠ 注意

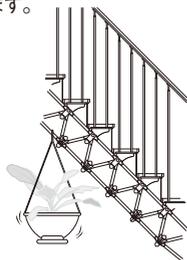
- ① ボルト、ビス、キャップ木栓を取り外さないでください。破損や故障の原因となります。



- ② 絶対に分解、改造、仕様変更はしないでください。事故、故障の原因となります。



- ③ 本体チューブに物をぶらさげたり、プランター等をぶらさげたりしないでください。転落、脱落により事故が発生するおそれがあります。

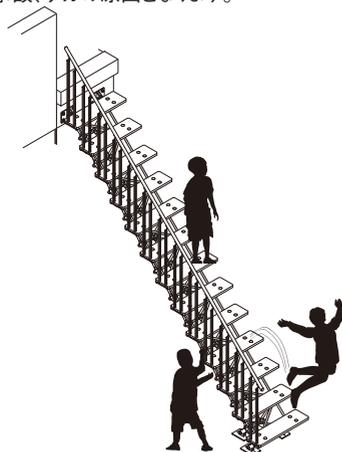


- ④ 手摺の上に乗ったり、ぶらさがったりしないでください。転落、脱落により事故が発生するおそれがあります。

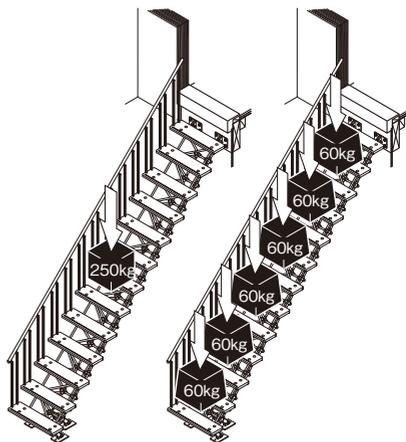


⚠ 注意

- ⑤ 階段の上で飛んだり跳ねたり、下で遊ばないでください。また、パイプの隙間に頭や手足を入れないでください。事故、ケガの原因となります。



- ⑥ 階段中央で250kg以上、階段上でトータル360kgでの昇降はしないでください。事故、故障の原因となります



ご使用上の注意とお願い

お願い

ご使用前のチェックポイント

- 踏台になるような物の上に乗るとバルコニー・手摺から落下する危険があります。特にお子様には充分にご注意ください。



- 床に洗濯機等の重量物(総荷量150kg以上)を乗せないでください。バルコニーが変形したり、建物をいためます。



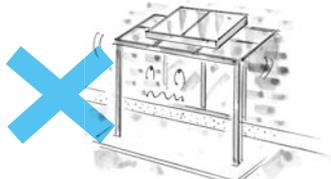
- バルコニー・手摺にロープを掛けて荷物など上げ下げしないでください。



- バルコニーの床で縄跳びや日曜大工等で強い衝撃を与えないでください。



- テラスの屋根の上に温水器等の物を乗せないでください。



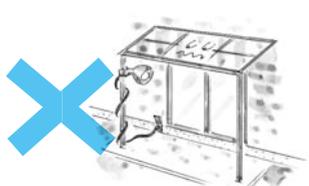
- サンルーム(テラス囲い)の床に制限荷重(180kgf/m²)以上の重さを掛けないでください。



- 屋根に乗ったり、ハシゴをかけたりしないでください。屋根材が割れたり、足を滑らせたりすると危険です。



- バルコニーやテラスに電線を巻き付けしないでください。電線線などを巻付けると感電することがあります。



- スリットラインやデュアルライン等の格子パネルによじ登ったり、揺ったりむやみに衝撃を加えるようなことはしないでください。

バルコニー・テラス・テラス囲い サンルーム・手すり

ご使用上の注意とお願い

お願い

ご使用前のチェックポイント

- 年に一回、ネジやボルトのゆるみがないかを確認してください。
- 屋根材(ポリカーボネート板・アクリル板・波板)が汚れた場合は、やわらかい布をぬるま湯又は水で濡らしてご清掃ください。
なお、有機溶剤系クリーナー、シンナー、殺虫剤(スプレー式)等は屋根材(ポリカーボネート板・アクリル板・波板)にヒビ割れや変形・変色破損等を起こしますので、使用しないでください。
- テラス屋根やサンルーム屋根は、商品名やタイプにより積雪に対する強さが違いますので、取り付け際には商品名・タイプをご確認ください。下記の商品名やタイプ別の「雪おろし目安」を参照して、必ず雪おろしをしてください。雪おろしをしませんと、雪の重さで屋根材の破損や変形・倒壊など建物をいためたり、人身事故の恐れがあります。
- 物干しには合わせて15kg以上のものをかけないようにしてください。

テラスやテラス囲いの屋根に積もった雪は、「雪おろし目安」を超える前におろしてください。

- ①一般地域用(JIS規格600形相当)
 - 雪おろし目安は積雪20cm
- ②積雪地域用(JIS規格1500形相当)
 - 雪おろし目安は積雪50cm
- ③多積雪地域用(JIS規格3000形相当)
 - 雪おろし目安は積雪100cm



サンルーム屋根の積雪が30cmを超える前に必ず雪おろしをしてください。

- サンルームの積雪の単位重量は、積雪1cm当り2kgf/m²(建築基準法による)とした場合です。



バルコニー床面の積雪が20cmを超える前に必ず雪おろしをしてください。

結露について

- 室内と室外の温度差がはげしい場合、結露が発生しますので換気を充分に行ってください。
- 冬季の夜間は温度が下がり、ヒーターが必要になります。火の元にご注意ください。



お手入れ方法

鋼板製商品(鏡板・雨戸パネル)

鋼板製商品(鏡板・雨戸・シャッターボックス・出窓屋根・受台・底板カバー)の表面には、二重焼付・二重塗装を施しています。耐候性・耐食性には万全の配慮をしておりますが、アルミサッシと同じように定期的なお手入れをしてください。

※特に海岸沿いの立地条件の場合は、1週間に1回程度水洗いをして塩分を洗い流してください。

鋼板製品の敵は腐食

- 鋼板製品は、表面に二重焼付塗装を施し、腐食に対して十分な配慮をしています。しかし、鋼板にはどうしても腐食に弱い性質があるため、表面に付着した汚れは早めに落とすように心掛けてください。

お手入れ方法

- ① 表面に付着した砂やほこりを丁寧に取り除きます。
- ② 汚れは、柔らかな布・スポンジ等で水洗いにより、洗い落してください。水洗いで落ちない汚れは、食器用中性洗剤をぬるま湯で薄めて、柔らかい布などを使って洗い落してください。
- ③ 洗剤使用後は、十分に水洗いをし、乾いた布で水分を拭取ってください。



お手入れのご注意

- ベンジン・ガソリン・アセトン・シンナー等の有機溶剤は絶対に使用しないでください。
- 鋼板の表面は傷つきやすいので、掃除の際は、柔らかい布・スポンジ等を使用し、金属たわしや金ペラの使用は避けてください。
- もし、キズや腐食が発生した場合は、洗剤を付けたスコッチブライトまたはサントペーパー(#600)で表面を軽くこすり、腐食生成物を除去します。水洗い後、その表面にアクリル系の塗料(市販品)を塗布して補修してください。



鋼板ドア表面材

お手入れのご注意

- ① 流水を掛けながら、表面に付着した砂や泥を柔らかい布・スポンジ等で丁寧に取り除きます。
- ② 水洗いで落ちない汚れは、食器用中性洗剤をぬるま湯で薄めて、柔らかい布などを使って洗い落してください。
- ③ 洗剤使用後は、十分に水洗いをし、乾いた布で水分を拭取ってください。



お手入れのご注意

- 長期間、清掃しないままにしておきますと、表面に付着した汚れは、しみや腐食の原因となります。汚れが軽いうちに清掃してください。特に海岸地帯や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスによる汚損が進みやすいので、水洗いを行いこまめにお手入れしてください。
- ベンジン・ガソリン・アセトン・シンナー等の有機溶剤は絶対に使用しないでください。
- 鋼板の表面は傷つきやすいので、掃除の際は、柔らかい布・スポンジ等を使用し、金属たわしや金ペラの使用は避けてください。

アルミ製商品

いつまでも美しく商品をお使いいただくために、それぞれの性質に応じた方法で、定期的なお手入れが必要です。

お掃除はなるべくマメに

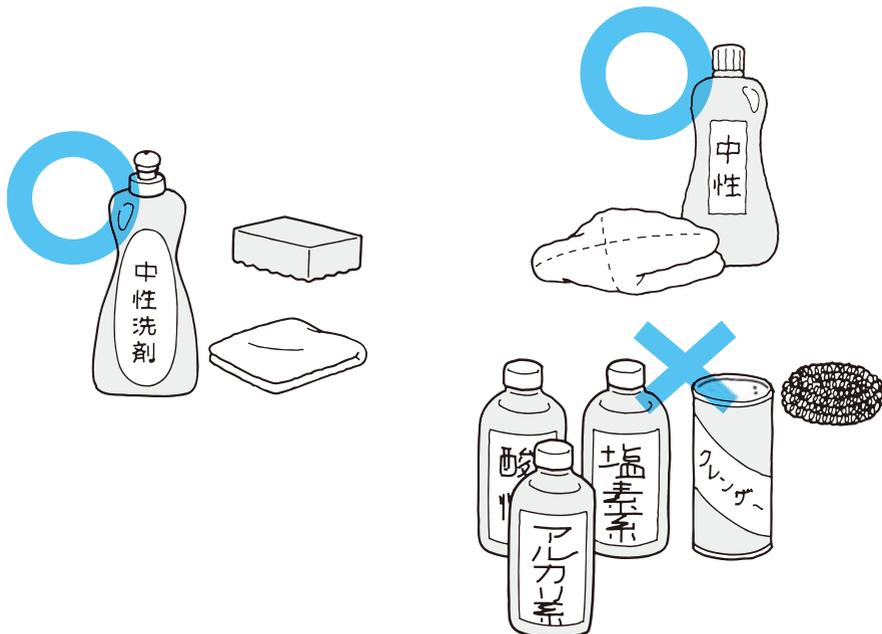
アルミは比較的腐食しにくい材質ですが、それでも砂、ほこり、塩分などがついたまま長いあいだ放置しておく、空気中の湿気や雨水の影響を受けて、腐食が発生する原因になります。汚れが軽いうちに清掃してください。清掃の目安は、少なくとも年に1~2回程度です。特に海岸地帯や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスによる汚損が進みやすいので、こまめにお手入れしてください。

お手入れ方法

- ① 表面についた砂やほこりをていねいに取除きます。隅の清掃は歯ブラシを利用すると便利です。
- ② 水でぬらした柔らかい布又はスポンジで全体の汚れを拭き取ります。特に汚れがひどい場合は、中性洗剤を薄めた液で汚れを落とし、そのあと水洗いします。
- ③ 最後に、かたく絞った柔らかい布又はスポンジで全体を拭き取ります。

お手入れのご注意

- 洗剤や薬品は、中性のものを使用してください。酸性薬品、アルカリ性薬品、塩素系薬品、及びアルコール以外の有機溶剤はアルミサッシやステンレスなどの金属部分を腐食させたり、塗膜はがれを引き起こしますので、絶対に使用しないでください。
 - お手入れの際には柔らかい布又はスポンジなどを使い、ワイヤーブラシやサンドペーパーのご使用はさけてください。
 - 表面の光沢やツヤが落ちてきた時には自動車用ワックス(研磨材の少ないもの)を使いメンテナンスを行ってください。光沢やツヤが回復します。
- ① ホワイト色にはホワイト専用のワックスをお使いください。
 - ② ブロンズ色にはホワイト以外のワックスをお使いください。
 - ③ ツヤ消しのアルミサッシには表面のツヤにムラができますのでワックスは使えません。
- マジックインクなどが附着した時にはアルコールで軽くこすって除去してください。



樹脂シートをラミネートした商品

お手入れ方法

- ①表面に付着した砂やほこりを丁寧に取り除きます。
- ②汚れは、柔らかな布・スポンジ等で水洗いにより、洗い落してください。水洗いで落ちない汚れは、食器用中性洗剤をぬるま湯で薄めて、柔らかい布などを使って洗い落してください。
- ③洗剤使用後は、十分に水洗いをし、乾いた布で水分を拭取ってください。



お手入れ方法

- ベンジン・ガソリン・アセトン・シンナー等の有機溶剤は絶対に使用しないでください。
- 樹脂シートをラミネートした商品の表面は傷つきやすいので、掃除の際は、柔らかい布・スポンジ等を使用し、金属たわしや金ペラの使用は避けてください。
- キズや腐食が発生した場合は、洗剤を付けたスコッチブライトまたはサントペーパー(#600)で表面を軽くこすり、腐食生成物を除去します。水洗い後、その表面にアクリル系の塗料(市販品)を塗布して補修してください。

樹脂サッシ(PVC)

取扱いのご注意

- ストーブやアイロンなどの高温物や高熱源の器具等を接触させたり、近づけないようご注意ください。接触したり近づけると、商品が変形する恐れがあります。サッシと高熱器具等の距離を十分にとってください。
- 通常の使用には充分耐えられる構造になっていますが、部分的に衝撃を与えますと、破損したりキズが付く恐れがありますので、乱暴な取扱いは避けるようにしてください。



お手入れ方法

- ①サッシに付着した媒煙や土ほこり等をやわらかい布で拭き取ってください。強く拭きますと、付着している砂等でサッシ表面にすりキズを付けることがありますので、丁寧に拭きとってください。落ちにくい汚れは中性洗剤をぬるま湯でうすめて、やわらかい布かスポンジで洗ってください。洗剤を使用した部分は真水で洗い流してください。
- ②特にサッシの下レール(下枠)は砂や泥・ほこりが溜まりやすいところです。掃除機やハケなどで砂やほこりを取り除き、落ちにくい汚れはサッシと同様に中性洗剤を用いて洗い、その後水洗いをしてください。



お手入れのご注意

- 市販の中性洗剤を1~2%に薄めてご使用ください。
- 家具・床などに使用する溶剤系洗剤のクリーニング剤や、便器・タオル洗剤などの酸性・アルカリ性の洗剤は、表面の皮膜をおかしますので使用しないでください。
- みがき粉、たわし等の固いもので擦らないでください。
- 汚れを落す時、ワイヤーブラシ、金属製たわし、金ペラなどは避け、布やスポンジなどのやわらかい物を使用してください。また、アセトン・ケトンなどの有機溶剤の使用は避けてください。



お手入れ方法

網戸

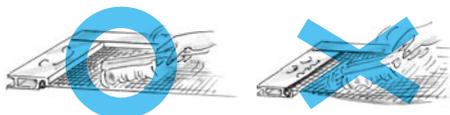
お手入れ方法

- ① 網戸を外し、土ほこり等をはたきで落とし、網の張ってある側を下にして床に置きます。
 - ② 汚れは、柔らかな布・スポンジ等で水洗いにより、洗い落してください。水洗いで落ちない汚れは、食器用中性洗剤をぬるま湯で薄めて、柔らかい布などを使って洗い落してください。
 - ③ 洗剤使用後は、十分に水洗いをし、乾いた布で水分を拭取ってください。
- 網戸の框は、サッシのお手入れと同じ方法で行ってください。



お手入れのご注意

- 網を張ってある側を上にしたたり、立て掛けてそのまま洗うと、網が押されてゆるんだり、破れたりするおそれがあります。ので必ず網の張ってある側を下にして清掃してください。



横引きロール網戸・バランサー網戸・アコーディオン網戸・ロール網戸

お手入れ方法

- ① ネットを引き出し、土ほこり等をはたきで落としてください。
- ② 汚れは、柔らかな布・スポンジ等で水洗いにより、洗い落してください。水洗いで落ちない汚れは、食器用中性洗剤をぬるま湯で薄めて、柔らかい布などを使って洗い落してください。
- ③ 洗剤使用後は、十分に水洗いをし、乾いた布で水分を拭取ってください。

※ ネットのブリーツ加工は、クシャクシャになっても開閉することにより元にもどります。(洗った後は、しばらく収納させておいてください。)

お手入れのご注意

- 酸性・アルカリ性の洗剤は使用しないでください。また、サンドペーパーやワイヤーブラシ等も使用しないでください。商品にキズが付きシミや腐食の原因になります。

お手入れ回数

地域別お手入れ回数の目安

- アルミ商品は、長期間、清掃しないままにしておきますと、表面に付着した汚れは、シミや腐食の原因となります。汚れが軽いうちに清掃してください。清掃の目安は、少なくとも月に2～3回程度です。特に沿岸地帯や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスによる汚損が進みやすいので、水洗いをこまめにお手入れしてください。



地域	回数
臨海工業地帯	月に2～3回
工業・商業・温泉地帯	月に2回
海岸・街道地帯	月に1～2回
田園・山間地帯	月に1回

アルミ建材商品

部材部品が破損した場合

- 戸車や錠などメーカー部品を破損・紛失した場合は、アルミ建材取扱い販売店にご連絡ください。お届け、お取替えいたします。(有料)
ご連絡の際には、商品に貼ってある商品名・機種名を必ず確認してご連絡ください。
納期については、販売店にご確認ください。



台風災害防止のための注意事項

台風時には、サッシの性能(耐風圧性、水密性など)を超える暴風雨となることもありますので、暴風雨圏に入る前に事前の対策を図ることが必要です。

- 必ずご確認ください。
台風、暴風雨等の異常気象が予測される場合、出入口や窓が確実に閉鎖・施錠されているかどうか確認してください。
また、台風・暴風雨等の経過後、出入口や窓に不具合がないかどうか確認してください。
- 万一、不具合が発見された場合、不具合の状況をサッシ販売店へご連絡ください。

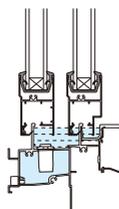
雨水浸入とは

保証内容

取扱い説明書、本体貼付けラベル、又はその他の注意書きに基づく適正な使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、P.119に例示する免責事項を除き無料修理いたします。なお、降雨によりサッシ下枠に雨水がたまることがあります。これは商品上の特性であり不具合ではありません。不具合といえる雨水浸入は、サッシ枠を越えて室内に雨水が流れ出たり、あふれ出たりすることです。

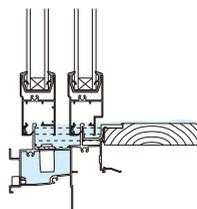
下枠に水を溜めて水密性を保つ構造

降雨により下図の様な状態になることがありますが、サッシの下枠に雨水が溜まることは商品上の特性であり雨水浸入ではありません。



雨水浸入とは…

サッシの下枠を越えて室内に雨水が入ることです。



汚れの程度と清掃方法

汚れの程度	対象商品	用具及び洗剤	清掃方法	備考
軽度の汚れ	サッシ関係 (サッシドア枠等のアルミ材)	クリーナー(注2) 中性洗剤(注1)	クリーナー又は中性洗剤を含ませた布で筋目方向に表面を軽くこすって汚れを除去した後、水洗いし乾拭きします。	<ul style="list-style-type: none"> ●一定方向にこすります。 ●コーナー部を過度にこすらないようご注意ください。 ●虹模様の時も同様にしてください。
	塗装仕上げ (鋳物製品・ホワイト色商品 雨戸・鏡板の面材等)	やわらかい布等と 中性洗剤(注1)	中性洗剤を含ませたやわらかい布などで表面の汚れを除去して、水洗いし乾拭きします。	<ul style="list-style-type: none"> ●ベンジン・トルエン等の有機溶剤は塗料等の表面を溶かすので使用しないでください。
	樹脂商品 (樹脂サッシ等)	やわらかい布等と 水	水をつけたやわらかい布などで表面の汚れを除去してください。	
	木目調商品 (ラミネート仕上げ)			
汚れが目立つ場合	樹脂商品 (樹脂サッシ等)	やわらかい布等と 中性洗剤(注1)	中性洗剤を含ませたやわらかい布などで表面の汚れを除去して、水洗いし乾拭きします。	<ul style="list-style-type: none"> ●みがき粉、たわし等の固いものでこすらないでください。
	木目調商品 (ラミネート仕上げ)			
	玄関ドア・引戸等の錠セット	やわらかい布等と 中性洗剤(注1)	中性洗剤を含ませたやわらかい布で拭いて汚れを除去した後、水を含ませたやわらかい布で中性洗剤を拭き取ります。最後に乾いた布で水分を拭き取ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●酸やアルカリや塩素等の化学薬品は使用しないでください。 ●拭くときはゴシゴシこすらないでください。
汚れが著しく 腐食(点食) を含む場合	サッシ関係 (サッシドア枠等のアルミ材)	スコッチブライト (注3)	スコッチブライトで表面をこすり、汚れ、腐食生成物を除去した後、乾拭きしアクリル系の塗料を塗布し、補修してください。	<ul style="list-style-type: none"> ●一定方向にこすります。 ●コーナー部を過度にこすらないよう注意してください。塗料で補修する前に表面をきれいに清掃してください。
	塗装仕上げ (鋳物製品・ホワイト色商品 雨戸・鏡板の面材等)	スコッチブライト(注3) サンドペーパー#600 中性洗剤(注1)	洗剤をつけたスコッチブライト又はサンドペーパーで表面を軽くこすり、汚れや腐食生成物を除去し水洗い後、その表面にアクリル系の塗料を塗布し、補修してください。	<ul style="list-style-type: none"> ●塗料で補修する前に表面をきれいに清掃してください。

(注1)・・・例えばママレモン、チャーミーグリーン(ライオン)、ファミリーフレッシュ、モア(花王)の1%～2%水溶液

(注2)・・・例えばイージーシャイン(日本シーベケミカル)

(注3)・・・スコッチブライト(住友スリーエム)の粒度はウルトラファイン

内装建材(床材)

家具やファブリックと調和した美しい床面は、インテリアの基本です。心地よい空間をいつまでも長く保つために、床材のお取り扱いにご留意ください。

⚠️ 注意

長時間濡れたままにしておくと、ヒビ割れやシミ、変色のもとに…

- 観葉植物などの鉢には、必ず水受け用の皿を敷いてください。
- 窓や縁側からの雨の吹き込み、結露による水滴などに注意してください。
- 水が飛び散りやすい台所や洗面所周辺などでは、床面にマットを敷いて保護してください。



ホットカーペットやエアコンなどの熱に注意

- ホットカーペットや温風ヒーターをご使用の際は、床材との間に断熱性のあるシートやカーペットなどを敷いて保護してください。
- エアコンや強制排気型の暖房装置などを連続使用する場合は、加湿器などで湿度を調整してください。望ましい湿度は45～70%です。



椅子やテーブルなどの移動はキズや破損の原因になることも…

- キャスター付きの椅子などを使用するときには、必ずカーペットなどを敷いて床面を保護してください。
- 一般の家具や椅子の場合も、カーペットなどを敷くか、足元をフェルトまたはゴムキャップ等で保護するようにしてください。



直射日光が長時間当たると日焼けによる変色やヒビ割れが…

- カーテンやブラインドなどで直射日光をできるだけ遮るようにしてください。



床の伸び縮みについて

- 床材は、空気中の湿度が高いと湿気を吸収して伸び、乾燥してくると湿気を出して縮む性質を持っています。
- 冬場、エアコン暖房などを長時間連続して使用すると室内が過度に乾燥し、床材の継ぎ目部分に若干の隙間がができてたり、表面割れを生じたりすることがあります。
- 加湿器などを併用して適度な湿気を補うようにしてください。また、加湿器を使用する際には、水漏れ等で床面を傷めることのないようにご注意ください。



日常のお手入れは…

- 乾いた雑巾や化学雑巾でカラ拭きが基本です。濡れ雑巾は使用しないでください。
- ワックスが塗られている場合には、化学雑巾で水に濡れた床面を拭くとワックスが白っぽくなってしまいますので避けましょう。



ひどい汚れには…

- カラ拭きでゴミやホコリを取り除いたあと、水に濡らした雑巾や床用洗剤または中性洗剤を含ませた雑巾で汚れを拭き取ってください。(なるべく床面に水分が浸透してしまわないよう、雑巾はしっかりと絞ります)



半年に1度はワックスがけを!

- 床の美しさを長持ちさせるには、定期的にワックスがけを行うのがおすすめです。ワックスがけは、天気の良い日に、部屋の窓を開けて十分な換気を行った状態で行います。床表面のゴミ、ホコリ、汚れを取り除いたあと、水で薄めた中性洗剤を使って拭き取り、最後に水拭きします。床が完全に乾いたらワックスをきれいな雑巾に含ませ、軽く絞ってから木目の方向に沿ってムラなく塗り、完全に乾燥するのを待ちます。



アルミインテリア建材(アルミ階段)

■商品をいつまでも美しくお使いいただくためには、日頃のお手入れが必要です。

- アルミはスチールなどと比べ、サビにも強く、管理の手間や維持費のかからない素材です。そのうえ当社では、JIS規格を十分にクリアした表面処理を施しております。木樹脂は、スチールなどの金属のように錆びる心配がなく、管理の手間のかからない素材です。しかし、どちらも表面に付着した汚れを長時間放置しておくとう変色などの腐食の原因となることがあります。定期的な手入れにより商品をいつまでも美しく保つことができます。

アルミのサビの原因は……

- アルミのサビの原因のほとんどが大気中の汚れが原因になっています。大気中に含まれるほこりやばい煙(すす)、鉄分などの金属粉、亜硫酸ガス(自動車の排気ガス)、海塩などが主なものです。これらがアルミ表面に付着し、そのまま長時間放置されると空気中の湿気や雨水の影響を受けて腐食させてしまう場合があります。



お手入れの方法

- アルミ製商品や木樹脂商品の腐食を防ぐ効果的な方法は、定期的な水洗いです。年に数回の水洗いと乾拭きをおこなうだけで大きな効果が得られます。汚れのひどい工業地帯や海岸の近くなどでは、状況によりお手入れの回数を増やしてください。

汚れが軽い場合

- やわらかい布かスポンジで水洗いした後に乾拭きをしてください。



汚れがひどい場合

- 中性洗剤を薄めた液で汚れを落とし、洗剤が残らないように水洗いした後に乾拭きをしてください。

汚れが著しくサビがでている場合

- 薄めた中性洗剤をつけたスコッチブライトか目の細かい紙ヤスリで軽くこすり、汚れやサビを取り除き水洗いした後に乾拭きしてください。



アルミニウムインテリア建材(アルミ階段)

アルミ型材用補修塗料

- 表面にキズが付いてしまった場合の補修用としてご利用いただけます。タッチペン式、スプレー式など各色あります。当社営業窓口にお問い合わせください。

お手入れの際のご注意

- お手入れには布やスポンジなどの柔らかいものを使用してください。金属ブラシ、金ペラ、スチールウール、目の粗い紙ヤスリ等は使用しないでください。
- 洗剤は中性洗剤を薄めて使用してください。角や隅に洗剤が残ると腐食の原因になりますので、よく拭き取ってください。
- 濃酸、濃アルカリ、シンナー、ベンジンなどの有機溶剤や石油類などは使用しないでください。腐食、変形や割れの原因となります。



耐風圧性[StructureのS]

強風など内外からの力に対してどの程度耐えられるかを示す性能



- 耐風圧とは、均一に力が加わることを想定しているため、飛来物等である箇所に集中的に力が加わった場合は破損することもあります。

一般的な戸建て住宅の耐風圧性

1階窓…S-1(80)等級[80kgf/㎡ 風速36m/s程度]

2階窓…S-2(120)等級[120kgf/㎡ 風速44m/s程度]

3階窓…S-3(160)等級[160kgf/㎡ 風速50m/s程度]

程度の性能となります。

ただし、これはあくまで目安であり、住宅の立地条件(山の上などの高い場所に建っているなど)により性能は異なってきます。

また、台風や強風で窓中央が風によって押され、変形したり元に戻ったりする状態が見られることがありますが、風がおさまった時に元の状態に戻ります。



気密性[AirのA]

サッシの隙間からどの程度の空気の出入りがあるのかを示す性能

風が吹くと室内外に気圧差が生じ、気密部品の接触部分から隙間風が生じます。この隙間風を規制する性能を気密性能といいます。ただし、日本工業規格(JIS)では、空気の出入りを遮断しなければならないとの規定はしていません。

一般的に住宅用引違い窓の気密性能はJIS等級では、A-3(8)等級、断熱サッシでは、A-4(2)等級が必要です。

A-3(8)等級とは、風速4m/s程度の風(=木の葉や小枝が休みなく動く程度の強さ)が正面から窓に当たっている時に窓表面1㎡あたりに1時間8m³(=1辺が2mの立方体)以下の空気が出入りする性能です。サッシの隙間から出入りする空気の量が少ない方が性能が良いということになります。



水密性[WaterのW]

屋内への雨水浸入をどの程度防げるかを示す性能



- 降雨時にサッシの下枠に雨水が溜まることありますが、これは一般的なサッシの構造上、水密性能を保持するために必要なことであり、不具合ではありません。(P.107参照)

一般的に戸建ての場合に必要な性能は、JIS等級では目安としてW-2(15)、W-3(25)等級が必要になってきます。W-3(25)等級は、1時間あたり240mmの降雨時に風速16m/s程度の風が吹いてもサッシから雨水浸入がないということです。また、気象庁からの天気概況で風速が性能表示以下であったとしても、住宅の立地条件(近隣住宅の配列や高さ、道路の状況、立ち木や塀の位置など)により局所的に発表数値を超えれば、屋内への雨水浸入が考えられることとなります。

水密性の等級は、過去の気象データを見ると、一般的に「風が強いと雨が少なく」・「雨が強いと風が弱い」という傾向が見られるため、耐風圧性の風圧より低く設定してあります。



遮音性[TransmissionのT]

屋内・外への音の出入りをどの程度遮断することができるかを示す性能



注意

- 遮音性は、ガラスの厚さによって変わりますので、指定の厚さ未満のガラスを使用すると本来の性能がでないことがあります。
- 室内の騒音レベルを低くする簡単な対策として、室内に厚地のカーテンやじゅうたんなど、吸音効果のあるものを使用すると効果的です。

防音に配慮した戸建て住宅では、一般的にJIS等級での目安としてT-1(25)、T-2(30)、T-3(35)等級性能の窓が使用されます。

例えば、T-2(30)等級だと、外部が80dB(幹線道路の交差点・極めてうるさい)あった場合、内部では、50dB(静かな事務所・日常生活で望ましい範囲)以下になるということになります。

これは、あくまでも基準としての窓の遮音性能であり、カタログなどに記載していますが、お住まいで実測する数値とは異なります。



断熱性[HeatのH]

屋内の熱移動をどの程度抑えることができるかを示す性能

日本工業規格(JIS)では、窓の断熱性能について、H-1(0.22)、H-2(0.25)、H-3(0.28)、H-4(0.34)H-5(0.43)等級の5段階が設定されています。等級が大きくなるほど、断熱性能に優れている窓となります。

断熱性能を表す数値として、熱貫流抵抗が使われます。

熱貫流抵抗とは、熱貫流率の逆数(1/熱貫流率)で熱の移動のしにくさを表しています。熱貫流抵抗が大きいほど熱が移動しにくいので、断熱性能が優れているということになります。

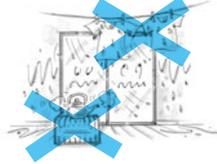
また、断熱性能の基準としては日本工業規格(JIS)による基準以外に国土交通省による告示があります。



窓等に起こりえる現象とその対策

結露について

- 結露が発生した場合、床や壁の汚損防止、木部の腐食防止のために、十分に拭き取ってください。
- 窓ガラスやサッシ部分の結露は、室内外の温度差が大きく室内の湿度が高い場合に、季節を問わず発生します。一般には、秋冬の季節は暖房により結露が一層発生しやすく、乾燥防止のために加湿機をご使用の場合は、さらに結露が発生しやすい状況になります。
- 特に新築の家には、使用した木材などの建材に水分が含まれているため、冬の暖房時に、地域によっては乾燥しやすい時期にその水分が放出されやすい室内環境になり、結露が発生しやすくなります。



対処方法

- ①こまめに換気して室内の水分を含んだ空気を排出してください。
- ②室内で洗濯物を干さないでください。
- ③水蒸気を室内に放出する石油ストーブなど、開放型暖房機の使用を控えると効果的です。

窓開閉時のすきま風について

- 障子を閉めきった時に、風が吹くと、室内外に圧力差(気圧差)が生じて気密部品(空気の入りを防ぐ部品)の接触部分から空気が出入りし、これがすき間風になります。
- 換気扇を使用した場合も同様で、強制的に空気を室外に排出することになるので、気密部品と枠または窓の接触部分から空気が入り、すき間風になることがあります。

対処方法

- すき間風がかなり激しいと感じられる場合、窓各部の調整不足や経年による劣化・損耗・縮みなどが考えられます。調整については取扱説明書等をご参照ください。

強風時、換気扇使用時の窓の音鳴り現象について

- 窓やドアを閉めきった状態で換気扇を使用した場合、強制的に空気が室外に排出されると共に、同じ量の空気が窓のすき間などから室内に入り込もうとします。その時、気密部品同士、または窓枠や障子との接触部分を通りぬける空気が笛のような音を発生する場合があります。口笛と同様にすき間の形状・大きさや空気の流速などの条件が合致すると発生し、これを笛鳴り現象(風切り音)と言います。

対処方法

- このような現象は、自然現象のひとつであり、完全になくすことはできませんが、一般的に窓各部の調整が不十分である時にも生じると考えられます。取扱説明書等を参照し、調整してください。なお調整しても笛鳴りが治まらないときは、室内の建具を少し開けたり、窓に換気小窓がついている場合は、少し(50mm程度)開けるなどして、空気の吸入口を確保していただくと音が静かになります。
- 強風時、また、高層マンションのように常時風が吹き抜ける所においても、換気扇を使用したときと同様に笛鳴り現象を起こすことがあります。換気扇使用時の対策と同様の方法で音を小さくすることができます。

住宅用ドア(引戸含む)の音鳴り現象について

- 住宅の玄関ドアに太陽光が当たると、パキパキ、ギシギシ、コーンなどの異音が発生することがまれにあります。これは、太陽光を直接受けて温度上昇が生じる室外側と、太陽光を受けない室内側とで表面の温度差が生じ、この温度差に伴う熱膨張の差で生じる室内外面のわずかなゆがみと、縦、横の大小の構成部材間の異なる熱膨張とが重なって生じる摩擦が原因です。
- このような音の発生現象は、特に春先や秋口など外気温が低い時期に、玄関に陽が当たるとまれに発生することがありますが、立地条件や季節、使用材料の特性(熱伸び率の差)などの違いにより起きる不可抗力現象であり、ドアの不具合によるものではなく、また必ず発生するものでもありません。

対処方法

- 音は陽が高くなって外気温が上がったり、陽がかげたりすれば自然に止まりますが、繰り返し発生するなど気になる場合はお取扱いの建築会社様、工務店様または販売店様にご連絡ください。

二重サッシの雨水浸入防止について

- 二重サッシは、外窓と内窓により、気密効果、断熱効果を高めた窓ですが、雨水の浸入防止は外窓で行いますので、雨降りの場合は、必ず外窓を開けて施錠してください。
- 外窓を開けたままにして、内窓だけを閉めると、窓下枠に吹き込んだ雨水が壁内や室内へ浸入するおそれがあります。

玄関ドア等からの雨水の浸入防止について

- 強風雨時など、玄関ドア・玄関引戸または勝手口ドア・勝手口引戸から雨水が浸入することがあります。
- 玄関はポーチ屋根により通常の風雨を防げること、玄関は居室と違い土間がタイルなどで仕上げられ、濡れても問題ではなかったことなどから、玄関および勝手口(土間納まり)の出入り口に使用されるドア・引戸には、居室に使用される窓と同等の水密性能はJISでは要求されていません。また、ドア・引戸の施錠機構は、窓に採用されているような、窓枠と障子を密着させて雨水浸入を防止する引き寄せ構造にはなっていないのが一般的です。
- 玄関のポーチ屋根の大きさ、勝手口のひさしの有無などにより、強風雨時など、ドア・引戸の下部から雨水が土間(玄関の室内側)に浸入することがありますが、商品の不良ではありません。

断熱玄関ドア本体の熱反りについて

- 一般的に断熱ドアは室内外で熱を伝えにくい構造としてあるため、室内外の温度差によっては、ドアの本体に反りが発生する場合があります。この反りは、内外の温度差が小さくなるとともに解消するものです。
- 本体の反りが発生してカギがかかりにくい、またはすきまが発生して気になる時は、ストライク(錠受け金具)、ガードアームでの調整にて簡単に解消できます。

網入り板ガラスの割れについて

- ガラスに直射日光が当たった場合、直射日光を受ける部分と窓の中に隠れている部分で温度差が生じるので熱膨張にも差が生じます。
この熱膨張の差によるひずみが、本来そのガラスが持っている「強度」を超えた場合、ひび割れが生じます。これを「熱割れ」といいます。
めったに起きないことですが、一般の板ガラスにも生じることがあります。
特に、網入り板ガラスは熱割れが生じやすくなります。それは、もともと金網が封入されているため、切断時にガラスの切り口にきずが生じやすく、均一な切断面になりにくいので、一般の板ガラスに比べてガラス周辺部の強度がおよそ半分しかないからです。
- 網入り板ガラスの熱割れは必ず起きる現象ではありませんが、下記のような温度や熱の影響を更に受けるような環境では、熱割れがより起こりやすくなりますので、極力、注意してください。
 - ① ガラスに熱反射フィルムや紙（ポスターなど）を貼ったり、塗料などを塗っている。
 - ② 冷暖房の空気が直接ガラス面に当たっている。室内に熱だまりが発生している。
 - ③ カーテンやブラインドがガラス面に密着している。
 - ④ 長時間、樹木や建物、その他がガラス面に不均一な部分的な影を作る。（ガラス面に温度差が発生する）

■ 網入り板ガラスの錆割れ現象

- 雨水による影響については、金網の錆があります。
- 通常、網入り板ガラスの金網に錆が発生しないよう、ガラスの切断面に防錆処理を施していますが、経年劣化により防錆効果が衰えた場合やガラスの周囲にある合成樹脂製パッキングが経年劣化で硬くなったりひび割れたりして、パッキングの内部に雨水が浸入しやすくなった場合などが重なって、金網の切断面に錆が発生することがあります。
その錆がガラス内部に進行すると、金網が錆で膨らんでガラスにひびが発生します。この現象を「錆割れ」と呼んでいます。
また、金属線の入ったガラスを「線入り板ガラス」といいますが、網入り板ガラスと同様の理由で熱割れ、錆割れが発生することがあります。

対処方法

- このような熱割れ、錆割れは、網入り板ガラスの特性として不可抗力的に発生します。ガラスにひび割れが発生したら、すみやかにガラス交換を業者に依頼してください。

ステンレスの錆について

- ステンレスは強度に優れ、腐食や摩耗に対して強い特長を有していることが知られています。このため、窓・ドアの部品の中で耐久性や強度が要求される玄関引戸のレール、錠前、丁番などに使用されています。
- ステンレスは決して「錆びない」ものではなく、「錆びにくい」金属と言えます（使用条件・環境などによっては、汚れることも錆びることもあります）。
ステンレスが腐食に対して強いのは、表面に独特の保護皮膜が形成されるからです。
この皮膜は空気中の酸素が触れている間は優れた耐食性を示す性質を持っていますが、ステンレスの表面が汚れてくると、酸素との接触が妨げられるので錆が発生することがあります。
- ステンレスに錆が発生するのは、例えば次のような場合です。
 - ① 塩素系の洗剤でハウスクリーニングを行った際に、洗剤がステンレス部品に付着した場合
 - ② 海岸沿いなどの住環境において、塩分が付着する場合
 - ③ 大気中に浮遊する鉄分や有害ガス中の成分の付着・堆積

- この他、ステンレスが錆びる要因として「もらい錆」と言われるものがあります。「もらい錆」とは、例えば鉄くぎの錆が表面に付着したり、ステンレス表面に付着した土埃の中の微細な鉄粉が雨水などによって錆びてこびりついたりすることであり、あたかもステンレス自身が錆びたように見える現象です。

対処方法

- 錆は台所用クレンザー、市販のステンレス用清掃薬剤などでこすり落としてください。この場合、表面にこすりキズがつくことは避けられません。「もらい錆」が落ちない場合は、錆が進行してステンレス自身に錆が生じたものと考えられます。
- 一旦発生した錆は落とすことが難しいので、ステンレスの汚れに注意して日頃から中性洗剤でこまめにお手入れをしてください。錆の発生を防ぐことができます。

引違いサッシからのカメムシ等の昆虫混入に関する対応について

1、住宅サッシのコンセプト

基本的に、引違いサッシにおいては、ガラス戸を取り付けたり、取り外したりするために、又、軽快な開閉ができるように、更には雨水の円滑な排水ができるように、ガラス戸同士の間やサッシ枠との間にある程度の空間を設けています。閉鎖時にはその空間によって生じる周囲のすき間を塞ぎ、水密性能と気密性能を保持するために、サッシ枠とガラス戸にパッキング、タイト材等の樹脂製の気密部品を取り付けています。

2、昆虫の習性

昆虫の一般的な習性として、朝晩の寒暖の差が大きくなると、外部の寒さから逃れるため、暖かい家屋や樹木の周りに集まる傾向があります。特に、住居内部の暖気が感じられるサッシの周りに集まった虫は、寒さから逃れるためにサッシ枠とガラス戸のすき間にもぐりこもうとします。晩秋又は初冬に、公園等の樹木の幹に虫集め用の「ごご」や「コモ」を巻くのは、このような虫の習性を利用したものです。

特に、カメムシ、てんとう虫等の這い回る甲虫(こうちゅう)は、少しでもすき間があれば、暖かい室内に向かって押し入る習性が強く、このため、サッシ枠とガラス戸のすき間に集まって固まることになります。更に、ガラス戸に設けたヒレ状の柔らかい材質のタイト材を押しかけて、室内に侵入することもあります。

従って、如何にサッシ枠の四周に水密性と気密性を確保するための樹脂製のパッキングやタイト材をめぐらしてあっても、このような習性を持つ昆虫の侵入を食い止めることはできません。

対処方法

- 基本的に虫の侵入を食い止めることはできませんが、できるだけ侵入防止を図るために、一度、引違いサッシの点検をさせていただきます。サッシ枠の四周に思わぬ大きなすき間やタイト材が密着していない等の不具合箇所があることが考えられるからです。

ウォールエクステリア商品について

- バルコニー・テラス・テラス囲い・サンルームはアルミ材料を組合せて構成されている商品のため、完璧な防水性能を持った商品ではありません。まれに雨水の落下がありえますので、下での干し物等にはご注意願います。
- テラス囲い・サンルーム・風除室の屋根部以外の部分については、完璧な防水性能を持った商品ではありません。強雨時では室内側への雨水のにじみ出し等があります。
- アルミ材料及屋根板(ポリカーボネート板、アクリル板、波板)は太陽光があたると温度変化により、長さが伸びる性質をもっています。伸びることによってアルミ同士やアルミと屋根板がこすれてピチピチ、ギシギシ、パンといった異音が発生する場合があります。このような音の発生現象は、特に春先や秋口など外気温が低い時期に、商品に陽が当たるとまれに発生することがありますが、立地条件や季節、使用材料の特性(熱伸び率の差)などの違いにより起きる不可抗力現象であり、商品の不具合によるものではなく、また必ず発生するものでもありません。

商品保証

本書は、当社の商品に関し、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行なう事をお約束するものです。保証期間中に故障・損傷などの不具合（以下「不具合」といいます）が発生した場合には、お取扱いの施工店、工務店、販売店又は最寄りの当社支店・営業所に修理をご依頼ください。

対象商品

住宅用建材商品

保証期間

施工者より商品の引き渡し日（注1、注2）から起算して次の期間とします。

- ①商品の不具合については2年間（電装部品については1年間）。
- ②商品からの雨水浸入については10年間（但し、窓が閉まっていて施錠状態に限る）。
注1）改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日を起算日とします（ただし、保証対象は改修部分のみ）。
注2）分譲住宅（建売住宅）・分譲マンションの場合は、建築主様への引渡し日を起算日とします。

保証内容

取扱い説明書、本体貼付けラベル又はその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、P.119に例示する免責事項を除き無料修理いたします。
なお、降雨時に、サッシ下枠に雨水がたまることありますが、これは商品上の特性であり不具合ではありません。不具合といえる雨水浸入は、サッシ下枠を越えて室内に雨水が流れ出たり、あふれ出たりすることです。（詳細は、P.107「雨水浸入とは」及び取扱い説明書をご参照ください）。

免責事項

保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。

- ① 当社の手配によらない第三者の加工、組立て、施工、管理、メンテナンスなどに起因する不具合（例えば、海砂や急結材を使用したモルタルによる腐食、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食、工事中の養生不良に起因する変色や腐食など）
- ② 表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所（店舗など）に取付けられた場合の不具合
- ③ 建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合
- ④ 商品又は部品の経年変化（使用に伴う消耗、摩耗など）、木製品の反り、曲がり、ねじれ、ささくれ、ひび割れ、色褪せ、変色などや経年劣化（樹脂部分の変質、変色など）又はこれらに伴うさび、かび又はその他類似の不具合
- ⑤ 自然現象や住環境に起因する結露などの不具合
- ⑥ 環境が特に悪い地域や場所での腐食又はその他の不具合（例えば、海岸地帯での塩害による腐食、大気中の砂塵・煤煙・各種金属粉・亜硫酸ガス・アンモニア・車の排気ガス、給湯機器等の燃焼ガスなどが付着しておきる腐食、異常な高温・低温・多湿による不具合など）
- ⑦ メンテナンス上の不備に起因する商品の不具合（例えば商品又は部品を長期間、清掃（水洗い等）をしない事によっておきる腐食、シミ、汚れの発生など）
- ⑧ 天災その他の不可抗力（例えば、暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地盤沈下、落雷、火災など）による不具合又はこれらによって商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合
- ⑨ 実用化されている技術では予測及び防止することが不可能な現象又はこれが原因で生じた不具合
- ⑩ 犬、猫、鳥、鼠などの小動物に起因する不具合
- ⑪ 植栽による不具合（例えば、商品に隣接した植栽による開閉障害、根による防水層の破損など）
- ⑫ 引渡し後の使用上の操作誤り、調整不備又は適切な維持管理（お手入れ）を行わなかったことによる不具合
- ⑬ お客様自身の組立て、取付け、修理、改造（必要部品の取外しを含む）に起因する不具合
- ⑭ 本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
- ⑮ 犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

※保証期間経過後の修理、交換などは有料といたします。

※本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証期間経過後の修理、その他についてご不明な場合は、最寄りの当社支店・営業所にお問い合わせください。

※BL認定品は保証期間、保証内容、免責事項について別途定められています。

※本商品保証は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is availed only in Japan）

お客様メモ

ご購入の際、記入しておかれますと便利です。

お取り扱い店

お引き渡し日 (または入居日)	年 月 日
施工店名	社名
	TEL() -
販売店名	社名
	TEL() -
メモ	

- 商品についてのお問い合わせ、ご相談は施工・工務店、販売店または最寄りの当社支店・営業所へお問い合わせください。

株式会社 LIXIL

トステム・INAX・新日軽・サンウエーブ・東洋エクステリアは、2011年4月1日より、株式会社LIXILとしてお客さまの多様なニーズに対応した商品とサービスを提供してまいります。

会社や商品についての情報のご確認は、下記ホームページまで

<http://www.lixil.co.jp/>